The Society of Manchuria.

滿洲之社會



八月號

第壹卷第拾貳號

大正十二年八月一日發行（毎月一回一日發行）

南滿洲鐵道株式會社

電信略號「マンテツ」

本社　滿洲大連市東公園町

京城管理局　朝鮮京城府龍山

支社　東京市麴町區有樂町

振替貯金大連二一九

船車聯絡

當社各主要驛ト鐵道院線、支那各鐵道山東鐵道及東淸鐵道ノ主要驛竝ニ下ノ關、門司、神戸、大阪、上海等各港トノ相互間ニ於テ旅客聯絡輸送ヲ爲ス

▲直通列車
- 大連長春間　毎日三回
- 釜山奉天間　毎日二回

▲東京ヨリ
- 釜山迄一日半
- 京城迄二日
- 奉天迄三日
- 北京迄四日

朝鮮經由
- ハルビン迄四日

直營旅館

朝鮮
- 京城　朝鮮ホテル
- 釜山、新義州　停車場ホテル
- 金剛山長安寺避暑ホテル

滿洲
- 大連、旅順
- 奉天、長春
- 大連市外星ヶ浦

ヤマトホテル

大連青島上海間航路

使用船

九日壹回

榊丸（三、四〇一噸　速力十九浬）

無線電信局アリ

- 大連青島間　廿時間
- 青島上海間　廿時間

鮮滿案内

鮮滿案内所ヲ東京支社内ニ置キ旅客荷物ノ案内ヲ懇切ニシ且直通切符ヲ發賣ス

撫順炭及煙臺炭

滿洲及朝鮮各地竝東洋諸港ニ於テ常ニ貯炭ノ準備アリ

大連市濱町

満洲船渠株式會社

本社營業所　大連市山縣通加藤ヒルヂング内
電話五八五三番

旅順工場

旅順東鄉町

電話 四八〇番
　　 一番

大連工場

大連市濱町四十五號地

電話 長四七一〇番
　　 九六五番

滿洲之社會──第壹卷第拾二號（大正十二年八月號）

資本金　八千萬圓
拂込濟資本金　五千萬圓
積立金　壹千五拾四萬圓

本店　朝鮮京城南大門通
振替貯金口座　京城三三三番

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮、滿洲及亞港ニ於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱申候

朝鮮銀行

總裁　美濃部俊吉

支店出張所

內地　東京、大阪、神戶、下關

朝鮮　釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、淸津、會寧

滿洲　大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天新市街、鐵嶺、開原、四平街、鄭家屯
長春、吉林、安東縣、龍井村、哈爾賓、傅家甸

支那　上海、青島、天津、濟南

露領　浦潮斯德　亞港

米國　紐育

右ノ外倫敦、巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

一資本金　壹億圓

一積立金　六千九百萬圓

本店　横濱

支店
出張所

東京、大阪、神戸、名古屋、長崎、下關、倫敦、漢堡、里昂、紐育、桑港、羅府、布哇、シドニー、新嘉坡、カルカッタ、シヤトル、スウラバヤ、ブエノスアイルス、バタビヤ、リオデジヤネイロ、西貢、孟買、蘭貢、馬尼剌、香港、上海、漢口、青島、濟南、天津、北京、牛莊(營口)、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽斯德

大連市大山通一番地

横濱正金銀行大連支店

電話‖番代表番號三一六一番
海關取扱所四七六二番
宿直專用六〇一五番

本店　東京市麴町區有樂町一丁目一番地

支店　京城、奉天、大連、哈爾賓、青島

出張所　朝鮮（京城、水原、江景、金堤、榮山浦、大邱、馬山、沙里院、平壤、元山）、下ノ關、間島

東洋拓殖株式會社

支店
電話　（長）七一四七番
　　　（　）七一四九番
振替口座大連一九七八番
受信略號タイレン、トタク

奉天支店
電話　（長）六五七番
　　　（長）三九七番
振替口座大連一九六八番
受信略號ホウテン、トタ

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付
一、農業、水利事業及土地ノ經營
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生産物品ノ分配
一、移住民ニ關スル業務
一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理
一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營
一、定期預リ金

●設　立　明治四拾壹年壹月

●資本金　貳千萬圓

●拂込濟資本金　九百五拾萬圓

●諸積立金　貳百貳拾七萬五千圓

◎定期預金利子（一ヶ年）七分

大連市大山通十四番地

電話代表番號七二一番
振替貯金（大連）三三〇番

日支合辦　株式會社

正隆銀行

頭取　安田善兵衛

顧問　安田善次郎

●當行は安田貯蓄銀行の代理支店として般貯蓄預金を御便利に取扱申候

●當行は日本內地、朝鮮、南北滿洲、支那內地に於て約二千の爲替取引先を有し候

●當行は關東州地方費現金竝に大連市金庫事務取扱致候

●當行は臺灣銀行と特約を結び外國爲替取扱致候

支店（所在地）旅順、營口、奉天、撫順、開原、四平街、長春、鄭家屯、錦州、天津、青島

派出所（所在地）大連市小崗子（電話五七四）、奉天城內

資本金壹千四百四拾萬圓

關東州地方費現金取扱

大連市金庫事務取扱

日支合辦

株式會社 龍口銀行

大連市浪速町

電話｛代表番號 七一五一番
宿直用 五七三六番
公衆用 三三二八番｝

振替口座大連 一五五〇番

支店所及出張所在地

龍口、青島、哈爾賓、安東、鞍山、公主嶺、瓦房店、松樹

派出所

大連市內磐城町

日本內地及臺灣、朝鮮、滿洲、支那各地に爲替取引先有之

一般銀行業務便宜に御取扱仕候

●資本金參百萬圓

●積立金七拾參萬六千圓

大連市伊勢町二十一番地

株式會社 大連銀行

電話 代表番號 長四一二一番
宿直用 六〇〇二番

振替口座大連 三三〇番

●一般銀行業務

●大連市金庫事務取扱

●金銀兩勘定取扱

山縣通支店 電話六〇〇一番

沙河口出張所 電話一〇九番

鞍山支店 電話六七番

奉天支店 電話九〇一番

資本金　參百萬圓

積立金　參拾六萬七千圓

營業　一般銀行業ノ外年賦(なしくずし)又ハ定期償還ノ方法ニヨリ勸業資金貸付取扱申候

株式會社 遼東銀行

大連市大山通九番地

電話 長四一七六番 四一七七番 三五一三番

振替大連一六九一番

支店所在地　小崗子。金州。普蘭店。瓦房店。貔子窩

爲替取組先　內地。朝鮮。滿洲ノ各樞要地

輸出入倉庫、土木、建築、保險及諸代理

大連市山縣通一六三

FC

福昌公司

電話代表番號　七一七一番

振替貯金口座大連一〇六〇番

出張所

大阪、神戸、青島、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、錦州、其他

倉庫部

一般倉庫業務取扱

大連市摩耶町十一番地
電話六〇六三番

保險

大阪海上火災、日本共立火災、豐國火災ゼノースブリチツシユ、エンド、マーカンタイル各保險會社代理店



個性自愛と社會利他

何人にも自愛心なきは無し。自愛心は卽ち個性尊重の根基にして、之を鍛錬すれば個性を大ならしめ、小我を進めて大我に到らしめ、全體の社會と一致して敢て能く悖らざるを得べし。孔子の謂ゆる心の欲するところに從つて矩を踰えずとは此の事なり。然るに若し個性の鍛錬を忽緒に附せば、自愛心變して利己心となり、我儘となり、利他博愛の大精神を喪ひ、個人あるを知つて社會あるを知らざるの迷妄に陷らむ。此類の人は社會の亂子なり。

如何なる俊傑の士も事を爲すに當りては必ず他の力を藉る。孤立單獨にては大事を爲し難し。北辰のその處にゐて群星の之れに從ふが如く、大人物は社會並びに群集の中堅力となり、衆力を集めて自然に他を動かすも、餘り自惚れて調子に乘るときは失脚すべし。カイゼル・ウヰルヘルムの如きは其の好適例に擧ぐべき人物なり。佛敎の謂ゆる衆生の恩を知らず、社會の環境力に注意せず、小我に捉はれて利己心を增長するものは早晩蹉跌すべし。

個性は飽くまで尊重せざる可らず。然れども鍛錬を經ざる個性は小我となり、我儘となり、利他心弱くして利己心强く、社會を救はずして社會を毒するに至らむ。時代は當に民衆化しつゝあり。此の時に方り、個人に重きを措きて社會を輕んじ、獨斷、專制、自己の力量を過信して猛進猪突せば、一時或は奏功するあるも、能くその終りを全ふせず、自他共に相傷かんは自明の理なり。小我を沒して大我に入らざれば決して社會を左右する能はず。

滿洲之社會　第壹卷第拾二號　大正十二年八月發行

生産の社會的經濟政策

生産と消費の距離を短縮すれば物價が安くなると云ふことは、明白過ぐる程に明白なる道理だが、此の自明の理が兎角實行されないのは、過去の傳統的經濟政策に囚はれ、惡い因襲に引摺られて思ひ切つた改革を行はぬからである。我國にも各地に消費組合が設けられ、販賣組合や公設市場が出來、生産と消費の距離が之等によつて幾らか接近する樣になつたが、機關の運用が拙であつたり、組合員の自覺力が足らなかつたり民衆の利用が十分でなかつたりして、滿足に功果を擧げて居るものは尠い。我國の物價高が今日の如く世界一となつたのは、浮動的好況時代に生産と消費を不自然に膨脹させたからで、他にも猶ほ種々の原因があるが、重なる原因は生産と消費の距離が遠く、中間に多數の商人殊に投機商人が介在して居るからである。我國の如く中間商人やブローカーの多い處は他に餘り無い。市場は是等商人のために左右され或は攪亂されそして動もすれば則ち中間景氣を煽つたり投機思惑熱を高めたりするのである。

生産者が自身で市場を支配すると云ふことは元來困難な事柄であるが、消費者が團結して組合を作り、その組合によつて生計品を直接生産者から購入し、成るべく中間商人の手を煩はさぬことが既に可能である以上、生産者といへども組合を作り團結して事に當つたならば、或程度まで市場を支配することが出來る筈である。産業組合の一種なる販賣組合は小生産者の自衛機關であつて、組合の團結力に依り、その生産物を原料のまゝに若くは加工して市場に送り、直接取引をするのであるから、消費組合と相俟つて生産と消費の距

離を接近せしむる事になるが、此の機關の運用は頗る面倒であるので兎角成績が良好でない。然るに近來北米合衆國を始め伊太利、瑞西、丁抹及び獨逸等に新農業運動が起つた。最も盛んなのは北米合衆國で、同國にはネブラスカの協同組合、セントポール市の公正共同交換組合、ウヰスコンシンのチーズ生產組合、オクラホマ棉花生產者組合、ミスシッピーの棉花生產者組合、カンサスシテーの家畜組合などあつて、是等の組合は一方に金融機關を有し、他方に倉庫、販賣及び運輸その他の機關を設けて農業者自身で直接に市場を支配して居る。從來の農業者は極少數のものを除くの外總べて生產方面にのみ沒頭し、農業指導者も作物乃至は施肥の改良とか水利又は開墾の助成とかいふ技術方面に重きを措き、經濟方面に對しては餘り注意を拂はなかつた。その結果、農民の多くは經濟に鈍く、市場の狀勢にも通ぜず、その生產物を中間商人の言ひなり放題に投げ出し、彼等に甘い汁を吸はれ、自身はその殘滓餘瀝を吸つて居たのである。農村が衰頽し農民が貧乏するのも當然である。販賣組合はこれを救はんがために起つた生產者自衞の機關だが、その運用が思はしくないので、遂に北米合衆國に謂ゆる新農業運動なるものが起つたのであらう。

農業者が自身で直接に市場を支配する結果、農民が商人化し、また其の理事者が利己心に煽られて投機思惑など遣り出したならば、折角の新農業運動も片なしになつて了うだらう。此點は注意すべき所だ。併し斯うして生產者側が消費者側に步み寄り、消費者が消費組合を設けて分配と價格を有利に調節する如く、生產者も組合を作つてその生產と共にその分配と價格を自ら調節するにおいては、生產と消費の距離は自から接近し、中間商人に奇利を占めらるゝ虞れなく、品質を改良し物價を調節する事も出來るだらう。之を生產經濟の社會化とも生產の社會的經濟政策とも言ふ。我國の物價は實に高くなつた、その高くなつた原因は極めて複雜であるが、重なる原因は生產と消費の距離が餘りに懸隔して居るからである。物價が突飛に高くなつ

た爲め、内には庶民の生活難を甚だしくし、外には貿易の不振を招き、内外共に我國は今や非常なる苦境に立つて居る。對外貿易は本年もその上半期において三億九千二百四十七萬六千圓の輸入超過を示した。下半季に入つて多少の出超を見るとしても、此分では太した輸出超過を期待し難かるべく、本年も三億圓以上の入超を見るものと覺悟すべきであらう。貿易以外に屬する種々の受入勘定があるので、正貨はそれ程に流出しないとしても、斯樣な事では仕方がない。殊に我商品が値の高い割合に質の惡いのは、對外商權失墜の最大原因で、支那にボイコットが起らなくても、比較的質のいゝ英國品や獨逸品に切捲くられるのは當然の成行である。哈爾賓を中心とした北滿地方では米國品と獨逸品とのために高價惡質の日本品は殆ど驅逐し盡されたと云ふではない乎。日露通商條約が成立して西伯利に我が商權を進めることが出來るやうになつても斯樣な有樣では前途甚だ心細いわけだ。内における社會問題の上から云つても、外に對する貿易又は商權の上から云つても、社會的經濟政策によつて生産と消費の距離を近接せしめることの必要は極めて明白だ。消費者は購買組合なり消費組合なりを設けて自衛の道を講ぜよ、それと同時に、生産者もまた販賣組合なり其他の組合なりを設けて自治的發展を圖り、進んで市場にその手を擴ぐべきである。

農業のみが産業ではなく、商工業も等しく産業であつて、我國の如きは今後益々商工業の進歩發達を圖らねばならないが、商工業を偏重して農業を疎外し、殊に彼のメルカンチリズムに傾き過ぐるは好くない事である。我國は歐洲戰時における海運と貿易の急遽なる發展によりて不時の利得をなし、意外の正貨を蓄積したので、通貨と信用を不自然に膨脹させ、此間專ら商工業の發展に突進し、工業は先づ化學工業に始まつて製造工業に移り、多くの會社が造られ、商業方面にも取引所などがべたくさ出來て盛んに投機思惑熱を煽つた爲め、財界一たび反動期に入るや、一時緊張した商工界は見る〱うちに崩れ出し、プレミアム目的の下

に濫設された事業會社は悉く行詰まり、金融業者は金融業者で資本を不動産に固定させたり無價値の株券を抱き込んだりして弱つて了つた。無思慮無分別も甚こそあれだ。この間に彼のメルカンチリズムの弊習は最も濃厚に發揮された。殊に投機射倖心が熾烈で一攫萬金を夢想するもの丶多數を占むる植民地、別して滿洲の邦人社會には、浮動的好況時代に相率ひて投機虚業に突進した者が多かつたので、商工業偏重殊に商業偏重の弊も随つてまた一層濃厚になつた。この弊習は今でもまだ十分に拔け切らない。滿洲の農業は支那人や朝鮮人のする事、我々日本人は商工業のうへに地盤を築き、そして大いに儲ければいゝのだ。斯うした考へを抱いてゐる者が多數を占めて居るため、商工業を偏重して農業を疎外し、且その工業も事業本位でなくて儲け主義となり、商業は投機思惑に走り、そして謂ふところのメルカンチリズムの弊を彌蔓せしめたのである。之れでは生産と消費の仲間に介在するものが暴利を貪るのも當然である。

正味十六萬餘人といはれる在滿日本人は官公吏、軍屬、會社銀行員等の智識階級者とサラリーマンが多數を占め、商人これに亞ぎ、工業者は少く、農業者は最も少數である。交通、運輸、金融、通信及び取引等の機關を備へて産業の開發進捗を助成し、日本人は大體において其の支配權を握り、市場も概して日本人の勢力範圍になつて居るが、その結果、商工業殊に商業偏重となり、農生産を輕視せぬ迄も重要視せず、技術的にその改良發達を圖つては居るもの丶、經濟的に生産と分配と價格の調節をなすことを怠つてゐる。北米合衆國に現はれた新農業運動の如きは我が日本の本國にも當分望まれぬ事であるから、まして支那人や朝鮮人を主動力とする滿洲の農業界においては、斯樣な進歩的運動の起り得べき道理なく、農業者が團結して自身で市場を支配するが如きは思ひも寄らぬ事である。併し乍ら滿洲とても生産と消費の距離を接近せしむることの必要なるは明白で、既に消費者側には官吏の手によつて購買組合が設けられ、更に滿鐵社員の消費組合

も出來た程であるから、生産者も此際組合を設けて生産者それ自身の擁護と發展に努め、從來の如く中間商人に賴らず、成るべく直接にその生産品を市場に送り出す樣に工風すべきである。滿洲は大なる農業地であつて、何といつても拓殖事業が總べての根基となつて居るのであるから、啻に技術的のみならず、併せて經濟的にも農業の立行けるやうに努力せねばならぬ。この努力は日本人の奮發に待たざるを得ない。少くとも關東州内の日本人は、農生産の開發に留意し、農業者を糾合して組合を作らしめ、その組合によつて分配と價格の調節を圖り、消費方面に向つて生産の步みを接近せしむべきである。

過去の傳統的經濟政策に囚はれてはならぬ、時代は刻一刻と進みつゝある、經濟も今日は社會化乃至民衆化すべき時である。信用組合、販賣組合、購買組合及び利用組合より成る彼の産業組合は、社會的經濟政策の一種に屬するも、これのみでは足らない、更に進んで生産者側自身から消費方面に步み寄る種々の手段を講ぜねばならぬ。それには農業を輕んぜず、農民を糾合してその組合を作らしめ、猶ほその聯合會をも組織せしめ、從來の如く中間商人に甘い汁を吸ひ取られるやうな腐甲斐なさより蟬脫し、經濟的にも自主獨立し得る道を立て、出來る事なら市場に漸次その手を伸ばす樣にしたいものである。斯くすれば物價は僅かに安くなる、少くとも日用必需品は安くなる、そして一般の生計が樂になる。又これが爲めに或る程度まで投機思惑熱を減却せしむることも出來、隨つて浮華輕佻の陋習を矯め、更に品質を優良にし、不振不況の極に在る對外貿易を振興する事にもなるだらう。生産者自身で市場組合を作るのも一方法である。都市の勞働者が強くなつたのは組合を作つて團結したからであるとすれば、農業者も從來の如き孤立的個人主義を捨てゝ社會的團結主義を執り、そして商工業者と鼎立互角の勢力を作ることにせねばならぬ。生産と消費の距離が斯くして接近すれば經濟の社會化はそこに必然實現せらるゝわけである。（芙峰）

住宅組合の活用

大連市の住宅難が事實緩和されないと云ふことは先日もちよつと書いておいたが實際困り切つて居るものが多い▲郊外には家屋が餘はた市中には營業が出來た爲つて住宅が足らないといふ道理はないが其の多くは俗に知かし樣に長くであつて何うも思はしく行かないのである▲何等中流階級以上のものはそんな事に頓着はあるまいが中流階級以下のものは六疊と四疊半の二間家が五十圓の家賃では困らざるを得ないわけだ▲市中では四疊半と二疊位の狹苦しい而も寢臺式の二間家で家賃が月十五圓もする上に權利代へて取れと言つても代へて與れず修繕は總べて借家人の負擔と來るのだから遣り切れたものでない▲郊外には比較的家賃の安い新住宅があるやうだが勤め人によりては郊外生活を不便と感じて居るものもあるらしい▲そこで是等中流階級以下の市民のためには住宅組合法によつて住宅組合を作らせそして比較的安價な住心地のいゝ住宅を建てさせる事にしたいものだ▲關東州にも昨年十一月勅令を以て法律第六十六號の住宅組合法を準用することが出來るやうになり關東廳はその十一月三十日に廳令第八十八號を以て關東州住宅組合に關する勅令施行規則を發布した▲住宅組合なるものは彼のビルディング・ソサイチー則ち獨逸の家屋建築組合に則つたもので日本の本國には大正十年四月から行はれる事になつたのである▲尤もこの姉妹法とも言ふべき住宅會社法は案のまゝでまだ議會の協賛を經ず十一年の議會にはその法案の提出もなかつた始末であるから少し跛的なるを免れない▲住宅組合を作つても家を建てるには土木建築業者の手を煩はさればならぬのであるがこれを下手にすると建築費に多分の金を取られ而も粗雜な手抜きの多い家屋が建てられたりして結局住宅組合の精神に悖るやうな事になる虞れがある▲大連聯德會の家屋建築が失敗したのに會員たる大工や左官の手前持ち辨當でその家屋を建てないで特に建築會社などを設けてその利益會社に建てさしたからである▲故に都市の住宅難を救ふには何うしても一方に法律の制裁を受くべき特別の住宅會社を設けることにせねばならぬのであるが夫れがまだ物にならない▲それから家屋と土地とは不可分離の密切な關係を有つて居るのであるから當局者が眞に住宅組合法を活用して中流階級以下の市民のために其の住宅難を除いて遣るといふ誠意があるなら先づ以て土地政策を立て土地問題の解決に當るのが當然である▲日本內地における都會の地面は大半私有地でこれを國有又は公有に移すことは容易でないが必要の場合には土地收用法を適用する事になつて居る▲處が關東州內の土地は大部が官有地であるから或は競賣法に依り或は特賣法に依りこれを拂下げる事になつて居るとしても住宅組合用の土地は貸下法に據るべきであらう▲財政難のために土地の賣喰ひをする杯と評判されるのは決して關東廳の名譽でない中流階級以下の住宅難を救助するを以て目的とする住宅組合のためには其の官有地を安く貸下げ又は拂下げるといふ土地政策を立てゝ貰ひたいものだ▲競賣や特賣にすると土地の上に資金が固定して結局安い住宅が建てられぬ事になる或は特賣にするとしても住宅組合に限つて特別に安く拂下げる事にして欲しい▲南山麓方面を除いて市內には餘り空いた土地がないから住宅組合の家屋は勢ひ郊外に建築せねばならぬ事になるだらうが南山麓方面にも多少餘地があるなら其の一部を住宅組合用に供すべしだ▲大連市役所の建てた潭家屯方面の市營住宅は評判がいい之れと相待つて住宅組合を活用させる樣にしたら住宅難は早晩緩和することであらう。

東巷西街

◆大藏省預金部の金は十億圓以上十四億とも云はれて居るが此の預金部の金が益々問題になつて來た◆なぜ問題になるかと云ふと其の大部分が中產階級以下の郵便貯金であるからだ◆社會政策の必要を認め無かつた昔なら兎に角既に我國も社會政策の必要を認め社會問題の研究と共に各種社會事業の獎勵發達を期する事になつた今日◆中產階級以下の郵便貯金より成る此の大藏省預金部の金は正に中產階級以下の生活改善乃至安定のために用ふべきである◆然るにこの政府も今日まで此の預金部の金を社會政策的方面に活用しないで資本家の救濟に當てたり情實と黨略のために妙な方面に振向けた◆今度滿洲財界の救濟資金として支出される事になつた二千八百萬圓のうち大藏省預金部からの分が八百萬圓ある◆安い利子で預つてゐる郵便貯金の金だから本來ならば年利五朱位にして一般的に廣く流用する樣にして然るべきだが◆此の八百萬圓の預金部の金も年七朱の利子を以て東拓と鮮銀に貸付くる形式を取り兩者は此の資金を自己達から支出する一千二百萬圓と八百萬圓とに加へて貸出をなす事になつて居る◆斯うした事は是迄も每度行はれたことで敢て珍らしくないが之がため預金部の金が益々問題になり大阪朝日新聞の如きは六月三十日の紙上において大いにその不都合を鳴らした◆滿洲の郵便貯金も中央に持つて行かれ大藏省の預金部の金庫に封じ込まれそれ丈け金が內地に吸ひ取られることになる◆その金を今度八百萬圓だけ滿洲に振向ける事になつたのは結構だが相變らず社會政策的方面への利用とは懸離れて居る◆大連聖德會への二百萬圓と大連市への壹百萬圓とは慥かに使途の宜しきを得たものと云へるが今度の救資八百萬圓は別物だ◆郵便貯金より成る大藏省預金部の金が問題になつたのは今に始まつた事ぢやないが之から益々問題になる◆日本全國三千五百萬の農民は農村研究會を通じて日本勞働總同盟並びに其他

の勞働團體に向け『預金部の金を我等に開放さすべく大いに運動しやうぢやないか』と云ふ通告を發したさうだ◆その理由は簡單だ曰く『預金部の資金は我々中產階級以下の提供にかゝる郵便貯金より成る然るに之を公債又は社債の背負込みや政商連のために流用するのは甚だ以て不都合だ◆宜しく之を開放して我々農民及び勞働者の利福增進のために利用せよ』と云ふのだ◆有理な申分だが併し郵便貯金は農民と勞働者ばかりが提供するのでは無く小官吏、公吏、事務員、其他の俸給生活者や小工商人などいふ謂ゆる中產階級のものも郵便貯金の權利者だ◆面白いのは最近遞信部內から郵貯を簡易保險金と同樣宜しく當に社會政策的方面に向け之が使途を一定せよといふ建白書を大藏大臣に出すと力んで居るといふ人間の出て來たことだ◆その人は誰あらう天岡貯金局長その人で大藏省預金部の金は一般民衆のため殊に社會的公益事業に融通すべしと云つて其意味の建白書を出すさうだ◆嘗て遞信省の貯金局長を勤め次で臺灣總督府の民政總長となり一轉して大阪朝日新聞社に入つた下村宏君の感果して如何◆六月三日の大朝紙上に八百萬圓の預金部支出を叱責した筆者は或は下村君であるかも知れない◆或向の調査に據れば現在の郵貯總額は約十億四千萬圓で貯金人員は二千七百四十萬人に上りその中において五十圓以上の貯金者は僅に全數の一割內外に過ぎない◆そして五十錢以上二圓までが一番多くこれが全數の約三割を占め三圓以上二十圓未滿がこれに次ぎ五百圓以上の貯金者は一分强位なものださうな◆之を以て觀ても郵貯が如何に細民の懷中から出た汗の結晶であるかが判る然るにその金を妙な方面に流用するとは全く不都合だ◆徹底的に社會政策を行はねばならぬ現代に今猶ほ斯樣な曖昧な事があつては徒らに民衆の疑惑を深める計りだら速かに改めて貰ひたい◆社會的の民衆的のと口先のみでお茶を濁して居るやうな事では困る植民地の官人も早く時代に目覺て欲しい。

社會進化と社會思想の變遷

協調會理事　永井亨

（一）　社會進化と社會思想

社會思想とは社會問題解決に關する根本思想であり、社會問題とは社會秩序（社會組織及び社會的活動）に關する根本問題である。殊に現代に於ける社會問題は社會的經濟的階級に關する問題である。今日の社會問題が勞働階級又は無產階級に關する勞働問題を中心としてゐることは謂ふ迄もない。

社會は固より個人の單なる集團でない、從つて社會は各個人及び各階級を離れた一組織體となつて進化する從來の個人主義的思想は多くはこの社會進化の法則を無視したものである。しかし社會の進化するに從つて自から社會的活動の方面も增加し（政治社會又は產業社會と云ふ如く）、各個人もまた職業的分化の然らしむるところ必ずや個人的生活の方面を複雜にする（政治的生活又は經濟的生活と云ふ如く）。それで兎に角社會の組織も個人の人格も二以上の單位から成る複成的のものかの如く考へられて政治的社會思想とか經濟的社

會思想とか云ふ如き分割的社會思想が別異の系統をなして發生する。殊に近世の產業文明社會に勞働階級又は無產階級を生じて以來は階級的思想が經濟的社會思想として著しく發達するに至つた。今日までの社會思想取分け社會主義的思想は上述の雰圍氣內に醸成せられたものが多い。

（二）自由哲學と社會主義思想

スペンサーの進化哲學やアダム●スミスの自由哲學は、十八世紀から十九世紀に亙つて產業上及び經濟上に於ける自由放任主義を發達させ、ルーソーの天賦人權說は政治上及び法律上に於ける自由平等主義の根柢となつた。ヘーゲルの哲學はマルクスの科學的社會主義を產んで、從來のユートピア社會主義や宗教的社會主義に代はり、十九世紀の後半に至り產業自由主義と戰つた。佛蘭西から伊太利に及んだサンヂカリズムは革命的傳統思想と勞働者生產社會の理想から出發したものである。獨逸の社會主義も其の實佛蘭西の政治革命と英吉利の產業革命に支配されたマルクスの革命的無產階級思想を基底として發達したものである。唯だ獨逸にあつてはマルクスやエンゲルスの革命的社會主義がベルンスタインの改革的社會主義によつて修正され且つ又早くから政治的民主主義と結んで社會民主々義を生じたばかりでなく、更らに自由主義と社會主義とを双つながら含んだところの社會改良主義の發達ともなつたのである。

英國の勞働組合主義は夙に久しく自由主義の下に培はれ同時にまた自由主義の制限ともなつたものである。然るに英國では二十世紀に入つてから、無產階級を基調とする經濟的社會主義と政治的民主自治主義とが相合して、サンヂカリズムの影響をも受け、現代の勞働組合と中世のギルド職業團體を結び付けてギルド●ソシアリズムと云ふ新思想を發生させた。また露西亞のボルシエヴイズムはサンヂカリズムと思想上の系統を同

じうして、而かも一層徹底的なところがあり、一方おいてに無政府主義の色彩もまた甚だ濃厚であり、そして共産主義と一體をなしてマルクス主義の形態を辿つたものである。

(三) 現代の社會思潮

現代の世界文明社會に於ける社會思潮は大體に於て自由主義と社會主義によつて折半されてゐる。其間に保守主義又は國家主義が介在して、それが反動的、復舊的思想として一大勢力を占めてゐることは勿論である。殊に獨逸人シュタールの國家天賦自然の權力、國民の自然的階級、それから社會的財産を基調とする保守的國家理論の如きは蓋し最も注目すべきものであらう。

自由主義思想は諸國の資本主義的經濟組織の下に今も猶ほ根強く横はつてゐるが近時著しく民主主義と社會改良主義を加味するに至つて其の內容を一變せんとしてゐる。英米二國の新自由主義と稱せらるゝものがそれである。社會主義思想もまた兩主義の影響を蒙つて所謂社會民主々義の體系をなし、獨逸を中心として英佛諸國にも及んでゐる。併しながら同時に社會主義的思想は勞働者專制乃至生產者自治の思想と相結んで英のギルド・ソシアリズムとなり、更に政治議會否認の革命思想と搦んで佛伊のサンヂカリズムとなり、更にまた無政府思想と合し、無産階級執務の形態を採つて露のボルシェヴィズムとなり、同じ無政府主義思想が北米の資本主義萬能の社會にも一暗流となつて深く潜んでゐる。

サンヂカリズムは社會主義や共産主義よりも遙かに階級的思想が強く、謂はば生產本位、職業單位の社會思想と見るべきものであり、ボルシェヴィズムは更にその上に無政府主義と國際主義の思想を著しく含んでゐる。サンヂカリズムよりは社會主義殊に共産主義の方が遙かに國際的性質のものであるがボルシェヴィズ

ムは一層それよりも國際的である。社會主義よりはサンヂカリズムの方が革命的且つ無政府的性質を有つてゐるがボルシェヴイズムは更にそれよりも一層革命的且つ無政府的のものである。ギルド●ソシアリズムは國際的でもなく、革命的で無政府的でもないけれども、ザンヂカリズムやボルシェヴイズムと同じ樣に生産本位、職業單位の社會思想である。社會主義乃至共産主義も固より階級鬪爭に基づく無産階級思想に屬するものであるが、併しギルド●ソシアリズムやザンヂカリズムやボルシェヴイズムはそれに較ぶれば一層勞働專制勞働萬能のもので、寧ろ職業的勞働組合主義と共に勞働主義とでも總稱すべきであらう。

マルクスの社會主義は英國にも佛國にも受け入れられず、革命後の獨逸には却つてギルド●ソシアリズムの思想が際立つて入り込んで來た。英國の新自由主義や獨逸の社會民主義のことは先にも一言して置いたが更に保守派の社會主義とも見るべき國家社會主義は、獨逸から英佛その他の國に流れ出で、また改革派の社會主義と類似してゐる社會改良主義は、十九世紀の獨逸と二十世紀の英國を中心として今や世界の凡ゆる文明國に行はれて來た。獨り共産主義はボルシェヴイズムと表裏合體して大戰後の露西亞に實現されその固有の國際的革命的性質を發揮せんとして居るがそれも今日は大分變つて來た。

(四) 將來の新社會思想

從來久しく個人主義や資本主義の代用語と稱されたところの自由主義が、十九世紀半以來社會主義や勞働主義と衝突して、對立の姿ともなれば鼎立の態ともなり、互に相爭つた間に自然の分解作用も行はれ、更に政治上の民主主義乃至自治主義は何れの主義にも大なる影響を與へて今日に及んだ。殊に社會主義や勞働主義は嘗て賃銀勞働者即ち筋肉勞働者のみを無産階級なりと稱したのに、いつか一切の精神勞働者を含む生産

者階級を社會思想の對照とする樣になり、その必要の結果として、獨り生產者ばかりでなく更らに消費者の方面をも社會の主要分子と考へる樣になつた。

斯くて政治上に於ける民主立憲の思想は、社會的、經濟的思想ともなつて政治經濟各方面に亙る共通の社會思想となり、また從來の個人的、階級的、專制的、鬪爭的觀念が漸く社會階級の調和を目的とする民主的社會的觀念に變ぜんとしてゐる。斯かる思想こそ眞の社會改良主義即ち社會政策の根本義であらう。產業民主々義又は產業立憲主義と稱すべきものこそ世界大戰後に勃興した新思想であり又恐らく將來二十世紀の時代思潮となるものであらう。恰かも今日は個人的專制的資本主義と階級的鬪爭的社會主義とが民主的協調的社會改良主義によつて調和さるゝや否やの新時代に遭遇してゐるのである。

精神病院建設の急を論ず

大連慈惠病院理事長　柴田博陽

物質文明の發達に伴ふて社會の組織は益々複雜となり、生存競爭の結果として生活の不安は日增に甚だしく、殊に歐洲大戰後の思想界は急激なる變調を來たし、之より生ずる人心の動搖に就いては各國何れも警戒を怠らぬ樣にしてゐる。社會の複雜、生活の不安、思想界の變調、人心の動搖は著るしく精神病者を增加し歐米の如きは最もこの點に注意して到る處に完全なる病院を設け、國家的事業として保護してゐる。就中米國の如きは各州に公立精神病院を設け、最新式治療を施して憐れむべき病者を收容し救濟しつゝある。然るに我國に於ける精神病院には殆んど見るべきものなく、數年前までは唯だ一の東京巢鴨病院あるのみであつ

た。精神病者を收容し治療する機關の備はざる結果は、自刎、殺傷その他様々なる兇行或は悲慘事件を生み社會の安寧秩序を破り、そして社會の不安を一層増大するのである。

そこで東京では巢鴨病院を府下松澤に移轉して松澤病院と改稱し、同時にこれを擴張し、目下八百名內外の患者を收容するに至つた。又內務省にては大正八年勅令を以て北海道及び各府縣に精神病院を設置せしむる事とし、既に東京、京都、兵庫、新潟、朝鮮、京城等に公立として建設されたが、之等の病院に收容せらるゝ患者總數僅かに二千五六百名で、米國加州スタクトン精神病院だけの收容數に過ぎないのは遺憾である。然るに我が國に於ける精神病者の數は現在約七萬人を以て數へ、而して是等の大多數は明治三十三年發布精神病者監護法により公安維持を目的とする監禁制度同様の取扱ひを受け、最新式治療を仰ぐことの出來ないものである。斯くの如きは病者の不幸なるは勿論、人道上看過し能はざる悲慘事であるので、大正十年十一月大阪に開會した第六回全國社會事業大會では、大正八年發布の精神病院設立の趣意を徹底せしむるやう、各府縣知事に精神病院設立の建議を爲すことになつた。其の當時余も出席者の一人であつた爲め以上の建議を各府縣知事及び各植民地長官に建議すとの訂正意見を提出して一同から賛成された。內務省に於ても今や精神病院の必要を認め、本年六月三十日精神病院法の一部及び施行令並に施行細則を公認し、國庫の補助を以て各府縣にこれを建設することになつた。

滿洲は內地よりも一層精神病院の必要がある。言ふまでもなく、海外にある邦人は人情風俗の差異、氣候風土の變化、生活法の相違に依つて身心を勞し、神經衰弱となり、延いては精神病者となるものが尠くない植民地に精神病者の多いことは殆ど世界の通例になつてゐる。大連慈惠病院伏見臺分院の精神病棟には三十餘名の患者を收容してゐるが、この精神病棟は規模小にして且つ完全なる精神病院でない、唯だこの種の病

院が滿洲にない爲め便宜上假に病棟として患者を收容してゐるに過ぎない。若し之を完全なる精神病院となすときは尠くも壹百名以上の收容者があるであらうと思ふ。然るに現在の滿洲には斯くの如き多數の病者を收容するところの精神病院は一ッもないのである。

精神病者は輕微なる發病當時において完全なる治療を施せば容易に全快するものであるが、遺憾なるかな滿洲に是等の治療機關なく、單に奉天に於ける滿鐵病院に一科あるのみで、各地に散在する多數の病者はこの恩典に浴することが出來ないので、治療の時機を遲らし、病勢募りて遂に救ふべからざるに至り、而して其の殆ど治療の見込なきものが伏見臺分院に送致せらるゝのである。余は今日まで既に二十年近くこの悲慘なる幾多の病者を親しく取扱つて來た經驗上一層痛切にこの不幸なる精神病者の爲めに一日も早く完全なる精神病院の建設されんことを望むものである。

余は大正九年六月歐米に於ける社會事業視察として外遊の途に就き、翌十年四月歸朝したが、歐米に於ける精神病院に就ては特に深甚なる注意を拂つて視察した。余は多年の經驗と歐米視察の結果によつて得た智識に基き、我が關東州にも內務省の精神病院法により完全なる精神病院を建築して、啻に日本人のみならず滿洲における中華民國の同病者をも等しく一視同仁的に收容救濟したいと思つて、茲に同院設立に關する計畫を作製した。識者の賛同を得れば幸甚である。

精神病院建築設計書

一、標準　我國の統計によれば精神病者は約七萬人とのことなるが斯界の權威者たる醫學博士和田豐種氏は日本の精神病者は人口一千名に對し二人の割合であると發表した。此の比例によれば滿洲在住邦人を約

二十一萬人として滿洲には大凡四百名の病者を有することになる。歐米各國の比例は人口一千名に對して一人の割合であるから日本人は歐米人に比較し倍の病者を有するわけである。併し今日直ちに多數數の病者を收容することは實際上困難でもあり又不可能であるから先づ第一期事業として茲に一百名を收容する標準を以て之れが計畫を案出したのである。

二、場所　歐米に於ては往々都市の中央に精神病院を見ることもあるも大部分は閑靜なる郊外の地點で餘り社會的刺戟のない處に設けてある。大連に於ては煖房設備の關係もあり、且つ交通不便にては萬事に困難であるから、星ヶ浦海岸か老虎灘附近に建設するのが適當であらう。

三、敷地　成るべく廣大なるを要す、將來のグレート大連に於ける唯一の精神病院となすには、尠くとも五萬坪内外の土地を要する。併し最初の計畫として約二萬坪を敷地と定め、その四分の一を本館病院病棟等の敷地とし、他は庭園、農園又は運動場となし、病者の種類により種々の業務に從事させる。殊に果樹農作物等の培養に從事することは治療上最も有效であるから相當の耕作地も是非必要である。最近設立した東京松澤病院の如きは廣大なる土地を占有して患者に適當の勞務を與へてゐる。

四、家屋　建築物は本館の外總べて平家建を可とす。米國加州の如き暖國にては病棟を散在して建築して居るが、大連は煖房との關係もあれば成るべく接續して建て、大體男女病棟の二種に分ち、其他は治療部と看護部の二種に區分すれば足れりである。治療上の設備に至つては藥品療治、理學療法、水浴療治、電氣療治等種々あるが、これは各室を以て充用し、その附近に職員宿舍を建築して一の別天地を開くことにしたい。この建築費豫算を示せば凡そ左の如し。

一、本館煉瓦造二階　　總坪數百六十坪

　此建築費金三萬二千圓(坪金二百圓)

一、治療部男室一棟　煉瓦造平屋百坪

　此建築費は金一萬八千圓(坪百八十圓)

一、同　女室一棟　同上　此建築費　同上

一、附屬家屋及廊下　煉瓦造平家八十坪

　此建築費金一萬二千圓(坪百五十圓)

一、看護部男室一棟　煉瓦造平家百坪

　此建築費金一萬八千圓(坪百八十圓)

一、同　女室一棟　同上　此建築費　同上

一、附屬家屋及廊下　煉瓦造八十坪

　此建築費金一萬二千圓(坪百五十圓)

一、炊事場及機關室　煉瓦造平家八十坪

　此建築費金一萬二千圓(坪百五十圓)

一、職員宿舍一棟五戸　煉瓦造平家二百坪

　此建築費金三萬圓(坪百五十圓)

一、煉瓦塀五百間高さ一丈

　此建築費金一萬五千圓(坪三十圓)

一、消毒室及び死室其他附屬家屋

　此建築費約金一萬圓

　合計金拾九萬五千圓也

而して之れに對する設備費としては大體左の通り

一、金參萬圓也　煖房裝置

一、金五千圓也　醫療器代

一、金五千圓也　家具什器代

一、金參千圓也　夜具毛布類

一、金壹千圓也　敷布及枕類

一、金壹千圓也　炊事具其他雜品

　合計　金四萬六千圓也

（參考）尙ほ本院伏見台精神病院に於て昨十一年中取扱ひたる精神病患者は男三十五名、女四十九名、合計八十四名で、この延人員七千三百五十人に達したるは驚くべき現象である。本年に入りては更らに增加して毎日平均三十三名位入院してゐる割合であるが其他申込み多數あるも病棟不足の爲め收容することが出來ないのである。

勞働者たる苦力の研究（承前）

渡會貞輔

日本內地には近來朝鮮人勞働者が續々入込む上に支那人勞働者までが入國するので問題になつた。日本は人口過剩國で、その大多數は勞働者であるが、經濟界不況のため失業者の續出する今日、朝鮮人勞働者の外に支那人勞働者までが入國するとあつては、我國の勞働界に不安を與へ、社會上の大問題とならざるを得ない。當局者は十分此點に注意して禍を未然に防ぐ方法を講ずる必要があると思ふ。元來支那苦力の日本入國は勅令の禁ずる處だが、何しろ賃錢が廉くて好く働きそして忍耐性に富み服從心が强いため、使用者側から見れば甚だ便利な譯で、それに警察の取締にも一時多少の手心が加へられた結果、知らず〳〵彼等の入國を促すやうになつたのであらうと思ふ。併し近來は大分その取締が嚴重になつて支那苦力の日本入國は殆ど絕望となつたらしい。翻つて我滿洲に於ける勞働者はその大部分が支那人で、從つて支那苦力は滿洲產業上の一大原動力、換言すれば滿洲產業の振興は彼等の不斷なる勞働の結果に因ること少からず、實に滿蒙開發の一大要素といふも過言ではない。で若し彼等が團體を組織し進んで活動を開始するに至らばそれこそ恐る可

きものがあると云ふことを吾輩は信ずるのである。

苦力の大部分は今日のところ無智無力だが、併し中には相當特殊の技能を具へ天晴れ一本立で勞働に從ひ得るものがあり、鐵道、工場、油房、建築等に從事する者には日本人勞働者と拮抗して毫も遜色無いものもあるから、決して侮ることは出來ない。デモクラシーの思潮が支那にも澎湃として漲り來れる今日、縱令無智無力にもせよ彼等の間にも多少の自覺力が起りつゝあるは事實であるから、馬の如く勤勉に羊の如く從順なる苦力もやがては手に負へぬ狼となり虎となる時期が到來せぬものとも限らない。殊に支那には政匪、學匪、商匪などといふ不逞の野心家や煽動家が多いので、彼等のために勞働者が被動的に騷ぎ出す場合も少くない。彼の開灤炭坑夫の罷工事件以來支那勞働者が非常に惡化し來つたことも爭はれぬ事實である。聞けば南支方面から一部の新人が滿洲の勞働狀態を視察に來たといふことであるから、猶更注意が大切で、使用者側では今後十分に苦力問題を研究して之が對策を講ずる必要があると思ふ。

處で我が滿洲方面に入込む苦力は一體幾何程有るかといふに、的確な數字は不明だが、全體を通じて大約五十萬內外といふ事で、此等大多數の苦力は主として大連及び營口から滿洲に入り來り、或者は居を構へて土着の民となり、或者は小金を持つて鄕關に歸り、翌年再び出掛けて來るのである。昨年中大連港だけを經由して滿洲に入つた苦力の員數を擧ぐれば左の如くである。

	來着	歸還
青島	五八、七八九	二五、八九八
芝罘	六九、七八八	三八、二二四
龍口	三四、八六二	二三、六八五
天津	一一、八三二	六、九〇四
安東	四、二六七	五、六一六
其他	、四八七	、一五六
計	一八〇、〇一八	九九、四八三

右の表に據れば、渡滿した苦力の約半數は故郷に歸還するが、殆ど半數は滿洲に踏み留って永住の基礎を此地に求めつつあることが分る。この大連港に上陸した苦力の大部分は徒歩にて奥地に向ひ汽車によって北行するものは全體の約五分の一位に過ぎない。徒歩で行くところにも彼等の健强さが偲ばれる。一昨年中大連及び營口より汽車で各地に向った苦力の數は左の如くである。

	大連より	營口より		大連より	營口より
鞍山へ	二、〇三四	無	四平街へ	、四三五	、八七四
撫順へ	三、三八九	一、九六二	公主嶺へ	、二四七	、八一四
奉天へ	八、〇九〇	八、〇二一	長春へ	一六、九五八	二三、五五三
鐵嶺へ	、六四一	、七六一	計	三四、四四七	三八、四三三
開原へ	二、六五三	三、四四七			

以上は主として山東苦力の移動狀況だが、此の以外京奉線を經て奉天以北に移入する直隷苦力も可なりに有るので、從來は山東苦力が傳統的に南滿一帶を自己の勢力範圍にして居たところ、近來は直隷苦力のため聊かその勢力範圍を侵されつつあるやうな傾向を帶びて來た。或人の説によれば、直隷苦力は仕事は迅速だがどうも粗雜に流れ易い、遣りつ放しなところがある、是れ思想的に危險性を帶びて居る證據ではあるまいかと、然りこの點は慥かに一考察に値ひするものと思ふのである。

次に苦力集中計畫に付ては、大分以前から有識者間に論議せられて居るが、近來一層その氣勢を高めて來たやうだ。その裏面には例の利權屋が暗中飛躍を試み、濡粟式乃至棚牡丹式の夢を見て居るやうだから、此點は別問題として注意せねばなるまい。苦力集中計畫に關しては十分の研究調査を要すること勿論であるが聞けば滿鐵埠頭事務所では今回華工係と云ふものを新設し、苦力に對する諸問題を研究し、優遇の方法、能率の增進、其他の改善法を講ずるといふ事である。寔に機宜を得た措置と云はねばならぬ。そこで苦力の集

中には苦力收容所設置の必要があることは勿論で、これは保安上から見ても、公衆衛生上から見ても、甚だ吃緊な事であるが、前述の通り經營云々を表看板として裏面で沿線苦力の需給權を一手に把握せんとする利己主義の人間もある世の中だから、關東廳當局も滿鐵當事者も一寸手を捻らざるを得ない譯であらう。尤も日華興業株式會社は已に滿鐵から其の利權を獲得したと言はれて居る。

茲に一例として山東苦力の大連移住情態を述べて如何に彼等が大連市膨脹の先驅をなしつゝあるかを調べて見よう。彼の寺兒溝に於ける碧山莊(支那人は其の建物が赤煉瓦なるため俗に紅房子と言つて居る)は設備の整つた有名な苦力收容所だが、年毎に發展する大連市に移住し來る苦力の群には紅房子の一つや二つでは間に合はなくなり、その結果、七八年前から此の碧山莊を基點として溢れ出づる苦力の群が次から次へと掘立小屋を築いて雜然たる部落を作るやうになつた。然るに滿鐵では先年同地方整地のため彼等に立退きを要求し、移轉地は民政署にて轉山頭と定め、移轉料は滿鐵より支拂ふたところ、或者は指定地たる轉山頭に引移つたが、或者は地の利から判斷して小崗子の延長たる譚家屯附近に移住した。處が譚家屯にも其後郊外市區が作られる事になつたので、彼等は又もや立退を命ぜられ、沙河口寄りの小劉家屯や石道街等に引移ることになつた。シンプルライフの權化ともいふ可き彼等は家宅の移轉なんかは別に問題として居らないから一夜の中に荷造りを了へてさつさと引拂つて行く。併し其の都度多少ながら損害を蒙るので、流石の彼等も考へたと見え、自分達の借受けた土地の權利を高價で他人に讓渡し、自ら進んで北崗子や香爐礁の空地を占有し、こゝにも掘立小屋を建て部落を成すといつた調子である。何の事はない彼等は大連市が膨脹せんとする地方を先廻りして掘立小屋を立て、そこに平然として彼等特有の原始的生活を營み、愈々市の手が延びて更にその地を立退かねばならぬことになると、彼等は移轉料を貰つて又ぞろ同じやうなことを繰返して行くの

である。極端に言へば大連市の膨張は苦力が先驅さいふ事になるのである。

猶ほ大連に於ける苦力の概數を聞くに、總數で約六萬人あるさいふ事だが、就中一番多いのは埠頭苦力で閑散期でも約九千人、繁忙期には約一萬四千人さいふ夥しい數に達する。次は土木苦力の約一萬二千人、運搬苦力の約八千人、油房苦力の約五千人、燐寸苦力の約三千さいふ順序で、其他各工場に勞役する日雇苦力や雜役に從事する苦力などあり、之等を合算して前記の如く六萬人位になるのである。此等の苦力は大連市中では寺兒溝苦力收容所、軍用地區油房內、若狹町合宿所、伏見臺及び小崗子等に居住し、市外では香爐礁嶺前屯、小崗子、大小劉家屯及び各煉瓦工場內並に農園等に散在して居るのである。埠頭苦力の三割は山東省登州府管內出身のもので、その他は萊州、青州、沂州及び濟南、泰安、天津等のものである。彼等は概して辛抱强いので比較的勤續者が多く、勤續十年以上の者は五パーセントに上り、五年以上の勤續者に至つては實に五十パーセントの多數に及んで居るさいふ事だ。年齡では三十歲前後が約三割、四十歲前後が約四割二十歲前後が約三割さいふ比例を示して居る。（未完）

精神病院施行令

內務省では精神病院法の一部及び同施行令並に施行規則を公布したるが其中の施行令は左の如し

　精神病院法に關する件

精神病院法中未だ施行せられざる部分は大正十二年七月一日より之を施行す

　精神病院法施行令

第一條　國庫は精神病院法第條一の規定に依り設置する精神病院の經費に對し左の區別に依り補助す

一、創設費及擴張費並に之に伴ふ初度調辦費及出額の二分の一

二、其の他の諸費支出額の六分の一

前項に示すところの支出額さは事業に伴ふ收入若しくは寄附金の額を控除したる支出淸算額なりさす

第二條　國庫は北海道地方費又は府縣が精神病院法第七條の規定に依る代用精神病院に對し支出したる入院費に對する淸算額の六分の一を北海道地方費又は府縣に補助す

前項の淸算額さは北海道地方費若は府縣の受くる入院費又は之に充つべき寄附金の額を控除したるものさす

第三條　精神病院法第五條第一項又は第七條の規定に依り徵收する入院費にして指定期限內に納付なきものに就いては國稅滯納處分の例により之れを徵收することを得

第四條　入院費の徵收は必要あるさきは納付義務者の居住地又は財產所在地地方長官に之を囑託することを得

第五條　精神病者入中死亡したるさきは其の遺留財產を以て入院費の全部又は一部に充つることを得

　附　則

本令は大正十二年七月一日より之れを施行するものさす

調査記事

無盡講と質屋及高利貸

高橋月南

大連市中に於ける中産階級以下の金融機關として利用されてゐるのは僅かに信託會社の無盡講と質屋及び個人營業の金貸業だけに過ぎない。今之等の貸出狀態を見るに、何れも利息が高率であつて、庶民の福祉増進とならず、庶民は却つてその生計を脅かされてゐる。信託會社は積立會即ち講會を組織してその出資金を融通してゐるので、幾分金利が安いやうであるが、夫れにしても相當の擔保なり保證人がなければ容易に貸出さないと云ふ堅い方針を執つてゐる。殊に積立會以外の貸出を受ける際は日歩六七錢を支拂はねばならぬ事になつて居る。

以上の外、好況時代といはれた大正八年末頃古財治八氏等發起して金融組合庶民銀行を設立し、庶民の金融機關となつて中産階級以下のために盡さうとしたが、種々の事情に依り當初の目的に背くに至つたのは遺憾である。爾來この種の機關は全く企劃されず、以て今日に及んだが、我が社會事業研究會は公營質屋について研究する所あり、次いで庶民金融機關たる信用組合についても調査し、何とかして其の實行を促進したいと考へてゐる。內地に於ては此の種の機關は遺憾なく施設されてゐる。殊に産業組合に屬する信用組合は都鄙到る處に設けられ、成績の惡いのもあるが、比較的成績を擧げて居るのもある。關東州には未だこの産業組合法が實施されてないので聊か不便を免れないが、信用組合又は金融組合の庶民金融機關は定款以外の規定において內地の産業組合法に基くことになつてゐる。以下大連市に現存する社會施設でない庶民金融機關としての無盡

講、質屋及び金貸業について紹介しよう。

一、各信託會社の現況

好況時代の濫設　大正七八年財界の謂ゆる好況時代には、獨り信託會社のみならず、各種の會社濫設されたが、その中でも金融に關する各種の會社が多く設立された。彼の商事會社の如きも、眞面目な商取引よりも金融を計つて商歩を取つた方が手取早く儲かるので、名は商事でも大半は金融をやつた結果、財界反動後その影響も早く且つ打擊も深刻であつた。當時創設された商事及び信託の株式會社名を擧ぐれば、大連商事、中央商事、大信商事、南滿洲金融信託、南滿殖産、南滿債券、滿洲殖産、華商證券信託、大連華商金融、宏濟證券、南滿興產、滿洲證券信託、滿鮮證券信託、大連共信、第一商事、第二共信、共濟信託、共榮信託、大連信託、滿洲貯金信託、大連貯金、西崗信託、蓬萊信託、泰東信託不動產信託、滿洲不動貯金、大和商事、常盤商事その他五六であつた。それに市內十一軒の質屋業者が一團となつて大連質業株式會社を設立する等、猶も杓子も株式會社にあらずんば商賣が出來得ないやうに考はれたのである。然るに財界一朝にして凋落するや、之等雨後の筍子然と濫設された會社は一溜りもなく崩壞して併合、解散と漸次整理され、盛況時代に比し現今ではその五分の一もなく、中には行衞不明のものさへある。以上の信託會社中比較的堅實に營業を繼續されてゐるのは左の如くである。

設立登記	公稱資本	拂込金額	會社名
大正六年九月廿五日	二百萬圓	六十五萬圓	滿洲貯金信託株式會社
同　六年十一月二日	壹百萬圓	二十五萬圓	大連信託株式會社
同　六年八月廿九日	同	三十二萬五千圓	大連貯金株式會社
同　八年九月十四日	五十萬圓	十二萬五千圓	蓬萊信託株式會社
同　八年九月二十三日	壹百萬圓	二十五萬圓	西崗信託株式會社
同　八年十月十六日	百五十萬圓	三十二萬五千圓	華東信託株式會社
同　八年十二月十日	五十萬圓	十二萬五千圓	共濟信託株式會社

積立會の口數と會員數　滿洲貯金、大連信託、大連貯金、共濟信託、蓬萊信託、華東信託、西崗信託等において開催されて居る積立會の口數及び加入會員數を見るに、何れも好況時代よりは減少し昨今では新規の積立會を組織せず、專ら從來の會の整理に努めてゐる。本年五月末に於て大連信託は六千圓四組、五千圓十組、三千圓一組、一千圓二十七組、五百圓二組、計四十四組で、此の會員數は二千

二百十名である。大連貯金は最高五千圓が九組、一千圓が十五組であつて會員は一千三百〇一名である。滿洲貯金は五千圓四組、三千圓四組、一千圓二十四組、五百圓二十六組で、その會員數は二千二百八十名、同社沙河口支店は五千圓三組、三千圓一組、一千圓十八組、五百圓二十五組、この會員數は一千九百二十二名である。蓬萊信託は三千圓三十六組、二千圓三十六組、一千圓七十四組、計百四十四組で一番優勢である。これは逢阪町遊廓のものが全部加入して彼等の唯一の金融機關として運用されてゐるからである。沙河口共濟信託は一千圓五組、五百圓五組、會員數三百三名あるのみで最も振はない。華東信託は一千圓十四組、會員數六百四十七名、西崗信託は五千圓二組、三千圓一組、一千圓四組で、會員は三百二十三名といへる現狀である。

積立金及貸付金　次に各信託會社に於ける積立金及び貸付金の狀態を見るに、五月末現在は左の通りであるが、前年に比較すると著しく減少してゐる。これは財界の不況を裏書きするもので今後夫等の整理には一段苦心を要することであらう。

▲積　立　金　（單位圓）

社名	四月末現在高	受入高	拂戻高	五月末現在高
滿洲貯金	八一九、四〇二	三二、八〇二	四〇、六四六	八一一、五五八
沙河口支店	三〇六、九六一	一五、一三四	一〇、九三一	三一一、一六四
大連貯金	八〇八、三一三	二二、三三三	一三、七七九	八一六、八六七
大連信託	一、二三〇、一一九	一二六、五七九	一六〇、〇八三	一、一九六、六一五
共濟信託	三二、三七〇	七、四九四	三、〇四八	三六、八一六
華東信託（金）	七二、三三五	九八三	一、三〇五	七二、〇一三
華東信託（小洋）	六六、二三五	四、四六五	二、四八〇	六八、二四〇
西崗信託	七二、一八七	一七、五七六	一九、四〇九	七〇、三五四

▲貸　付　金　（單位圓）

社名	四月末現在高	貸出高	回收高	五月末現在高
滿洲貯金	一、三七二、九〇三	二六、五六一	四〇、四一八	一、三五九、〇四六
沙河口支店	四六九、〇〇五	一八、三二三	一三、八九七	四七三、四三一
大連貯金	二、六二八、八五五	四一七、三一七	四三四、七二三	二、六一一、四四九
大連信託	二、〇五九、七〇一	一五九、二〇八	二二二、一九三	一、九九六、七一六
共濟信託	三三、八九九	六、四七一	一、五二三	三八、八四七
華東信託（金）	四五六、五一八	一三、〇五四	一六、七五〇	四五二、八二二
華東信託（小洋）	一三二、九九九	三七、二五五	三〇、〇九〇	一三九、一六四
西崗信託	二〇八、九〇一	九、二二五	一〇、七三三	二〇七、三九三
蓬萊信託	二三三、九三一	五四、〇九一	五一、一一六	二三六、九〇六

積立會の組織　積立金積立會といふと大變美しい名稱であるが內容は賴母子講卽ち無盡講と何等變りはない。勿論各會社に於て掛金や割戻しの率が幾分違ふやうであるが組織は一樣である。この積立會には東京式及び大阪式との二樣式があつて、掛金

の多寡及び期間の短長はあるも、大體に於て變りなく、大連の各信託會社は亜に東京式に據つてゐるやうだ。金額は最高六千圓で五千圓、三千圓、二千圓一千圓と下り、五百圓が最低になつてゐる。今某社の三千圓及び一千圓積立會の概要を示せば。

▲**三千圓積立會** 積立回數は三十六回から七十回位までゝ期間に短長の別あるが、今こゝに三十六回滿了の會を紹介しやう。その掛金は百二十圓三回、順次減額して百五圓、九十圓、八十四圓七十八圓となり、更らに十五圓にて終り、三十三回の積立をなし三十六回目に所定の三千圓を受領することになる。この積立金總計二千六百七十圓で、支拂利息は三百三十圓であるが、これは要するに表面上の計算であつて、その外に入札割戻しがあるから約四百圓の利息に當るであらうと思ふ。然し借受者は次回より元利金九十六圓宛を返濟せねばならぬのである。

▲**壹千圓積立會** 回數の短長はあるが、三千圓會と同様、三十六回滿了の分を掲げる。掛金は最高三十五圓、最低五圓を三十三回まで積立て、三十六回にて一千圓受領する。この積立は總計八百九十圓で百十圓の支拂利息と割戻金が金利となる。借受者は次回から三十二圓の元利金を返濟せねばならぬが此の利子は郵便貯金や銀行預金以上の利廻りたることと勿論である。

信託管理金取扱 これは銀行利子以上で取扱ふのであるが、會社の方では出入の手數に追はれ差したる成績を擧げ得ないので、餘り取扱つて居ないやうだ。金利は日歩二錢乃至二錢五厘位である。今は解散してないが滿洲殖産株式會社が積立會の名を替へて此の月掛け取扱ひを開始したことがある。金額は一萬圓、二萬圓、三萬圓の三種で、長短に分けて取扱つたが、間もなく財界不況の爲めに中止した遊金運用の點から云へば、是等の方法は經濟の原理に添ふのであらうが、今日の如く不況になつては何うする事も出來ないわけだ。幸ひ積立會も小口の分は追々と整理されてゐるさうである。

積立會は高利 前記五月中の各社貸付高は約六十四萬一千圓で、回收高は約七十一萬七千圓、前月の繰越と合算した貸付總高が約七百五十五萬五千圓餘に上る。これ等の借受者が相當の擔保或は保證人を立てゝゐる。されば中産階級者か或はそれ以上の者でなければ借受けることが出來ないわけで中産階級者以下の金融には幾らも役立つてゐないのであるまた積立會の如きも最後まで掛け續ければ相當の利廻りにもなるのであるが途中借受けた者は頗る高い金利を拂はねばならぬ事になる。概算ではあるが一千圓講を十一回目に於て八百五十圓にて落札したとして計算すれば、その利息は年二割五分となり、更

らに二十一回目に九百圓にて落札借受けたとすれば驚く勿れ年三割三分の高利となるのである。一箇月壹百萬圓近くの資金を運用せる信託會社の收益は實に莫大なるものと言はねばならぬ。好況時代に大連信託の如きは十割の利益配當をやつた。財界不況といはれる昨今でも猶ほ一割位配當されてゐるさうだ然しながら今度のやうに不況が永く續いては遉がの信託會社も打撃を蒙らずには居るまい。

市内の賴母子講 信託會社の積立會の外に市内に三百からの賴母子講が組織されてゐる。是れ等は開始當時に講長から警察署へ屆出づることになつてゐるが、無屆のものもあるから、實際の數は三百以上に達してゐる。最高は一千圓で五百圓、三百圓のも相當にある。期間は長いので三箇年間位いであるこの中には隨分怪しいものがあつて、全く講會を常業として多數會員に迷惑をかけてゐる者もあるので其筋に於ては庶民の金融機關たる講會の刷新を圖るべく目下考究中である。その取締りの大要を聞くに落札金は落札後滿一箇月の次回に渡すことゝすれば其の期間に保證人の信用なり擔保なりの價値を充分に調査することが出來るから、先づさう云ふことにし、次に講長から落札者の住所氏名、落札金員の授受とその立會者を屆出でさせ、早く落札金を授受せざる者には相當利子を附せしむる事としたならば彼の不正者を徹底的に防遏することが出來やうとの事である。斯の如く嚴重に取締るやうになれば、一面に於て庶民金融機關の整理ともなり、他面向後の發達上多大の效果を擧げることになるだらう。要するに現在のところ中産者以下の金融としては主としてこの大連市内に於ける賴母子講が最も適切にまた最も一般的に廣く利用されて居るのである。

二、質屋の營業狀態

管内の營業者數 大連民政署管内に於ける質屋營業者數は、大正十一年末現在において日本人六十七名、支那人百〇五名、合計百七十二名で、三四年前に比較すれば三十名餘りの增加である。この種の營業が增加するのは餘り結構なことでない。一面より考察すればこの機關を流用する貧民が增加したものと解釋されるからである。殊に日本人よりも支那人の營業者の多いことは彼等に對する適當な金融の途がないことを證明するものである。今營業者を

管轄別にして示せば、日本人側に於ては常盤橋と西廣場管内に五名宛、寺内通りと浪速町管内に四名宛で、比較的貧民の多い若狹町と美濃町管内には七名宛の營業者がゐる。沙河口に十名の營業者があるのは之を利用する貧民の多い結果であらう。美濃町と黄金町の質屋は小崗子方面に相當の貸出をなしてゐる。浪速町と西廣場の營業者は小商人の得意先が多く夫々場所に依つて得意客が分布されてゐる。支那人側は小崗子管内が一番多くて四十五名、寺兒溝と千代田町管内に十三名それから劉家屯に十名で、何れも被傭者たる勞働者が得意客である。

昨年中の貸出高　各質屋に於て貸出せる金高は銀行や信託會社のやうに精確に調査することが出來ない。勿論各營業者から毎年一括してその筋へ屆出でることになつてゐるが、彼の料理屋より申告する遊興費同樣幾分の加減があるので、統計に現はれた以上の貸出があるものと見られる。今大正十一年中に於ける貸出狀況を取調ぶるに、日本人側の六十七戸の貸出は九萬四千二百〇一口で其の金額は百十萬六千四百三十四圓餘、支那人側の貸出は百〇五戸で四十五萬七千五百六十八口の六十三萬四千二百三十圓餘である。これを戸別にすれば、日本人側一戸の貸出は一萬六千五百十三圓餘で、支那人側は僅かに六千四十圓餘である。更らに口別にせば、日本人側は一口十一圓七十四錢に達するも、支那人に至つては僅かに一口一圓四十一錢に過ぎない。如何に小口貸出の多數なるや推して知るべしである。以上の貸出に對し受戻高を見るに、日本人側は八十三萬七千八百〇一圓餘、支那人側は三十九萬圓一千四百九十圓餘で、結局前年度の繰越をも合算し流失した金高は日本人側二十一萬三千三百二十四圓餘、支那人側の貸出が僅少なる割合に流出高の多いのは、彼等が入質當時から流失を觀念する習慣があるのと、入質者の多くが勞働者で絶えず移動する爲めとである次は同年末の貸出高(前年の越繰高を合算せる)は日本人側に於て三十八萬六千九百五十七圓餘、支那人側において十八萬〇九十七圓餘、合計五十六萬七千〇五十四圓餘といふ數字を示してゐるが、其の實際のところは七八十萬圓に上るらしい。

前年との比較　以上の成績を前年に比較すれば、大體に於て太して差異はないが、日本人側の貸出口數に於て三厘九毛の減少、貸出金額は一分二厘

の増加、受戻高もよく口數一分三厘減に對し金額は却つて六厘の増加を示し、流出口數は一分一厘五毛金額に於て四分三厘の増加である。次に支那人側を見れば、貸出及び受戻共に六分乃至一割方の増加であるに拘らず、流出は反對に約一割の減少を現して居る。先づ順調の方であろう。これを金額に於て比較すれば次の如くである。(單位圓)

		前年貸出	十一年貸出	比較増加
日本人側	口數	二五、三九九	三一、四七八	六、〇七六
	金額	三二〇、五三九	三九六、九五七	七六、四一八
支那人側	口數	一一一、八九〇	一四七、五九〇	三五、七〇〇
	金額	一二九、九二〇	一九〇、〇〇七	六〇、〇八七

日支人共に増加を示し、結局口數四萬一千七百七十九口、金額十三萬六千六百〇五圓の激增を見たのであるが、如何に一般細民から利用されて居るかゞこの統計に依つて明瞭に窺ひ知られる。

規約と金利　現在の大連市内には庶民に對する眞の金融機關なき爲め、前述の積立會や質屋の如きが相當高利なるにも拘らず繁昌し、何れも好成績を擧げてゐる。大正六年十一月市内の質屋同業者十一戸は一大合同をなして大連質業株式會社を創設した。資本金二十萬圓の二分の一拂込み、卽ち十萬圓

の運轉資金を擁して開業したが、間もなく財界の過度的膨脹に際會し、調子に乘つて放慢の貸出をなした爲め、一大打擊を蒙るに至つた。元來流失者の續出するのは金利の高いのが原因であつて、卽ち利子に追はれて元金償還に至らざる間に流出期限が到達するのである。洵に氣の毒なわけだ。數年前警察の干渉で幾分低利にはなつたが現在許可を受けて居る質屋營業規約なるものを見るに

一、利子は月步を以て算定し左の率に依る

貸金壹圓以下	一口に付一ヶ月	六錢
同金五十圓迄	同	五分五厘
同金壹百圓迄	同	四分五厘
同金壹百圓以上	同	三分五厘

一、流出期限は四ヶ月とし日數に拘はらず月を以て計算するものとす
但し期限經過は別段の通知をなさずして處分することを得るものとす

一、質屋が水、火、盜難に罹りたるとき質屋は貸金を失ひ質置者は其の品物を失ひ相互の損失とす
但し重大過失に依らざる滅失、毀損、自然の減量變質又は鼠喰虫入等は質屋その責任を負はず

一、質取引時間は日出より日沒までとす、但し特別の場合は此の限りにあらず

一、質物受戾の節は必らず質札又は通帳を持參せ

らるべし質札又は通帳を證として其の持參人の何人に拘らず質物を返還するものとす

一、質札又は通帳を亡失毀損せられたる時は直ちに屆出でらるべし手續きを怠りたるため間違ひを生ずるとも質屋は其責任を負はず。

三、個人の金貸業

庶民の金融機關として個人の金貸營業者を閑却することは出來ない。大連市中に於て所謂高利貸と稱する連中は可なりに多く存在する。本業者として其筋へ屆出てゐるものは僅か十數名に過ぎないが內職的にやつてゐる者がなか／＼多い。それで其の實際の流動資金の數字を調査することは至難である。しかし金貸を業とするものは尠なくも二三萬圓の運轉資金を流用して居るやうだ。勿論四五千圓の小金を巧みに融通してゐるものも無いではないが之れ位の小金では生活が出來ない。それで之等の連中に依つて運用されてゐる金員は全體で尠なくも壹百萬圓には達するであらう。其の貸出は信用貸、擔保貸の二樣あつて、信用貸の先は主として官吏、會社員、其他は擔保貸になつてゐる。彼等の仲間にも得意客が定つて會社員方面、花柳界方面乃至商人方面と夫々專門になつてゐる。商人方面になると其の店舖全部に對して貸出すこともある、是等は擔保貸と言つても動產であるから信用貸に近いものである。利息は大概月三分で壹千圓以上になると二分五厘位で貸出してゐる。何れにしても月二三分といふのは高利である。斯の如き我利的高利の金貸しであるから、隨分儲けることであらうと思はれるが、實際はさうでないらしい。彼等には又彼等相應の苦勞があるもので、世上から惡評を蒙るだけ損であるといふ者もあるが、內實はどんなものか能く判らない。

以上の如く現在の大連市內に於ける中產階級以下の金融機關は信託會社の積立會や、質屋及び個人金貸業あるのみで、日本の內地における產業組合法によれる信用組合の如き、朝鮮における金融組合の如き、或は純然たる社會施設としての庶民金融機關や公營質屋の如きは全く絕無である。是れ我が社會事業研究會が公營質屋について研究し、更に信用組合について調査の步を進め、以てその實行を促進せんと欲しつゝある所以である。關東廳當局も願くは庶民の產業、經營、金融及び生計のために此種機關の發達に意を用ひて貰ひたいものである。

大連に建設せらるゝ產院

いよ〳〵赤十字社滿洲支部の手にて

日本赤十字社滿洲本部は大連市に產院を設立すべく計畫を立てた。然るに同一の產院を大連市役所で發案し遞信局に向け既にその建築費として簡易保險金の貸下を申請してあつたことが後で解つたので、當事者間に協議の末、遂に赤十字社の方で遣ることになつた。それで同社滿洲支部の我澤主事は打合せの爲め上京中であつたが先日支部所在地の旅順に歸つた。この產院設立に關して赤十字大連支部の門井主任は次の如く語る。

五月中我澤主事が本部へ交渉に行つて來たが、勿論本部に於ても產院の必要を認め是非設立したいとの意向で、それ等に要する資金其他の打合があつた譯だ。處が滿洲本部の委員長であつた土岐事務總長が大阪府知事となり、川口新總長を委員長を戴かねばならず、我澤主事歸來靜養中といふ樣な次第であるから、多少遲延することゝ思ふが、併し產院建設は最早既定の事實である。尤も大連は內地と事情を異にしてゐるから其の組織も內容も內地同樣には出來ない。現在內地に於ける產院は獨り產婦を取扱ふ計りでなく簡易食堂及び託兒所を附帶事業として兼營してゐる。夫れは妻が入院した爲め夫が働きに出ることが出來ないと言ふ場合に、子供を託兒所に預け、夫は簡易食堂で食事をなし、そして働きに行くといふ有樣で、殆んど理想に近い組織になつてゐる夫れのみならず、收容の產婦は無料者を主とし有料者は從になつてゐる。大連の產院は豫算の都合もあるので最初から內地の如く附帶事業である託兒所や簡易食堂の併置は出來ない、單に產婦の取扱ひに限られてゐる。大連には內地の如き細民極めて尠なく中產的智識階級者の多いせいか、無料取扱ひとなると之を嫌がる傾きがある。現に慈惠病院の如きも施療患者の尠ないのは最下級者の僅少なると智識階級者が多くて一種の名譽心に囚はれる風習のある爲と想像される。折角社會奉仕の意味に於て建設すべき產院が右樣の次第で餘り利用されない事になつては

困るから、大連では實費徴收の有料者を主として取扱ひ、貧困者其他特別の事情あるものに限り無料取扱ひをなすことになつて居る。設立の諸經費は約二十萬圓位と我澤主事の病氣全快及び川口新事務總長の着任を待つて決定することであらうと思ふ。尚ほ建築敷地も二三豫定されてあるが出來るだけ一般の爲め便利な地點に設立したいと考へてゐる。

救はれた婦人と兒童

救世軍婦人及び育兒ホームの狀況

市内播磨町救世軍婦人及び育兒ホームに於て目下收容してゐるのは兒童が約四十名、婦人が六名計りである。このホームの設置された最初は彼の鬼の如き人買ひのため誘惑され來つた少女を救ひ出さんが爲めであつて、當時は單に救世軍婦人ホームとして市内飛彈町に設けられたのであつたが、婦人の收容と同時に兒童の救濟がついて來たので、播磨町に新築移轉して更らに育兒ホームが設けられたのである婦人は身體が强壯で普通の智力さへ具備して居れば女中としても働くことが出來るが、大連でも女中難に追はれてゐる有樣なので、就職には決して心配の必要がない。現在收容してゐる婦人は病身か又は智力の乏しいもので勞働に堪ねない一種の不具者である。これに反して兒童の養育は却々容易でない、學齡に達すれば學校にも遣らねばならず、經濟上に於ても尠からず苦心を要するとの事である。

大正十一年中に保護した兒童及び婦人の數は八十五名で人事相談と職業紹介に屬するものが七十五件あつた。一箇年の收容人員は兒童に於て延人員一萬五千四百四十三名、一日平均四十二名、婦人に於て延人員一千九百九十五名、一日平均五名である。この可憐なる婦人及び兒童が救濟を要するに至つた原因を聞くに、兒童の方は父病氣にて一家の生計を立つることが出來ずに收容されたものが二名、父死亡し母親のみにて家計を支ねることが出來ないで救はれたものが五名、母親が死亡したり或は永年の病氣

にて養育困難のため救護されたものが四名、母親が別居し或は離別された爲め收容されたものが四名である。更に收容後の成行について見るに

大連にて親權者に引渡したるもの　十三名
內地の親權者に送りたるもの　七名
親戚知人に引渡したるもの　四名
養子に遣はしたるもの　一名
死亡したるもの　二名
現在收容中のもの　三十八名

婦人の方は前述の如く處置が早いのと最近警察の取締が嚴重になつて例の被誘拐女が殆ど絕へたので收容者が減少した。十一年中新たに保護を與へたものは僅か十二名で前年からの繰越者八名を加へて十七名に過ぎない。其のうち內地へ歸國せしめたもの一名、大連にて親戚知人に引渡したるもの四名、女中奉公その他に就職せしめたるものが九名で、病氣死亡したものは僅かに一名に過ぎない。

　更に遡つて婦人及び育兒ホーム開設以來救護した哀れな婦人や兒童の數を取調べると、兒童に於て三百八十七名、婦人に於て一千三百〇七名の多數に達し、殊に姙娠の婦人が收容されたので、其まゝホームに於て分娩した兒童が十三名ある。警察から委託された兒童は三十一名で、これを內譯にすれば、父親の行衞不明や母親が精神病にかゝつた爲め救濟されたのが六名、花柳界に賣られやうとしたのが四名不良兒が五名、虐待せられたものが三名で、兩親共に行衞不明のため孤兒に等しくなつたものが二名で其他の原因は樣々である。大連にも日本人の極貧者は稀有なので棄兒は僅か一名しかない。猶ほ母子諸共に救濟を申込んで來たものが五十八名あつた。その原因は家計の困難であつて中には聞くに堪へない氣の毒なものもあるさうだ。茲に最も奇異とするのは奉公先より逃げ出して來るものゝ多いことであるこれは獨り本人の我儘のみでなく、我々日本人の中には未だ奉公人を奴隷視するものが多く、隨つて苛酷な使ひ方をするので、折角奉公に行つても不平を起して飛び出すやうになるのである。

　それで開設以來の收容婦人一千三百〇七名のうち奉公先からホームに賴つて來たものが實に五百九十名の多數に及んでゐるが、その他婚家から飛び出して來た花嫁もあれば、無斷家出して親達を手古摺らせたものもあり、就職先からホームに舞ひ戻つたものもあつて、千差萬別である。こゝに感心すべき一

婦人がある、その婦人は些細のことから人生を悲觀して身の振方を相談に來たのであつたが、ホームに入つてから眞の信仰を得たのであらう、全く見違へるばかりの人間となり、今は清い貴いこの救濟事業に一身を捧げて働いてゐる。斯うした婦人は現代の如き輕佻浮薄の世には洵に珍らしい。

西廣場救世軍小隊で

取扱つた人事相談

物的生活の困難が心的懊惱に向ふことは、大覺者大賢人でない限り、誰人も拒むことの出來ないもので、日一日と斯うした人々が增加して行くのは、社會問題として注意すべき傾向である。救世軍大連西廣場小隊に於て最近一箇年間に於て取扱つた人事相談の件數は四百四十二件の多數に上つてゐるが、その中で最も多いのは宿所者の百二十件、免囚保護に關するもの七十二件、心靈上の相談六十一件であるこの心靈上の相談が比較的多いのは、惑ひ悩めるものゝ少からざる證據で、神は何處に居りますかとか神は實在するものでありますかとか、死後の心靈は何うなりますかといふ樣な種々の問題を持つて尋ねて來るのである。如何に科學が發達しても、社會人生には理智のみで解らぬものが多く、殊に悩めるものゝ少からざる今日、自然斯うした疑問を抱いた人人が多くなつたのであらうと思はれる。

次ぎに多いのは職業を紹介したもの五十件、一時保護を加へたもの十五件、內地へ歸國せしめたもの十件、その他金錢上に關する相談、疾病者保護又は感化に關する相談等である。何せよ現在の軍營では何うすることも出來ないので、去月本部より山室大佐が來連されたのを機會に、滿洲本部を設立することゝなり、旣に沙河口にも小隊を設置し、旅順及び奉天にも隊員が派遣されてゐるが、肝腎の本部の基礎がまだ出來てないので、差當り軍營を改造することになつて、過日來取拂ひに着手し、その跡に三層樓の軍營を建築する筈で、旣に寄附金の募集に着手してゐる。建築費は三萬圓の豫算で關東廳と滿鐵會社とから相當補助を仰ぐさうだ、この軍營の改築が出來上れば小隊として大いに活動するさうであるから今後は一層役立つことであらう。

社會問題彙報

中流階級の爲め兒童相談所

大阪こども研究會では今まで毎月一回專門家の講演を聽いてゐたが此の七月から兒童相談所を開始することになつた此の兒童相談所は方へ宮に市のが一個あるがこれは場所が不便な上に下層社會の人が多く行つて中流階級の人が行きにくがつてゐるので研究會ではこの點を考慮し場所を三越内とし中流階級の人を主として取扱ふことになつた。

日は未定であるが月二回宛三田谷醫學博士が主任となり醫者一名と看護婦二名がこれを助ける取扱は目下のところ精神と身體の診査だけで治療はビタミンの注射位の簡單なことに止めて置く委しい表が二枚出來てゐて一枚は專門的のものであつて醫者の方に保存し一枚は平易に書いてあつて母親に渡し各項に子供の狀態を書き入れることになつてゐる此の表は三田谷博士が數年間大阪兒童の體育檢査をなした經驗に基いてたてた標準で此種のものとしては頗る進步したものであると。

大連に民衆本位の歡樂郷

華やかな街の灯、耀かしい星の光、さては綠の木陰吹く凉風に人の心は自ら時めく盛夏のこの頃を利用してヤマトホテルの屋上庭園の淸雅なブルジョア氣分とは全然反對に飽くまでも民衆本位にたとへば淺草や千日前の歡樂郷を縮寫したやうな納凉場が七月初旬から九月下旬まで村上演藝部によつて開かれることになつた場所は大連市唯一の水流であるダルニー川を中に挾んで綠の木立の鬱蒼として繁れる常盤橋電車停留場裏の元農事試驗場跡の空地で入口の大アーチのイルミネイションを始め場内には十數のアーク燈や大小の電燈が白晝の如くに輝き納凉客の心を浮きたゝせる光の巷を現出しダルニー川の一部を堰きとめて水を湛へたところ二丈餘の高さから落下せしむる大瀧は附近の賣店、餘興場、その他に吊される色電氣、紅提灯、岐阜提灯などの彩光に映發して絢爛眼を奪ふばかりの美觀を呈し林の中を吹き渡る凉風と共に萬斛の凉味は湧いて盡きず納凉客を喜ばせる。

開場中は絕えず煙火を打揚げ餘興場では喜劇、淨瑠璃、浪花節、安來節、女道樂演藝大會、大鳴戶、九州灘、東京大江山一行の九州力士と大連素人力士の合倂相撲が間斷なく催されて入場者に無料で觀せ更に有名なサーカス團一行の曲藝大會、犬と猿の合同芝居、晴形兒連の藝づくしである珍物大會なども開演される猶ほ川椽の瀧の邊りには是等大小餘興場の外に射的場、魚釣場、休憩所、日支料理店、ビヤホール、氷店等が葭子張りや竹圍ひに岐阜提灯又は雪洞などの凉しい趣向で客足を呼ぶといふ有樣であつて至極民衆的ではあるが一方に興味中心、營利本位なところが有つて俗惡であるとの評判が高い。

滿鐵社員の特設人事相談所

滿鐵社會課では曩に獨身宿舍主事專任者を特設したが更に人事相談を右主事で鞅掌することとが發表されたその監理は社會課長がなし(一)家庭に關する事項(二)結婚に關する事項(三)住宅に關する事項(四)生計に關する事項(五)其の他一般相談に關する事項等であるとが細則に就いてはまだ發表を見るに至らないがこれに就いて某社員は語る。

專任の主事が縮小主義を取つて居る今日に

おいて討議されたと言ふのも要するに此の人事相談を爲さしめんがためであつた今日の時勢は小さな一般商店ですらその使用人に對し温情主義が容れられない状態で使用人が結婚年頃に達しても主人が自ら進んで結婚の面倒を見てやらうとはしない嫌が相當であつては特に外出制限を行はないだけそれ丈け他に色といつて問題を起すものも少くない其の結果婚期は遅れる身を誤つといふことが多い之れは相當大きな社會問題であるに違ひない締役でも若い獨身者が居るので適切な社會施設は是非なくてはならぬ人事相談は從來の社會係の仕事から一歩を踏み出した譯である折角これが利用を勵して貰ひたいと。

頗る民衆化した軍隊酒保

うどんとぜんざいとほまれより賣らなかつた軍隊の酒保も近頃では餘ほど民衆化してレターペーパーからタオルの日用品はいふまでもなく煙草も敷島に朝日といふ上等なものが現れるし七月からはビールにラムネ、あべかは餅・葛餅、ビフテキ（肉は頗る堅いが）に酒もちやんと燗の出來る器具を備へつけてさうでなくても食意地一方の兵隊さんの食慾をそのクライマックスにまで引きつけるのだから堪らない夕食後の五時から八時までの三時間はまるで戰場のやうな賑ひである。

今これらの飲食物や日用品が各聯隊ではどれほど賣れるものか大阪歩兵三十七聯隊と八聯隊の酒保について調べて見ると一杯七錢のビールが一日に六斗五升、一個一錢のあべかは餅が千五百、ラムネが少い日で千二百本多い日には三千本、ぜんざい（三錢）が四百五十杯、煙草が六百個といふ有樣でこれらが一箇月の後に金高となつて現はれた數字は日用品千三百二十三圓八十四錢、飲食物四千六百三十圓六十六錢、煙草二千四百十圓九十三錢、酒千三百二十四圓五十六錢で無論月々によつて賣上高に相違はあるが大正十一年度一箇年に酒保に落ちた兵隊の金は全部で七十六萬四千六百二十六圓四十九錢に達した。

下士以下一日一人平均給料が十七錢一厘で酒保に入つた金が一日一人平均十三錢九厘であるからその差三錢二厘だけ殘ることになるが實際においては中々どうして七日七日の外出日には酒保で使ふ金の三倍も四倍も一時に使つてくるばかりか一度演習にでも出やうものなら大抵兵卒で十五圓乃至二十圓は使ふので本年四月から一日三錢宛昇給して一二等卒で一日十五錢、上等兵で十八錢、伍長勤務上等兵で二十錢とはなつたもの丶それつばかしでは蕉つぽちの足しにもならないので自然家元から融通するものが多いさうだ。

不景氣で減少した勞働爭議

不景氣の影響で大きな勞働爭議は著しく減つて來た大阪府特高課の調べによれば本年に入つてから今日までに發生した爭議の件數三十三件のうち僅々二件の怠業があつただけで他は全部罷業を行つたその參加人員は三千三百十四人（中怠業百六十四人）でそのうち要求貫徹し勞働者の全勝したのは僅に二件（八十八人）に過ぎないがこれに反し全然要求を拒絶されて資本家の勝となつたのが十一件（八百卅一人）あつたそして十六件（二千百五十六人）は勞資相互の妥協で纏り二件（七十五人）は未解決の儘で取殘されてゐる。

爭議の種類から見れば賃銀增額二十四件（二千二百七十七人）同減額反對二件（四百六十五人）工場設備改善一件（三百六十五人）を主なるものとしてゐる因に最近八年間の爭議の推移を見ると大正五年には僅に二十件千四百八十九人に過ぎなかつたものが大正八年には二百八十六件六萬五千七百三十九人に增加し同年を峠として漸次下り阪となり昨年は百

四十九件三萬三千八百五十四人に減じたが本年も一般に不景氣であるから此の狀態で進めば昨年以下に落ちるであらうと。

大連郊外河東屯に勞働街

大連市及び沙河口を合せて現在乘川馬車の數八百臺にのぼるが鐵道協會や全國記者團の來連した時などは二百臺又は四百五十臺からの馬車を提供して市内を練り廻した光景などは迚も大連ならでは見られぬことなので始めての人は孰れも吃驚してゐたのも無理はない大連の乘川馬車は交通機關として重寶なばかりでなく慥かに大連名物の一つに算へることが出來やう之等の馬車は從來市の内外に散宿して衞生上又は風紀の上などにも頗る好ましからぬ狀態を示してゐたが沙河口屯會河東屯に馬車收容所が出來てから小崗子以西の馬車七百餘臺は大半こゝに收容されたので今や市内に散在するものは少くなつた。

河家屯の馬車收容所には七百餘臺の馬車に從屬する馬匹二千頭以上にその馭者並びに家族を合せて二千人を收容してゐるので一萬四千坪の地域内には各種の店舗も六十九軒からあり東西に貫通する五間道路の外六つの通りがあつて立派な市街地を形成するに至つた收容所に附帶する馬車修繕工場、蹄鐵工場、皮革工場、共同浴場または洗濯屋、家族宿舍等も漸次擴張される筈である飲料水を得るためには六個の井を堀つて間に合せてゐるが馬糧だけでも一日千圓を要する程で水量の不足に困つてゐるが近く水道が敷設されることになつてゐるから衞生狀態も良好になるだらう尙二千五百臺の荷馬車を收容するためには荷主並に馬車夫の便否を考慮し香爐礁、寺兒溝、道前屯方面に建築する筈で敷地その他の調査も終り願書を關東廳に申達中である。

殆ど引張凧の滿洲簡保資金

滿洲に簡易保險を實施されたのは昨年十一月からである爾來當局の勸奬その效を奏して本年度内には四十五六萬圓の實收を得る見込があり杉野遞信局長は之れが運用につき本省及び大藏當局と折衝の結果滿洲にて募集したる保險料金は滿洲の公益事業に低利資金として供給したいとの諒解を得たが大連市を始め奉天、長春、撫順等にてもそれ〳〵公設市場職業紹介所、住宅組合等の使途に低利資金の融通方を申込める額既に百數十萬圓に達せる狀態にある元來簡保低利資金は徵收料金中五割を積立殘り五割は事業費又は拂戾し金等に充當するものであるから滿洲に於ける簡保資金は本年度内には約二十萬圓見當であるのに既に八倍の要望である點から見て所謂娘一人に婿八人の觀がある内地では前年末の現在に於ける約半額を融通する規定になつて居るのであるけれども滿洲は特殊の關係にあるから杉野局長が特に本年度收入豫算を見越して先貸の形式を取る位にしたいとの希望を述べたところ大藏當局の容るる處となつて何時でも査定の出來次第融通される事になつてゐるのださうで遞信局では各希望者の申出に對し大津監督係長の手で査定を急いで居るからその査定書は近く遞信省に送られ同省を經て大藏省に廻附される筈であると云ふ。

以上の經緯に就いて見ると大連市が公設市場及び市職業紹介所の建築資金として約三十萬圓を望んだと云ふことは其の融通額より十萬圓も超過してゐるので假令融通を受くるものとしても全要望額百五六十萬圓の割合で按分すれば三分の一となり約四萬圓位しか融通されぬ事になる尤も此融通に當つては必ずしも出願全部を容れて按分する譯ではなく必要の程度も斟酌せねばならぬから全滿洲に於ける簡保契約者の約半數を占める大連市に對して總額の約半額位融通されるやうになるかも

知れぬが何れにしても出願が多いので随つてその選擇には困ることであらう。

瀧野川學園の低能兒教育

人間の中で雑草や紙屑のやうに扱はれる低能兒即ち精神薄弱兒教育のために一生を献げた石井亮一氏夫妻の創立した瀧野川學園も開所以來卅三年財團法人となつてから已に四年になつた數年前火事で焼失し再築した建物も今では小暗いまでに茂つた樹蔭にすつかり落ちついて躁鈍、癲癇、白痴の學問的にいへば三種の精神薄弱兒在院四十餘名計りが園長夫妻を初め献身的な保姆の人々の温かい情のもとに教育と療養とをうけてゐる此の他一昨年から同園に併置された東京府の委託にかゝる兒童研究所で精神薄弱兒の鑑別を行つてゐるが昨年の鑑定數は五百八十人に上り各警察からも不良兒託兒所からも來ればなほ本年に入つては少年審判所からも絶えず送られて來るソレを同所では一週間滞在させて心理學的醫學的の諸方面から數種の智積檢査をしたうへ彼等に對する將來のことをも考へてそれ〴〵鑑定書を作るといつた風にしてゐる。

同時に倘ほ保姆の養成を行つてゐるが中には小學程度の者が數人混つてゐる「雑草は雑草として紙屑は紙屑として役にたちます社會問題としての薄弱兒の研究は今後重要なる問題であります」と石井氏は語つてゐるが理事長澁澤榮一子等は昨年から着手してゐる八萬圓の基金を一日も早く成就して氏の願ひである新しい計畫を實現したいと最近活動を初めた此の新計畫は附屬病室及び特殊設備を有する研究室の設置とそれから其の近縣に一萬坪の農園を得ることであると云ふ。

依然暴利を貪ぼる市場商人

大連信濃町市場に於ける野菜商が依然暴利を貪つてゐることは非常なもので市場商人から小賣商に卸賣するには頭から五割の手數料を徴收することになつて居るので之れに卸商と小賣商人との利益を加算するときは消費者は途方もない高價な代價を拂つてゐることになるのである市場に野菜店する者（支那人）等は平常地方から蔬菜類を供給する農民に資金を貸付けて自由販賣をなし得ざるやうに仕組んである甚だしきに至つては農民が市内に野菜類を搬出する途中に見張りを出して若し市場以外で販賣するやうなことがあれば貸付けてある金の催促をなし殆ご脅迫的に市場に廻送せしめることにして居る斯樣なわけで市場といふも生産者と問屋との間に勝手に取引されて居るのだから公定相場といふものがある譯でもなく場合に依つては全く捨賣同樣の値段で買取られることもあるのである農民に資金を貸付けてゐるといふのも表面の理由に過ぎないので事實は彼等農民が蔬菜を市場に持込んだときに賭博に耽つて遂に金に窮し僅ばかりな市場の問屋からその賭博のために窮した金を出すのをいふのであつて農民から申せば資金でも何でもないのである。

また市場に搬入された蔬菜類を小賣商に卸す場合五割の手數料を徴收するといふが如き亂暴な制度を設けておきながら一面生産者から買入れる値段の如きは消費者が聽いたら吃驚するほご安いのである一例として市外馬屯にある栗屋農場から市場に供給する蔬菜類の價格を聽くに蕪の如き丁寧に束となしこれを洗つて車に積み込むのであるが十五貫で四十錢から三十五錢位に値切られて仕舞ふので結局一束が三厘五毛位にしか當らぬことゝなり運賃にも足らぬ程である然も市場から小賣商人の手を經て消費者の手に渡るときは四錢から五錢位にはなるといふ有樣で殆ご十倍以上になる譯だ右の如く生産者と消費者の間に支那商人が介在して生産者を壓迫し消費者を脅

威してゐる間は地方農氏と一般市民の蒙る損害は尠くない或は市場内に蔬菜維市場を設けて公定相場を表示することにするか何れにしても當局者の嚴重取締を要するわけだ。

北海道御料地爭議の解決

帝室林野管理局の管轄に係る北海道上川郡神樂村東西御料地千八百町步の小作人六百名の爭議は管理局の土地貸附規定に口をつけた東御料地一號地の松浦宇吉同水野喜代治及び西區御料地九號地の西村九十郎氏等が明治二十八年當時から千八百町步の貸附を出願して許可されてゐたところ彼等は規定を無視して地主の地位に立ち貸附された前記千八百町步の土地をそれ〴〵六百名の第二小作人に耕作させ四十四年からは水田を開拓せしめて一ヶ年の小作料約三十萬圓の收入を得てゐた所から起つたものである而かも借地人が管理局へ納入する小作料は五町步につき年十圓といふ低率に引易へ小作人からはその二百倍の小作料二千圓づつを搾取して來たものだといふのである此の我利的なる橫暴の事實に見れば爭議の勃發に何の不思議はないのだ。

右につき東西御料地組合長近藤儀太郎及び山越忠次郎の二氏は六百の同志から上京委員の使命を帶びて五月中旬以來農民組合顧問杉木彌助君と共に數次宮内省を訪ひ關屋次官、本田局長、東久世事務官と折衝を遂げたうへ七日に至り三代表の提出した第二要求案に對して適確な解決の曙光を得るに至つた小作人側は借地人側に東西工組合資金七萬圓を提供し借地權を恢復し更に管理局より全耕地の無償讓渡を得る譯である借地人側が萬一この提議を容れぬ場合には當局は斷然沒收して之を小作人側に讓渡する内約が成立した問題の解決に滿足な保障を得た三代表は交々語る「四回上京した借地人側へ涙金として土功組合資金の七萬圓は拂ふこれからは農奴から解放されて公民となる譯だ立派な村とする爲めに顧問として北海道大學の森本厚吉博士を迎へるつもりです今は四國の余土村や武者小路氏の新しき村の事業を研究中です借地人はこの十四五年間に皆百萬圓近くの資財を作つてゐる彼等が今日までにどれだけ苛辣な搾取振りだつたかゞ解るでせう」と宮内省の裁きがその宜しを得たのは喜ぶべき事である。

自由自治の教育『兒童の村』

野口援太郎、下中彌三郎、爲藤五郎、志坂寛氏等の敎育の世紀社では一つの新敎育運動として「兒童の村」なるものを創設し最も徹底したる自由自治の敎育を試みることにした此の兒童の村なるものは將來東京市の内外數箇所に設營する方針だそうだが差當り市外落合村字下落合に設營するものであつて尋常小學校程度の學校である此の學校の特也は個々の人々の天分を存分に伸展せしめ之を生活化することに依つて人類の文化を發達せしむるにあつて第一月謝を徵收せず學校經濟は擧げて父兄會の自治に任し第二學校内部の主事の選任や其他の事務組織に關する事も一切敎員の自治に任せるそして村の施設經營は世紀社の同人がその責に任ずるのだといふ。

この「兒童の村」なる學校は如何なるものであるかと云ふに(一)自由進級制に依る六學級編制(二)敎室は普通敎室六特別敎室二(三)定員は一學級廿名で全體で百廿名である(四)敎員は一學級一名の專任敎員を配置し(五)全國敎育實際家の志望者中から數名の研究生を採用することになつてゐる兒童の村の敎育は學校の兒童數を少くすることゝ從つて學級の兒童數を少くすることにあつて質實を尊ぶと共に敎育の本質を十分に發揮するにあるとの事である斯うした兒童敎育が起つて來たのは現敎育制度の缺陷の然らしむるところだ。

智識階級の求職者が多い

大連市職業紹介所の六月中の統計を見ると求人數男八十四、女五十五、計百三十九名、求職者數男百七十、女二十四、計百九十四名で就職者數は男六十、女十四、計七十四名となつてゐる而して求人求職ともに店員を筆頭に傭婦及び事務員これに次ぎ従つて就職も同じ傾向を示してゐることを前月に比較して見ると計數において別段求人求職ともに變りはないが就職は十四名の増加を示してゐる變つた現象としては店員と事務員（主として男向きの職業）の需用が増し傭婦（主として女向きの職業即ち女中）の需用が減つてゐることゝ又これと殆んど同じ比例において供給も同様な傾向を示してゐることである。

是等は一時の現象として認められぬでも無いが尚變つた現象としては求職者の學力程度が漸次高まりつゝあることで即ち六月中のそれを見ると高等專門學校卒業者男二名、同半途退學者男五名、中等學校卒業者男二十五名女六名、計三十一名、同半途退學者男二十八名、女二名、計三十名、高等小學校卒業者男七十名、女四名、計七十四名、同半途退學者男七名、女二名、計九名、尋常小學校卒業者男十九名、女五名計二十四名でそれ以下のものは殆んど見られぬ状態である即ち之れに依つて見ると高等小學校卒業程度のものと中等教育以上の教育を受けた者と伯仲して居り且是等が求職者の大部分を占めてゐることになつてゐる満洲に於ける知識階級者の就職難が之に依つて略推察されるであらう。

農園生産者が蔬菜類の直賣

蔬菜の出盛り期になつても生産者と消費者との中間に支那人仲買人が介在して不當の利得をせしめ居るやうな大連市における現在の市場制度では如何に當局者が物價調節を呼號しても其效果は一向思はしく現はれて來ない米農式農園として西沙河口に模範的農場を經營してゐる成美園主粟屋鐵衛氏は開園以來滿二箇年支那人菜園業者の間に交つて新地歩の開拓に努力して來た結果今日では其の生産品は支那人生産者の蔬菜類に比し優秀品として約二割位の高價にて市場の取引が行はれるやうにはなつたが右の如き市場の現状と未だ小賣市場としての責務が慣習上需要者に何等寄與する處がないのを遺憾とし米國式に生産者の製品を直接需要者に消費せしむるフリーマーケットを設けて家庭經濟の調節を計つてはとの意見で民政署殖産課の當局に献策したさうだが新谷地方課長の如きは大贊成者で是非之れは試驗的に實施して見たいとあつて具體案を講究する事になつたさうである。

具體案としては市内適當の空地に一週二回位の露天假市場を開き時間を制限して生産者をして自由競爭的に直接需要者に販賣せしむるもので斯くすれば多少の手數はかゝるとしても市場卸値に比して二三割以上の安價に販賣し得る事は間違ひなく需要者に取りては新鮮なる野菜を而も安價に購入し得る特點があるので自他共に至便の良法と云はればならぬ現在に於ても粟屋農園では薩摩町の雙葉幼稚園が維持費捻出考案から經營者たる婦人連が野菜バザーを一週二回同園にて開き其純益を維持費に充當すると云ふので態々市場卸値同値にて仕切運賃を負擔してまで公益事業費補助に資してゐると言ふ事であるから此際斯かる方面の施設は物價調節の上から見ても大いに奬勵實行すべきものであらう經濟組織と經濟政策を社會化して一般人の生計を現在よりもつと安易にすることは正しく時代の一要求であつてソレには生産と消費の距離を出來るだけ接近せしめるやうに種々の方法を講じ施設を試むべきことと勿論である。

平安朝の社會問題（一）

福岡高等學校教授　玉泉大梁

平安朝概觀

（一）時代概觀　私は平安朝の時代概念を得る爲めに、假りに平安の奠都翌年延暦十四年から壽永四年平氏滅亡まで三百九十一年間を數へ、更に之を三分する事にする。初期としては延暦十四年から宇多天皇の寛平九年まで百三年間を以てし、中期とは醍醐天皇の昌泰元年から白河天皇の應德三年まで百八十九年間で、末期とは堀河天皇の寛治元年から安德天皇の壽永四年まで九十九年間を充てた。斯う分けたのは政治史を背景として社會史を見る上に極めて便利があるからである。一口に平安朝と稱してもそれは約四百年四世紀間であつて我國の各時代中大和時代を除いては最長の時代である。

（二）政治上の概觀　政治上平安朝を見れば次の鎌倉以後に對して稱する王朝時代の主要なるものである。併し是は形式よりの説明で、政治の實際は貴族の手に歸してゐたから、貴族政府の時代と稱して然るべきである。又一面より見れば小數貴族の政治であるから寡頭政治である。その初期中期は藤氏の攝關政治とも稱し得べく而して末期は院政時代である。政治形式より見る時は律令格式の時代、中

央集權を原則とせる統一的政治の時代であつたのだが、末期においては著るしく是れが破壞せられてゐる。末期は實に大陸の政治形式模倣の時代である。勿論その程度に至つては初期に最濃厚で、中期是れに次ぎ、末期においては大分個性を發揮し、さうして鎌倉時代創設の基礎を形造つた。

(三)經濟上の概觀　經濟上から平安朝を見るに生産手段の主要たるものは農業である。從つて農業經濟卽ち土地經濟の時代である。分配手段が充分發達せなかつた時代であるから、商業、交通業の見るべきものなく、經濟單位は小區域に限定せられ未だ國民經濟時代には入らなかつた。庄園の發達を見たのは全く此に起因してゐる。平安京及び奈良は大消費地であるから、多少地方より農産其他の集積を見たるも、貨幣經濟の域に達しなかつた。貨幣の存在並に使用は特殊なる土地と人とに限られ、一般人民は物々交換を事とし、金屬貨幣よりも商品貨幣たる米布等が專ら使用せられた。國家經濟の歲入とし徵收するものは米布等の貨物でなくば勞役卽ち人力の徵收であつた。故に平安朝は原始産業時代である。併し大化改新以前の素朴なる經濟狀態に比すればー大躍進をなしてゐた。我が國人の經濟的欲望は緊張し既に經濟的活動を合理化さうとする努力も始まつた。鑛物採取の奬勵せられたこと、鍬その他の農具の發達したこと、農産物の種類の增加したこと其他の經濟財の需要を盛ならしめた事は明かであるけれども、流通經濟の時代でないから、自足主義を取つてゐた。初期の國家社會主義たる班田收穫法が破れて、中期以後庄園の發達と共に、各庄園が經濟活動の原動力となり基調となりて、それが大いに一般民衆の經濟的欲望を助長した。政治的に見ればその反逆者たる庄園が平安朝經濟の發達に貢獻して他日國民經濟創始の階段をなしてゐる。

社會組織の缺陷

(一)貴族政治　嵯峨天皇弘仁六年、萬多親王以下數人の人々に依つて選定せられた新選姓氏錄には、神別、皇別、諸藩等合せて一千一百八十二氏を擧げてゐるが、これ等の氏は貴族或は准貴族である平安朝の姓で重んせられたものは眞人、朝臣、宿禰忌寸の四姓である。そこで新選姓氏錄に依れば左京右京、山城、大和、攝津、河內、和泉に於て眞人四

十八氏、朝臣百十一氏、宿禰九十八氏、忌寸五十氏計三百七氏である。眞人は最高で唯皇族の姓であつた。平安朝では大いに輕視せられた朝臣は皇別の有力者となり、神別は後に至つて諸藩の最高最貴の氏を賜はつた。藤原氏、橘氏、石上氏、小野氏などは朝臣の姓を賜はつた爲めに姓階級は朝臣、眞人、宿禰、忌寸と云ふ順序に變した。時代語としては權門勢家の名を以て是等の貴族を呼んだ。

此の四姓に屬する貴族は位階官職を私して政治は此の階級の仕事とせられ他の階級に屬するものは容易に政治に與ることが出來なかつた。而も從五位以上の人に蔭位の制度があつた。貴族の子孫が功勞なくとも親が一位であれば、嫡子は從五位下、庶子は正六位上に任ぜられ、親が三位であれば嫡子は從六位上、庶子は從六位下に任ぜられるの類である。大化改新の人才登用主義は何時しか亡びて氏族制度が再現したかの如き有樣である。たゞ大化改新以前と異なるは、官職の世襲は原則としないが、小數貴族中から任選したから、人民側より之を見る時は、族長政治も小數貴族政治も大差のないものである。此の貴族と稱する上層政治獨占階級の存立が平安朝社會組織上の缺陷の第一に數ふべきものだ。

(二)僧侶の專橫

平安朝の社會組織に於て貴族と庶民と區別する要素を大觀するに第一重視せられたものは血統の關係である。上古の氏族制度の社會が有してゐた社會的體制が、或る意味に於て尙存じて血族を中心とせる貴族の城壁を更らに堅固に保護したものは官職、經濟的資力、學問の三者であるる然るに當代佛敎と僧侶とに就いて視察するに、僧侶は平安朝の社會組織に大なる勢力を有して居た。血統の尊卑に就いて自由であり、而かも官職、經濟力學問の三者を保有した。官職にては貴族の有する世俗の官とは異なるけれども、之に相當する名譽の表章と職務とを有する僧官僧位を有して居り、それだけ門地と格式を張り、寺院の盛大に伴ふ寺領その他の施入よりする經濟的資力は充分で、又學問に至つては貴族の指導者を以て任じて居た。

僧侶の出身は貴族階級に限らず庶民からも高僧知識を多く出して居る。從つて貴族と庶民との衝突を防ぐ安全は僧侶階級であつた。併し僧侶は貴族と共通點を有する方が庶民と共通點を有するよりも多いから當代の僧侶は貴族の味方と稱してもよい。特に

經濟上に寺門繁榮を期する目的にて寺領の廣大を計り庶民の迷惑は眼中に置かなかつた。僧侶は特に貴族と利害を共にしたから、是等二階級は場合に依つては相結託して經濟上の有勢を支持せんとし、そして庶民を壓迫したことが甚だ多い。併し庶民が經濟上貴族に壓迫せらるゝよりも僧侶に壓迫せらるゝことにおいて精神的滿足を有したことは否定し得ない要するに經濟上の特權階級たる貴族と僧侶の横暴は平安朝社會組織上缺陷の第二である。

(三)庶民の位置　庶民と云ふ語は貴族社會に對して用ゐられ下級の社會を形成する一般庶民を意味する。當時庶民又は庶人、人庶或は平民、天下百姓の語が盛んに用ゐられ、明かに一階級を指摘する語となつてゐた。詔勅などの文中に多く見ゆる庶民に當る文字は黔首黎民の語である。庶民は貴族が有する姓を持たない、特別に榮進したものを除いては原則として無位、無官、被治者階級で同時に生産階級である。貴族を始め庶民の上層に位する僧侶は消費階級であるが、生産階級に屬する庶民と利害自ら相反し、随つて二階級に分裂する傾向を生じた。庶民は政治上、經濟上、社會上總ての點に於て上層二階級に及ばなつたから、彼等の理想は此の二階級たる事にあつた。然る貴族たることは不可能であつたが、僧侶には容易に成り得たから、此の方面に於て庶民の活動が起つたのは無理のないことがある。庶民が政界に活動することは極めて困難であつた。けれども或特殊の場合は立身することが出來た。先づ貴族の舍人、資人、張内等となり、手能が認められれば京官の低き官職たる織部正にも就き、後地方官として下國守にもなつた。併し是は庶民の全體四五百萬人に對して何十萬分の一にしか過ぎない。庶民は内位では從五位まで、外位では正五位上まで登り得たが、其數は極めて少い。庶民は官位にありつき得ても、或る限度以上に達しないのと、其數が極めて少いのとで、とても庶民の政治欲、支配欲を滿足せしめることが出來なかつた。庶民は政治上、經濟上共に上層貴族及び僧侶階級に屈服せなければならなつた。庶民が上層二階級に對して極度の下層に位して居たといふこと即ち社會上最大多數者の屈服が平安朝社會組織上の缺陷の第三である。

庶民階級中に於ても社會上種々の職業的階級を認める、先づ第一に置かれるものは諸官司の下級官吏

及び權門勢家の家人等がある。賦役令に依れば舍人史生、伴部、使部、兵衛、衛士、仕丁、防人、帳內、資人、事力、驛長及び職長等は課役を免除せられた其上彼等はその屬する官司を笠にきて一般庶民に對し威を示したから、一般庶民は是等社會上の名譽と課役免除と稱する經濟上の利益とに着目して、大いに是等の特殊庶民階級を羨望した。また權門勢家の家人たることを好んだ理由も、全く是と同一の理由で、詰り社會上の地位を高めて國司卽ち地方官の壓迫から脫せんとしたのであつた。

庶民が社會的經濟的に破滅を來して落ち行く先は第四番目に數へられる賤民階級社會である。自ら自由の天地を棄てゝ奴婢に身を賣るにあつた。此くの如く平安朝の社會組織は幾多の缺陷を孕してゐたから自然に社會問題の發生を見るに至つた。社會組織成員の十中の九以上が庶民階級であつたから庶民間に起る經濟上の問題は平安朝の文化問題において極めて重要なる位置を占めるのである。

人間は働くべき者なり

勞働保護會　永井淑

勞働保護會も開設以來十有七年の星霜を經るに至つて、漸く世間からも認められ、またその經營も緒についた次第であるが、今度その組織を改めて財團法人にした。自分は大井憲太郎氏經營の後を繼承して今日に及んだのであるが、斯る事業は寄附行爲によつて維持し且發展せしむることは不可能であるから、自ら進んで仕事を起し、それを經營して得たところの財を以て經營費に充てる方針を執つた。それと同時に收容した勞働者殊に免囚の如きに對しては精神的にその教化に骨を折つた。精神的に墮落したものを物質的に救濟することは容易なことではない、飽くまで精神的に矯正して物質的に滿足せしむるより途はないのである。自分は無宗教ではあるが一つの信念を持つてゐる、その信念といふのは頗る

簡單で、『人間は働くべき者なり』と云ふのである。働くべく生れて來た人間の多くは、働かないで甘い物を喰ひまた働かないで金儲けしやうとの慾望からツイ悪い事を企むやうになる。殊に囚徒の多くは働かないで甘い事をしやうと考へたところの謂ゆる横着者であるから、免囚となつて保護會にやつて來た以上、先づ自分の信念を彼等に次き込み、そして何處迄も徹底的に働かす樣にしてゐる。

社會の多くの人々は食はんが爲めに働くやうに思ふが、これは大なる間違ひであつて、實は働くために食ふのである。働いてさへ居れば決して食ふにマゴ付くやうなことはない。要するに稼ぐに追付く貧乏なしだ。世間には幾ら働いても働いても貧乏して其の日の生計にさへ困るといふ人があるが之れは何處かに間違つた働き方をして居るのではないかと思ふ。同じ働くにしても、自分の利害關係のみに拘泥しては成功するものでなく、またその働きに意義を持たない。眞に働く以上は社會に基礎を置いて社會の爲めに働かねばならぬ。如何に自分は偉いと言つた處で、社會を離れては一文の價値もなく、社會があつて始めて偉くもなれるのであるから、飽くまで社會のために奮闘努力せねばならぬ。さすれば必ず社會からその者に向つて自然と應酬する。謂ゆる天道我れを殺さずである。自分はこの信念の許に過去十七年間この救濟事業に當つて來たが、或る時は世人に誤解され、或る時は穢多の如く取扱はれ、或る時は官憲の壓迫を受け、人間として受くべき凡ゆる辛酸を甞めつくした。唯だ茲に氣の毒に思ふのは年若い家族共が全く自分の事業の犧牲となつて十七年間一日の如く自分の信條の許に働らき續け來つたことである。ツイ數日前のこと押入れを整理した處が十二年前陸軍から拂下けて貰つた蚊帳が襤褸になつて現はれた。到底使用に堪へないので支那人に賣りましやうかと家族が言ふから、馬鹿なことを言ふなそれは自分の歴史を物語る唯一の紀念である。大事に仕舞つて置けと再び押入れに納めさせた。これは余談だが自分は今でも成るべく蚊帳を用ひぬ樣にしてゐる。然るに滿鐵邊の一傭人は裾模樣入りの蚊帳の中に這入つて暑いとか何とか贅を云つてるさうだが人間が斯う贅澤になつては困る、物價の暴騰もこれでは當然と謂はねばならぬのである。

要するに保護會が今日あるを得たのは全く働き續

けた結果であつて、世間に向つて自慢の出來るのは寄附なるものを受けて居ないことだ。滿鐵及び篤志者から援けを受けたが、自分の主義は働くのであるから、金よりも働くべき仕事を呉れといつて貰つた同じ百圓の金子と寄附に依つて得たものは誠に柔かいが、自分が手足を勞して得たものは實に尊いもので、決して浪費されるものでない。この信念を持つて働いて居つたならば決して惡いことを考ふる遑はないのである。現在保護會にて經營して居る仕事は農園、製紙及び農園の附屬事業としての牧畜で、一面漁業にも關係し、兇囚四十名近くをそれに使つて居る。斯くの如く十七年間働き來つた仕事が今や財産となつて現はれて來たのであるが、この財産は固より自分の私すべきものでなく、多數者の勤勞に依つて出來たものであるから、一面この事業の基礎を堅むべくそれに依て今回保護會を法人組織とした次第である。世上の社會事業者は宜しく他力主義でない自力主義に依つて向上發展の途を開かんことを望む。寄附を仰いではならぬと云ふのではないが夫れにのみ依頼してはならぬ。福澤諭吉先生の『獨立自尊』の句は實に味ふべき言である。

奉天省中心の都市政策

在奉天　田原漠東

支那の現狀は軍閥の世界であり、軍閥を中心とした富豪者流の天地であつて、思想的には進みつゝあるも、實際は少數特權階級の專制政治が行はれて居るのである。滿洲とても同樣で、首府所在地たる奉天省城の如きも、總司令張作霖氏の立籠つて居る處だけ、幾多の文武官は市街の樞要地に宏大なる土地を獨占し、一般民衆は狹隘なる地區に密集し、道路の如きも狹くして、殆ど都市としての體裁をなして居ない。一部少數の智識階級には進歩的思想の持主もある樣であるが、大多數の民衆は呉下の舊阿蒙で

あつて、其の生活狀態は極めて低く、要する一種の奴隷的生活を辿つて居るのである。

然るに奉直戰爭後における奉天中心の政治ぶりには多少の新生面が啓かれて居た。勿論東三省の全體には及はず、謂ゆる聯省自治を中核とした軍民分治の行政なるものには、實質上大いに討檢を要する點あるも、省長王永江氏が熱心に都市の文化的社會政策に當つて居るのは注目すべき現象である。今その二三について記せば、省域に市制を施くと共に從來の不合理なる舊式政治に一刷新を加へんとし、その前提として公署員を我が東京に派し、日本の都市政策並びに社會政策的施設に關する實地調査をなさしめる事にした。支那には夙に救恤を主とした特種の社會事業が行はれ、奉天の同善堂の如きはその最も優なるものとして知られて居るが、それにも拘はらす、都市及び農村に亙りての一般的社會政策的施設に至りては、一も觀るべきものなく、政治的にも經濟的にも何等進歩の認むべきものがない。然るに王省長が今回公署員を我が東京に派して都市政策並びに社會政策的施設の實地調査をなさしむるに至つたその動機は、主として社會事業を施行せんとするに在るもの丶如く、その第一期の事業として各種の公園、共同浴場、市營旅館、慈善病院、市營市場、公共水泳場、市營住宅等を實現せしめんと計畫し居ると傳へられ、同時に、幼稚園、實業補習學校を設けて教育方面にも新生面を開くであらうとのことである。聞くところに據れば如上の計畫は二箇年計畫であると云ふことだ。之が實現すれば東三省の支那行政は恐らく面目を一新する事であらう。

猶ほ都市政策を行ふがために市工程局なるものを設置し、先づ市區の改正を行ひ、保安、衞生、其他の施設に一歩を進め、別に工業區を設けて工業の發達を計り、また電鐵を布設して交通上にも一刷新を施すことに成つて居る。是等の新施設は會市政廳長を中心として着々實行を期するさうで、電鐵の如きは既に實行の段取になつて居るとの事である。果してその傳ふるか如く滿足なる成果を望み得るや否やは保し難きも、王省長が東三省の行政に進歩的施設を試みんとしつ丶あるは事實であるから、之を輕視するは非常な間違ひで、常に文化を高唱する在滿日本人は深く注意を加ふると共に奉天の此の都市政策に對し刮目注視すべきことゝ思ふ。

東宮御慶事記念事業

質問に對する千種萬樣の回答

本會は本秋御擧行の東宮殿下御慶事に際し關東州内においても適切恰當なる文化的乃至社會的記念事業を行ふ必要ありと認め各方面人士に對しその答案を求めたるところ七月締切日までに得たる各位の回答は次の如し回答は到着順に依りて之れを列記せり。

學術的博物館

尾見　薫

學術的の博物館を是非大連に設立したいと思ひます。

人々が無意味に消費しつゝある宴會費や儀式の費用を半分丈でも節約すれば其の設立費用位は容易に得られやうと思ひます。

日華親善機關

張　本　政

拜啓貴會益々御清祥之段奉賀候陳者今秋御慶事に際し記念すべき事業として行ふべき施設に就ての意見は一般賢明なる諸彥の御考へに隨從するは勿論なるも滿洲の如き特種の地方にありては日華官民をして眞に親善を實行し得べき事業を施設して兩國官民の社交機關に適用なし度存候之れは何により肝要かと考へられ候、敬具。

産業相談所

矢　中　快　輔

廢頽せる現代社會は自給自治の覺悟を各人に與へなければなりません權利屋を廢止し眞個勞務の報酬によりて生活せねばなりません故に萬人に活用出來る産業研究相談の機關を設立したいのです。

日華青年會館

柴　田　博　陽

日華親善の基調となるべき青年會館の設立を大いに希望致し候その創立費は日華人双方より募集し大連に於ける唯一の日華青年の社交機關に充當致度候。

體育館の建設

村　田　懿　麿

完全なる體育館を御慶事記念事業

として建設しトラックは勿論プールの如きをも具備せしめ度し蓋し大和民族が海外に發展する上においては先づ健全なる體格及び思想を必要とすればなり。

公會堂の建設

武村　清

公會堂を建設すること。

由來大連には一の公共的建設物あるを見ず乃ち此の吉辰の日をトして公會堂を建設し永く御慶事の記念となすことは蓋し最も意義ある舉なりと信ず。

一般的公會堂

池内　勝里

御問合せの東宮殿下御慶事記念として特に必要なる文化的乃至社會的施設は只今のところ最上の考案無之候へども差當り市公會堂の建設の如きものを以て良策と存申候而も今は窮屈なる形式に囚はれず廣く一般市民のために公開し以て之れを有意義に且つ簡易に利用せしめ度存申候、貴答迄。

青年團の設立

高柳保太郎

青年團を設立したい。考へれば考へるほど問題は澤山ありますが併し私は差あたり此の一ッを主張します。

矯風會の組織

古澤　丈作

資金の自由を得ば好個の事業多々可有之も目下の財界に照らし實行容易ならず玆には資金を要せずして實行可能のものを錄し候

一種の矯風會を組織すること

(イ)下らぬ宴會を可成廢止し必要の場合は洋式茶話會又は簡單なる茶食會位に止むること。

(ロ)だらしなき賤業婦同座の宴會を廢止すること。

(ハ)約束時間の嚴守、例へば宴會等に於て來賓の大部分が揃へば時間通り直ちに開宴すること。

植林と文化宣傳

大石　萬壽

社會的施設としては當地周圍の禿山に悉く植林することを最も可とす文化的事業としては我が帝國開闢以來建國の大道を全世界に知らしむる事即ち我國は天祖の御神勅の如く治すべし治するは侵略に非ず即ち德を以て統治すべしの謂にして歷朝聖皇の遵守せられ以て今日に到りたる事を徹底的に知らしめ世界の疑惑を解き世界の平和を期するに在るを廣く宣傳すべし。

定期航空事業

向坊盛一郎

小生は現今日本に於ける文化的乃至社會的事業として先進國に比し最も遜色ありと思はるゝ飛行機の發達奨勵を圖る目的にて御慶事の機會に大連內地間の定期航空事業を開始せんことを望む。

運動場か公會堂

難波勝治

(一)コロシアム式の大運動場か若しくば(二)中央公會堂などが宜敷やに愚考仕候。

三種の會館

上川安雄

(一)滿洲大博覽會、(二)大連公會堂、(三)滿蒙物產陳列館(大連)の建設、右は何れも懸案になつて居ますが此機會を利用して實現せんことを希望致します。

博物館の建設

服部精四郎

私は大連市に博物館を設立することが最も適當なる記念事業であるまいかと存じます。

結婚媒介機關

寄藤好實

當地の狀況に鑑みて其の必要を認むるのみならず御慶事に相應しき事業を思考す。

蠶業獎勵會

遠藤裕太

資金拾萬圓位を以て野蠶養蠶獎勵會を設立し農家への低利貸附を始めとし販賣機關をも設置して斯業の發展に貢献すること。

支那研究所

佐藤四郎

支那研究所を設置したし。滿洲社會事業研究所の趣旨とは相異なることあらんも。

支那人向の施設

渡會貞輔

一、支那誘拐婦女保護事業
二、支那苦力の文化的村建設
三、支那ボーイ養成所設立

以上日支有力者の共同經營とす。

日支俱樂部

中川健藏

大連に日支人を會員とする俱樂部を起し適當の經營方法を案じて會員輯穆の實を擧ぐる事。

理由＝滿蒙開拓の第一要件は日支兩國人の打解けたる提携に存ずる

こと言を須ひざるに付之れに資するこそ最も大なりと思はるゝものを記念事業としたし。

物産陳列館

平井惣太郎

關東州の都市大連には未だ陳列館なるものなし惟ふに昨年の如く内外の商人多數渡來せるとき商品及び製品の陳列場なき時は彼等に滿足を與へ難きこと云ふ迄もなし故に記念事業としては物産陳列館を設くるに若しくはなし場所は西公園内が適當ならんと思ふ。

在郷軍人會館

脇屋無所畏

大連在郷軍人分會々館を設立する事斯ういふと文化的なる大連人士の多數の方は鼻先でフフンと冷笑されるでせうが総し冷靜に市民として一考して戴きたい貔子窩事件や列車内の所謂馬賊事件のある毎に市民側に何んな輿論が起りましたか大連に四千名の大會員を有する堂々たる日本一の在郷軍人會分會は一體何處にあつて何をして居りますか佐渡町の隅にあつて周圍の人から虐められ乍ら一小茅屋に殘骸を留めて居るとは果して大連の名譽でせうか在郷軍人といふ名稱がお氣に召さぬとは恐れ入つて申上げ樣もない市民諸君宜しく此の會館を設立して帝國軍人の意氣を發揚せしめよ。

同上會館設立

辻慶太郎

在郷軍人分會々館の設立。關東州は我が國民が二回の肉彈を以て購ひ得たる貴き地域にして滿蒙開發の策源地なり而して當大連には五十有餘の在郷軍人あり然るに此の分會は微々として振はず其の振はざるは目標なき爲めなり仍つて堂々たる分會々館を新設し點呼その他軍事上必要の節にこれを利用すると共に平時は市民の公會用又は倶樂部用に提供すれば一擧兩得の策なりと信ず。

記念公會館

山本國平

記念公會館を建設する事。

(一)その資額約壹百萬圓とし一時に調達不可能とすれば之れを二三期に分つも可なり。

(二)事業は國力の發展を主とし水道、衛生、生産、救恤の總べてに渉り成るべく庶民的公開的にし一面研究所となすも可なり。

猶ほ文化的倶樂部としての意味を含有せしむるも妙なり。

日華公會堂

笠原博

公會堂の意味を廣めて市民倶樂部とし其の市民倶樂部も完全に日華兩國民の融合し得る日華公會堂又は日華倶樂部といふものにしたし而して出來ることなら其の倶樂部の支配人は中國人としたい。

鰥寡孤獨救濟

川村義郎

鰥寡孤獨及び癈疾者を收容する屋舍を建設し而して之れに相當の敎育、職業乃至保護を與ふるため其の基本財産を作ること。

體育館の設立

邊見勇喜

公會堂、市民館、武德殿の如きも御成婚奉祝記念事業として適當のものと思惟するも東宮殿下平素の御思召且は四圍の狀況と時勢の上より達觀して體育館の如きものが最も適切ならんと思ふ。

博物館

長谷川潔

予は之を主張す。

運動場か公會堂

牧野虎次

(一)大運動グラウンドを大連に設くること……………

東宮殿下が運動に趣味を有せられ常に斯道の奬勵を心がけさせ給ふことを稽ね良子女王殿下にも斯方面の御嗜み深き御主旨を思ひて斯の建議を致したし、大連には一大運動場の欠乏を感じ居ること久しき事なれば御慶事を紀念に斯企をなすは頗る願はしき事なり。

(二)公會堂兼市民グラブの建設。

東宮殿下が社交的に御心を用ひさせ給ふことを思ひ新時代青年の指導に深く御留意遊ばされつゝある思召を奉戴し豫てより我が大連市に無くてならぬ設備を此の機會に備ふることゝ致したし。

財團か子供館

香山長一

經費の多寡で考にも違ひますが五十萬圓以上なら一般社會事業の基本金ともなるべき財團を組識する事、比較的少額であるなら冬季兒童の遊び場所となるべき模範的子供館位が適當かと思ひます。

慈善病院の完備

黑崎眞也

御慶事に際しても貧にして病める者の少きを祈るが故に。

博物館

貝瀬謹吾

科學智識の滋養普及は我國に取りて最も緊要なるものゝ一ッであつて而も比較的閑却されて居るやうに思ひます依て關東州に於ては先づ之を目的とする博物館を設けることが御慶事記念事業として最好のものであらうと考へます。

青少年團組織

川上賢三

男女少年團同青年團の組織。

(イ)敬神、尊王、愛國を主義とす

(ロ)男女學生をして擧つて之れに歸嚮せしむ。

(ハ)官民協同して之を支持す。

(ニ)官民間より識德共高の人を擧げて之が指導に任せしめ教育家全體も亦之に參照す。

市民館の建設

寶性確成

市民館(公會堂)の完備したものゝ建設を最も可と信ず即ち右は市民のために開放して集會、講演會等に使用せしめ又圖書室と娯樂室とを設備する事にしたし尤も昨今商業會議所にて公會堂建設の計畫あれば右計畫を擴張して關東廳、滿鐵、市役所、其他を加へて理想的のものとするを可とす。

特殊兒童館

柳本尚次郎

本秋の東宮殿下御成婚に對する記念事業としては現代の風潮に鑑み之を國家的國民的に改むる爲め我が皇道を教養の中心としたる特殊兒童館を設け忠孝義烈の精神を養成し文化の誤用多き弊風より擺脫せんことを切望する者なり。

市民俱樂部

入江正太郎

公會堂(市民俱樂部)

支那語傳習所

安藤哲三

(一)支那語の傳習

理由、語の不通は日支親善の發展を妨ぐ在滿邦人に宜しく常に全部支那語を傳習すべし。

(二)記念公會堂の建設。

簡易市民館

栗木榮太郎

公會堂については既に計畫がありますから極簡易な建物にて市民館を設ける事に致したし然らば經費も多額を要せしむるべし(展覽會又菊花陳列會の如く極めて手輕に

時々利用の出來るやうに)

支人救濟事業

遠藤　達

支那人救濟を目的とする社會的事業(孤兒院、盲啞院の類)

科學博物館

今　景彦

〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰

尙『局外生』といふ匿名にて何人か知らねど御慶事記念事業に對し次の如き投書を寄せられたれば併せて玆に揭ぐる事とせり。

日支共通事業

局外生

私は貴會の會員ではないが本秋御擧行の東宮殿下御成婚に對する關東州の記念事業としては之を日本人にのみ限らず州内居住の支那人をも含ませ日支親善の意味にて双互に共通したものを撰ぶのが最も適當だらうと思ひます。

然らば何んなものが可いかと問はれると今のところ纏まつた考へがないので一寸返答に困るが日華青年會館、日華社交俱樂部、日華兒童館などは蓋し適當なものだらうと思つて居ます關東州内の支那人は日本の新附民族でないが我政治下に在りてそれ〴〵義務を負擔し居ることゆゑ我が一視同仁の大海の如き皇道の上から又我が皇室の御召の上から見て御慶事の記念事業は他の民族にも及ぼすのが至當だらうと考へます況んや今日は支那に對して文化事業を行はうといふ時節であつて見れば猶更以て我が行政治下に在る支那人を除外することは出來ない筈です内地なら兎に角植民地とか植民地に等しい海外の地に於ての御慶事記念事業は皇道の大旨を鑑みて廣く大きく考へたいものです。

特に我が皇室の有難味を彼等に示すといふ意味ではなく彼等がいかに思ふとも我は我として六合を包み八紘を覆ふ我が廣大なる皇道の本旨を照らし大義を四海に布くの大宏量を以て斯る場合の記念事業は分けても他の民族にも關係ある事業を撰擇したいと云ふのでありますす日本人だけの事業では何となく物足らぬ感じがします。

以上は私の思ふところを卒直に有りのまゝに申上げた次第ですが何んなものでしよう百人百樣で意見は定めし區々と思ひますが根本の旨趣をこゝに取りそして日支人の双互に共通したそして永久に傳はるべき適切な事業を愼重に研究して決定したいものです。

△□▽ 研究資料 △□▽

共同住宅の構造設備

東京博物館長　棚橋源太郎

共同住宅即ちアパートメント●ハウスは本邦現下の情勢に省み都市において特に必要の施設である共同住宅とは如何なるものかと言へば、こゝに數家族の住んで居る一個の建物があつて、其の各家族が建物内の數室を占有して生活し且その建物の出入口、廣間、廊下階段、庭と云ふやうな部分、又時には食堂室、臺所、浴室、便所等すらも共通に使用して居るのを共同住宅即ちアパートメントハウスと稱するのである。一家族の獨占して居る數室は一括して之をアパートメントと呼んで居る。

●●●●●共同住宅の特徴

都會生活に於て共同住宅が重要視されて來たのは近年の事であるが、其の原因は人口の激増に伴なふ地價の騰貴とそれから家庭經濟の膨脹とである人口が増して僅少な面積の地に多數の人が住むやうになつて來ると自然採光も通風も惡い狹小な家を建て込んで造ることに成り勝ちである。其の住宅は衞生及び保安の點から見て危險極りなきものとなる。都市に人口の過群する結果は都市の便利な地所へ住宅を設けやうとしても、地價が高い爲めに一人では建物を建てることが出來ずまた家庭經濟のうへから考へて見ても、一家族毎に住宅を構へると煖房、給水、排水、電燈電話及び瓦斯等の設備の新設、運轉、維持を各自でなさねばならぬ不便と不經濟があり、更に使用人をも傭ふて置かねばならぬが、其の勞銀が可なり高價なものであるのみならず、其の人がまた容易に得難いので、隨つて家族中の誰かゞそれに從事せねばならぬ事になる。共同住宅は以上の樣な不都合を除く爲

めに生れて來たものである。

此の共同住宅の構造を好くして高くすれば、比較的少ない建坪で數多の家族が住はれ、安全と採光並びに通風の完全とを求めることが出來、煖房、温水、冷水の供給排水、電燈、電話等總ての設備費及び維持費を節約することが出來る。近來共同住宅のこの便利なことを知つて、都市の內部に於て共同住宅の簡易生活を營むものがあり、又郊外には別に住宅を設けて田園趣味を味はんとするものも出來て來た。郊外居住の如きは從來都市の內部に廣大な邸宅を構へながら尙ほ十分自然の美を味ふことが出來なかつたのに較べて遙かに優つた方法であると思ふ。然し何事にも一利一害が伴ふので共同住宅にも勿論缺點がないとは言はれない。而も歐米諸國に於てそれが推奬されて盛んに建築されつゝあるのは、畢竟するところ生活費の昂騰と住宅難との爲め切實に苦しめられつゝある結果であつて、共同住宅の便利が如何に大なるかを知るに足るわけである。

▲**共同住宅の種類**　共同住宅も發達するに從つて幾個かの種類に分れ、獨身者向きのもの、少人數家族向きのもの、多人數家族向きのもの、少人數向き並に多人數向きのアパートメントを併有し居るもの、富豪一族で一階より最上階まで一個の共同住宅全部を占領し居るもの、美術家、音樂家、寫眞師の如き其の職業上の必要から特に二階に亙つて使用の出來るアパートメントより成るもの、又は家具及び食器一式を部屋と共に賃貸するもの等種々なものが出來て來た。然し此處では最も普通の家族向きのもので又家族の人數も階級も中位のものに對する共同住宅に就いて述べる積りである。此種の共同住宅は其の設備の如きも尙ほ一層之を簡單にして便利と經濟と衞生上の利益とを享有し得られるやうにしたいものである。

▲**共同住宅の位置**　元來共同住宅は人家稠密の場所に建設して採光、換氣、其他衞生並に保安上滿足なる結果を得るの趣意であつたが、今日は更に之を郊外に擴めて敷地の潤澤なる場所にも設けらるる樣になつたから、結局市內及び市外の兩方に建設せらるゝ場合ある譯である。共同住宅は單獨の住宅と違つて各住宅の集合せる樣なものであるから、光線の射入、通風の方向等に就いては殊に注意する必要がある。從つて郊外に建てられる場合は、建物の外形も自由

であるが、市街に建てられる場合は、其の位置が街の角地にあるか然らざるかに由つて外形の取り方が違つて來る。建築法規の適用を受ける以外に後庭と内庭との位置及び大きさは特に考慮せねばならぬ。後庭並びに内庭も成るべく街路に連絡せるもの、又は連絡せる通路のあるものを撰ぶ必要があり出來るならば街路に接する前庭を取る方が適當である。建物は一般に南向きに建てるのが宜い。内庭は若し之に面して居る窓が開いて居ると、向側の話が聞え易いとか騒がしいとか、下の方から惡瓦斯下水、塵芥等の臭氣が上つて來るとか、氣流か停滯するとか、種々な缺點があるから、街路に連絡せる大なる通路のない限りは、之を設けない方が寧ろいゝ樣だ。共同住宅の建坪と敷地との關係及び高さ等が建築法規で定まつて來、それから後庭、前庭、内庭等が敷地の位置及び其の市外なると將た市内なると等に因つて建物の外形が自然定まつて來ることになる。外國の例などに據つて見ると、長方形、凸字形、凹字形、桝形、卍形F、H、I、Lの文字形等種々あるが、これを要するに其の場所と環境とで變化するのである。

▲共同住宅の間取　外形が大體定まれば次は間取であるが、之は第一に昇降機、階段の位置を撰定し、次に建物全體を幾個かのアパートメントに分けるのである。尤も街路に面する方には上等のアパートメントを設くべきこと勿論でそして街路に面する方及び後庭、内庭等に面する方には、採光、換氣を最も必要とする寢間や居間を設くることになる。此の外相當な數の押入を設くる事、廣間、廊下等の面積を最小限度に止めること等に注意して間取を定むべきである。要するに間取は大體簡明を主眼となし、昇降機及び階段の位置室の配分、位置及び大きさ、共用室との區分、廊下、廣間等の面積全般に亘る採光並びに換氣と言つたやうなことが共同住宅に對する間取の問題となるのである。

間取に必要な要素は、共用室(居間、客間、食事室其他)と、專用室(寢間、書齋、女中室、其他)、附屬室(臺所、使用人室、浴室、其他)等であるが、中流の共同住宅としては四室(居間、食事室、寢室、臺所外に浴室)から五室乃至六室位のものである。五室乃至六室は四室のものに寢間又は使用人室の増したものである。尚最も簡單なのは二室又は三室位のものであつて

一室又は二室のものであるならば食事は寧ろ外部でするのが便利であると思ふ。間取及び設備に付いて注意すべき事柄を列擧して見ると凡そ次ぎの如くである。

一、階段及び昇降機はアパートメントの數に應じて必らず適當に之れを設くること

二、各アパートメント毎に臺所並びに物揚機（ダムエーター）を設備すること

三、同じく出入口に近く雜用戸棚を設備すること

四、階段及び昇降機に連なる廣間は採光と換氣との十分なるやう注意すべきこと

五、居間、寢間の如き長時間占用する室は採光、換氣上最適當の位置に設くること

六、長い廣間若しくは廊下は成るべく避くること

七、昇降機のない共同住宅は四階以下とすること

八、災害の點から見て四階以上は耐火構造にすること

九、庭は街路に面する前庭を第一となし街路に連絡せる後庭之れに次ぎ内庭は成るべく之れを避くること

一〇、災害防止上階段と昇降機室とを區劃すること

一一、階下の貯藏物品又は其他の物品等から臭氣が階上に上らぬ樣にすること

一二、床及び壁は音響の傳達せぬ樣にして借家人間の靜粛を破らぬ樣にすること

一三、各室とも之れを耐火構造とし從つて出入口の扉も耐火構造として建具、造作共に金屬製が望ましく木材は成るべく使用を避くること

一四、構造及び仕上材には吸水性の材料を避くること

一五、虫類又は塵芥等の溜り場所のなきやう又掃除に至便なる樣にすること

▲**共同住宅の諸設備**　共同住宅の正面出入口を入ると、先づ玄關大廣間があり、其の側には階段室昇降機、電話室、應接室、待合室等があつて、尚その周圍に幾個のアパートメントがある。其一アパートメントは専用廣間、廊下、食事室、居間、寢間、臺所、浴室とから成るが、更らに之れに女中室客間、書齋、事務室等を適宜に夫夫增加したものもある。

以上の各室は大體之を西洋風にし、間取その他に就ての注意は前節に述べた通りであるが、何事も過渡期に在る現在の今日においては、一個のアパートメント内の設備は、全然西洋風にせずとも、當分は和洋折衷となし、在來の住宅の間取及び設備に改善を加へれば差支ないと思ふ。但し正面出入口の玄關の側に下駄箱又は靴入れを置いて上草履やスリッパーの類と

穿き換へる樣にしたいと思ふ。地下室には管理人の部屋以外に煖房用及び給湯用の汽罐室、石炭室、動力機、物置があり、又その地下室に紙屑や臺所の塵芥取捨用ダムエーターを取扱ふ所とすべきである。總て文明の利器たる換氣、煖房、給水、給温水、排水、瓦斯、電燈、電話、電鈴等の設備は、共同住宅に於ては遺憾なく之を利用し、出來るだけ便利を得る樣にする必要があるから、勢ひ專門技術者の力を借りることが大切である災害豫防の點から云つて、已むを得ぬ場合の外は全部耐火構造にしたいのであるが、木造とする場合には必らず三階以下とすべく、殊に非常梯子の裝置は決して忘れてはならぬ最大要件である。

▲**共同住宅の案内**　以上によつて共同住宅の事は略々解說し盡したが今一つ共同住宅の案内を附け加へて置きたい。玄關から廣間へ入ると、其の側に事務室があつて其處に電話交換臺があり、又各アパートメントを番號別に區分した郵便函がある。郵便物は勿論の事來客は皆其處で受付け、交換手が電話で各アパートメントに知らせ留守の時は來客の名刺を郵便函の棚に入れて置くのである。昇降機に乘つて所要の階まで昇ると、それから共同廊下を通つてアパートメントの出入口に達し、次に入口の扉を開けると一寸した廊下樣なものがある。其の取付きが卽ち食事室及び居間で、續いて其の奧には寢間があり、寢間と寢間との間には便器付きの浴室がある。

又前に述べた食事室の隣りには臺所、其の奧には女中室があつて女中は臺所から直接前記の共同廊下にも出られ、又その出入口から食料品が運ばれる樣になつて居るのもある。勿論家族が多くなれば寢間の數も隨つて增して來る。また夫婦限りのやうな小家族なれば其の向きの共同住宅に行くと、居間と食事室を兼ね、それに寢間及び浴室の附屬して居るやうなアパートメントが借りられる。

▲**共同住宅の便利**(上)　次に西洋でアパートメント住ひをして非常に便利を感じた或る技術者が歸朝後爲したる演說を左に引用して共同住宅の如何に便利なるかを說明するの文に換へようと思ふ。

若し食事室と客室とを兼ねた共同住宅で、食事中又は掃除中に客が來たら何うするかと言ふに、先づ前述の交換手が受付けて、之を電話で知らして來るから、下の應接室で應接するとか、又は其處に

暫らく待たして置いて、掃除なり食事なり濟んでから上げる樣にするから少しも差支はない。

客室の備品の單位は丸テーブル一脚、はりぐるみ肘掛椅子二脚、並椅子四脚、ソファー一脚（但し來客用の寢臺に用ひらるゝものを便とす）、書棚一個、窓掛一掛、敷布一枚で、他は室の大きさや窓の數や本人の趣向やで變化する。食堂の備品の單位は、普通楕圓形の食卓一脚（中央の板を拔取り兩側の板を要せれば丸形の食卓となるもの）、椅子六脚、皿棚一個（食器在中）、窓掛一掛で、之も情況により變化する。また寢室備品の單位は、二人寢臺一基、衣服箪笥一基（開戶は姿見となり居るもの）、鏡臺箪笥一基、小机一基、夜机（便器入一基、椅子二三脚、窓掛一掛敷布一枚であるが、之も變化する押入は家に造り付けてあるから借家人とは關係がない。書齋は普通取ぬ事になつて居る。大抵寢室が廣いから便宜之を書齋に使用したり或はまた客室若くは食堂に利用することが出來るのである。

臺所備品の單位は、必要なる臺所道具一式（眞空掃除器および塵箱を含む）、但し流しと、洗滌器と四聯の瓦斯ストーブ一基と、オーヴン一臺と、氷箱一個と、棚とは造り付け乃至備は付けで、借家人が持込む必要はない。大臺所の大きさは普通四坪位で小臺所になると二坪もない位である。流しは入子になつて、洗濯器の上に重なる樣に出來て居るから、取つたり嵌めたり兩樣に便はれるし、また中小の臺所ならば、外にダムエーターと稱する小さい昇降機の戶が開く樣になつて居て、朝は鈴の知らせで塵を下げて遣り、或は食料品を上げさせるのである。又流しと洗滌器の上には、湯と水のコックが一個づゝあつて、四六時中湯も水も自由に出る。風呂場には歯磨石鹼、手拭、用便紙及び洗濯物の籠等がある。風呂桶と洗面臺と便器とは勿論造り付けで、風呂桶にも洗面臺にも湯と水のコックが一個づゝ付いて居て、之れも四六時中使へる。便器は勿論水流しである。それから各室には蒸氣暖房があつて、毎年九月中旬から四月末までは、默つて居ても溫めて呉れる。臺所と風呂場の湯水の費用は家主の負擔である。電話機も部室に備へ付けてあつて、戶外に通話する時は一回に五仙を拂へば足りそして一切月末勘定である。

▲共同住宅の便利（中）　地下室には家の一切の世話をするジャニ

ター(管理人)の居るアパートメントと機關室と物置がある。屋根は共同物乾場、散歩場、納涼場等になつて居る。そこで此の洋式の特長を言ふと、先づ朝起きてパン、ミルク、珈琲等で朝食を輕く濟まし、掃除は電氣應用のヴアキウムクリーナーで遣る。客のある時は前述の共同客室で待たせるから一向差支ない。萬事が佇立して辨ずる便利がある。自分(技師)は夫婦住ひであつたから、日本の友人が日本食を食ひたいとへば、その用意を爲し、今日は五六人行くからと云ふ電話が掛かると、妻は材料購入の爲め早速外出する。戸を開けて外へ出れば戸が自然に閉つてそして鍵は獨りて掛る。

合鍵は自分とジャニターが持つて居る許りである。鍵の製造法は非常に發達して居るから、見本に合せて造らない以上、他の鍵にて合せることは絶對に不可能である隨つて留守中も絶對に安全である唯外出のとき鍵を必ず腰に着けて居ることを確めて置かぬと歸つて來てもジャニターの厄介にならねば入れぬことになる。鍵はバーンカチンと獨りでに掛るから、ズンズン下に降りて、市街へ行つて相當材料を買ひ、何町何番何號のアパートメントへ屆けて呉れと註文して歸る。暫くするとダムエーターの鈴が鳴るから開ける。下から買つた品物がガラ〱と上つて來る。其處では高過ぎるとか低過ぎるとか言つて部屋の口に來た時分にオーライと言つて受取る。そして書付通りの代金を代りに置いてオーライと言ふと又ガラ〱下げて受取る。下では總て沈默で頗る簡單に用が辨ずる。それからそれを料理するにしても、湯は直ぐ出るし、水も鳥渡栓を捻れば宜しいので、手輕く而も僅かの時間で出來る。料理によつては水から煮なければならないが大抵は湯から遣る。茶も湯で遣るので鳥渡沸かせば直ぐ用意が出來る。

▲共同住宅の便利(下)

瓦斯代は極めて少しで濟む。總て立つて居て何もかも出來る。それを一々食堂の食卓上へ立ちながら運べば宜しい。後の洗ひ片付けも頗る簡單である。さう云ふ譯で用事の間に坐ることはチットもない。疲れた時は單に椅子に腰掛けて居れば宜しい。それから洗濯も立つて居てする。洗濯器は流しよりはズット深くなつて居て、其の中へ洗濯物を入れて、湯と水とを注ぎ込む石鹼で洗ひ、汚水は其のまゝ底の栓を拔いて出し、又湯と水で洗ひ

ブルエーで重味を着けて絞り上げそうしてバケツに入れる。
　それを提げて昇降機で共同乾場へ持つて行つて乾して來る。さうして乾いた頃に再び昇つて持ち歸るのである。斯る次第であるから妻(技師の妻君)の言ふ所によると六人や七人の來客の用意をするのは何でもないとの事である。休息するのでも、椅子だけて我慢が出來ないならば、別に寢臺があるから其處で休息する。態々蒲團など出す必要はない。コロツと横になつて居ればいゝのである。それで別に何も疲れることが無い。近頃は日本でも坐ることが可かぬと云ふので、勝手だけは立つてする家もある樣だが、在來の日本の家庭は中々面倒で困る。それで自分も今度の家は立つて何でも出來る樣の設備を施したのである。

以上は某技術家の講話の要旨である。彼我の生活情態は其の根本に於て相違する所があるから、直ちに其の全部を我國に應用することは不可能なるべきも、我國今後の共同住宅の構造及び設備上、採つて以て參考と爲すべき點の甚だ尠なからざるを思ふのである。

實施さるゝ健康保險

愈々來年の四月から

我國には勞働者保護制度として從來不完全ながら工場法、鑛業法があり尙ほ各種の共同組合、簡易保險等もこれと同樣の作用をなす制度といひ得るが未だ十分でないため政府は今期議會で健康保險法を通過し來年四月から實施する豫定で去る六月より社會局內に健康保險部を設け諸般の準備に忙殺されてゐる今回の健康保險制度は各國の諸制度を參照すると同時に我國の產業狀態を顧慮して最も愼重に作成されたものである。
　此保險に加入し得る者の範圍は先づ強制加入者と任意加入者との二つに分れる強制加入者は工場法並に鑛業法の適用ある工場鑛山の職工鑛夫で其他の職員、守衛、小使等も加入させる任意加入と強制加入との中間は石材切出、砂利採取、電氣業、土木業、輕鐵業等の從業員、陸上運送、貨物積卸等の勞働者が二分一以上保險加入を希望すれば其他の者も一括して被保

險者となるのである而して此保險を引受けるものは政府及び健康保險組合である政府は保險組合加入者以外の職工鑛夫等の全部を自分が引受け先づ全國に五十箇所の保險所その下に約二百個の出張所を設けて保險網を張り之れを中心として事業の發達に從ひ次第に之れを擴張する計畫である。

　健康保險組合にも任意强制の二種があつて任意組合の方は被保險者數が三百人以上ある所の事業で彼等の二分の一以上が之に贊成した場合に認可の申請をなし得るのである强制保險組合の方は五百人以上の被保險者を有する事業主が內務大臣の命に依り設立するものである又この保險組合並に政府が負擔する保險事故は疾病、負傷、死亡及び出産の四項でその業務上生じたと否とを問はず保險給付をする事になつて居る即ち疾病負傷の場合に金錢給付をなすと他の費途に用ひられる虞があるから投藥手術入院より稀には湯治をもさせ尙ほ休業期間中は本人及び家族の扶助料として百八十日以內は日給の二割を支給する以上に反し出產保險の方は現金支給制をとり分娩費として二十圓を給し尙ほ若干期間は手當として日給の六割を與へる死亡の場合にもまた葬儀費用として日給二十日分是が二十圓未滿であれば二十圓を給付する。

　最後に重要なのは保險料の負擔でこれは政府、事業主、被保險者の三者に分割されその割合は政府の手當金、埋葬料、療養費等の經費の十分の一を出し殘十分九を事業主と被保險者たる勞働者とが半額づゝ支出する而して國家の支出分に就ては總額が被保險者一人につき二圓以下の金額を限度とするので豫定被保險者數二百萬人の見込なら政府の支出額は四百萬圓を限度とすると見て差支ない。

勞働爭議調停法案

來議會に提出さるゝ

內務省は來會議に勞働爭議調停法案を提出すべく目下社會局で立案中であるが本法案は床次前內相の時代にも制定の必要を認めて調查立案し勞働組合法案と同時に議會に提出の筈であつたが其の運び

に至らなかつたものである社會局では前内相時代の案を基として審議中でまだ成案とはならないけれど法案の骨子は(一)電氣、瓦斯、交通及び通信機關に關する爭議は罷業開始以前において強制的に爭議調停委員會の審判に附すること(二)其他の事業に對しては申出であれば爭議を終結せしむべく調停すること、(三)爭議調停のため官吏、勞働者、資本家、有識者を以て組織する委員會を設置すること即ち國民の生存に直接影響する事業の爭議に對しては此の爭議に對しては此の爭議の結果第三者が其の日常生活を脅威さるゝと云ふのは不合理であると云ふ理由に依り本法に依り政府が干渉することゝなるのである調停委員會を臨時に組織することゝするか常設的のものとするかは議論が一定しないけれども多分常設的のものとなるだらうと信ぜられる本法案に關聯して治安警察法第十七條を如何にするかの問題が生じて居るが治警第十七條によれば當局は瓦斯、電氣交通、勞働者が總同盟罷業を行ふ場合の如き外成るべく適用しない意嚮であるから調停法が制定されると自然本條の必要がなくなるので右調停法案と同時に治警第十七條を削除する改正案も併せて提案することに決して居ると云ふことである尚ほ勞働組合法案は前内相時代には調停法と不可分的なものとして扱つて居たが社會局では必ずしも同時に制定すべきものとは考へて居ないやうである。

庶民金融機關調査

大藏省の金融制度調査委員會にて

大藏省に於ては財界の起伏高低に順應して金融界の安定を保持する爲め金融制度調査委員會を設け金融制度の改善に關し調査研究に努めその調査事項中現下の社會狀態に鑑み庶民金融機關の改善統一に關し特に力を注ぎ居る模樣なるが右に就き寺内内閣時代の成案たる庶民銀行法を參考資料とし左の如く分類し調査を進め居れり。

一、貯蓄を主とするもの(イ)貯蓄銀行(ロ)郵便貯金(ハ)有價證券割賦販賣業

二、業務の實質に依るもの(イ)簡易保險(ロ)信用組合(ハ)無盡業

(ニ)非營利的無盡業
三、貸出を主とするもの(イ)質屋業(ロ)金貸業

其他に勸銀、農銀、北海拓殖等に於ては十人連帶貸出を爲し得る制度なるを以て是れ亦一種の庶民金融機關と目し得るを以て前記の範圍に屬すべく其のうち郵便貯金及び簡易保險は別とし他の機關は何れも改善の餘地多く殊に金貸業に至つては何等取締規定もなき現狀に在り大藏省の調査に據れば現在金貸本業者四萬二百五十八人、兼業者九千五百四十二人、合計四萬九千七百九十二人の多きに達しその運轉資金は實に三億七千六百萬圓を算し尙ほ年々一千萬圓以上の增加を示しつゝあるは庶民金融機關として輕々に看過すべからざるものあり而も今日まで是等に對し何等取締規程あらざるを以て大藏省は今回取締規程を設け(一)貸出利率制限(二)營業者に對し認可主義を取ること(三)其他營業規程等に對して或る程度まで嚴格なる條項を設くる筈なり次に質屋業は現在全國を通じ二萬七千七百人あり其の入質金額一億一千九百餘萬圓此うち受質一億三百萬圓、流質九百餘萬圓に達し是れまた細民階級に於ける有力なる金融機關たるは勿論なるが之が取締は從來內務省に於て單に警察行政の上より行ひ居るに過ぎざるも今回質業の發達を阻礙せざる程度に於て(一)貸出利率(二)貸出期日方法等の制限を改定する意嚮なるか如し。

又頼母子講の如き非營利的無盡業に對しては各府縣に於ける取締規程に依り取締り居れるも其の種類は極めて多種多樣にして是等多數中には或は營利的無盡業者の營業範圍を犯すもの多く從つて弊害少なからざるを以て大藏省に於ては一種の金融機關としての取締規程を設け且つ全國を統一せんとする方針なりと滿洲に於ても此種の方面殊に無盡講等に就ては隨分甚たしき弊害の伴ひ居ること具眼者の常に顰蹙する所なるか我當局が之に對し別段調査を進め居る模樣もなく殆んと相關せさるが如きは甚だ遺憾とする所なり。

猶ほ一種の庶民金融機關とも云ふべき信用組合はこれを都市にも普及せしむる必要あり大阪の如きは市の一部事業として現にこれを行ひ居れり本國以外の邦人在住地にも其地の原住民を合せて信用組合若くはこれに類似したる所謂中間法人を作らしめ以て庶民金融の便に供することは時節柄極めて必要なりと謂ふべきなり。

社會事業團體聯盟の協議

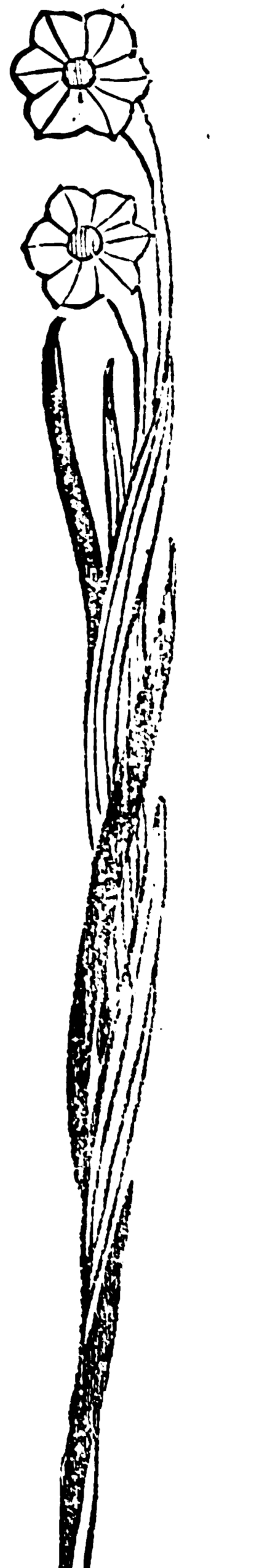
寄附デー設定についても協議

豫て本會において計圖中であつた各種社會事業團體の聯盟組織と寄附デー設定の件は取敢ず大連市内外の分を取纏める事にし七月二十一日午後七時より大連市役所委員室において各代表者の出席を求めて其の協議會を開いた當日出席した各團體及び代表者は

大連慈惠病院(柴田博陽)、基督教青年會(香山長一)、勞働保護會(永井軍治)、大連市職業紹介所(中村玉次郎)、爲人會(邊見勇彦菊地吉次)、大連海務協會(袴田可坪)、西本願寺幼稚園(岩本海量)西廣場幼稚園(勝俣喜十郎)、沙河口訓盲院(木下巳三郎)、沙河口保育院(伊藤安宅)

諸氏で宏濟善堂、救世軍婦人及育兒ホーム、赤十字大連支部、大連聖德會、矯風會支部、救世軍西廣場小隊、大連及び双葉幼稚園等は代表者又は主任者に事故があつて缺席した本會よりは今副會長、高柳相談役、村田評議員、山田幹事長、高橋幹事及び永田書記長等が出席し今副會長より本問題の經過と旨趣の大要を述べ各出席者の意見を求めたところ聯盟組織については異議を唱ふるものが無かつたが寄附デーについては各團體の立場からして種々の質問や意見を述ぶるものが有つたので今副會長及び特に臨席の高柳相談役及び村田評議員より夫々説明するところがあり兎に角此たびの協議會は各位の腹藏なき御意見を伺ひ大體において聯盟組織を可とした以上は極簡明な規約を作りその草案を各團體に回附して意見を求め更に協議會を開いて決定しようと云ふことになつて十時頃散會した。

猶ほ出席者より滿鐵社會課、大陸青年團、中華青年會、肺結核豫防會等の各團體をも加へて然るべしとの提議があつたので斯くする事にし猶ほ高柳相談役より大連における聯盟組織成れば追つてこれを他に及ぼさねばならないが滿洲全體は問題であるから先づ關東州管内だけにすべしとの意見あり更に聯盟組織の上は時々會合を催して各自の意見を交換し交情を温め社會事業といふ大同の上に和して一致協力すべき事、毎年一回大會を開く事、加盟者に對しては適度の制限を設くる事、輪番幹事を置く事など種々の意見出でたが夫等のことも更に協議會を開いて確定しようと云ふ事になつた。



有島とアキ子の情死觀

鐵牛道人

有島武郎と波多野アキ子との情死事件は、新聞を賑はし、是非の意見區々であるが、男が四十余歲の中老であつたこと丶、社會上相當の地位を占めて居たこと丶、女が有夫の婦人であつたこと丶が此の問題の核心である。吾輩が斯んな問題を論ずるのは少しく柄にないことであるが、社會上の一問題でもあるから、お尋ねのまゝ一通り所見を述べて見やう。

現實の社會は道德と法律と宗敎に依つて支持されてゐる。この道德や法律や宗敎の中には時代錯誤のものも有らう、隨つて改善すべき點もあらうと思ふが、兎に角法律と道德と宗敎とは社會構成の上に缺くべからざる要素である。假に戀愛が至上であるとしても社會人生と相容れない行動をして可いといふ道理はない。然るに有島武郎と波多野アキ子との情死は全くこの社會人生の本義を裏切つた行爲である。此點から云へば何等同情すべき所がない。第一有夫の婦人と關係を附けたのは、法律上の有夫姦であつて、道德上からも認容すべき點は少しもない。彼等が首を縊つて竟に情死したのは、四圍の事情よりも彼等自身の良心の苛責に堪ゐなかつた結果で、情死は當然の歸結であつたのだ。彼等の情死は當然の歸結であるが、併し有夫の婦人と情死を遂げたと云ふ一事は、若い男女が情熱の燃ゆるがまゝに相愛し、それが到底添ひ遂げられないとあつて情死する普通の情死に比べてみて、一層罪が深いやうに考へられる。

エレン●カイが一たび戀愛至上主義を唱へてから、戀愛の自由といふことが情熱に燃ゆる血氣の青年男女に歡迎され、厨川白村の著はした『近代戀愛觀』が讀書界を賑はしたのは、善かれ惡かれ、時代の潮流をトすべき一現象であると云へる。併し戀愛と性慾の關係は極めてデリケートな問題で、此間の差別を無視し、空漠たる平等觀に囚はれて徒らにラブ●イズ●ベストを高調するは危險だ。社會構成の要素たる法律と道德と宗教を蔑視して男女二人だけが勝手な道を歩くのは正しく反社會的行爲である。愛は一ッだ、それが男女間には戀愛となり、社會間には相互扶助となり、更らに人道とも博愛ともなり、大きく廣く伸びて衆生愛となるのであるが、思慮の定まらない青年男女なら兎も角、文藝に係はり社會問題にも理解力を有つてゐた有島武郎が、親や三人の子供の嘆きを余所に見て、多少の學力もあり才智もあつた波多野アキ子と情死したのは、論外の無分別であつて、戀愛至上主義などから仰山に論すべき事でない。

世には情死讃仰者とか云ふものが有るそうだが、情死は戀愛の極致ではなく、戀愛を圓滿に具體化し得られなかつた最後の非常手段に過ぎない。寧ろ戀愛の破滅である。イヤ人生の敵である。

人生と云ふからには生きんとするが正道である。人生なければ國家もなければ社會もない。自然の死や戰死又は變死は兎に角、自殺や情死は逆道であつて國家及び社會の破壞である。されば古今の識者賢人は、人生を壽福共榮ならしめんが爲めに、娑婆を極樂淨土たらしめんが爲めに、只管粉骨碎身するのである。有ゆる科學の進歩も文化の發達もこゝから生れて來るのである。然るに智識級階に屬する人達が此理を忘れ死を歡迎して生を縮めるのは甚だしい間違ひである。況んや世人がこれを囃し立てゝ徒らに思慮なきものを驅つて之れが蹤を追はしむるが如き傾向を誘發するは言語道斷の沙汰で以ての外の間違ひである。

情死したものを責めるのではない、人生の本義、國家及び社會の原則から觀て斯く立論するのである。普通の世間に有觸れた情死ならまだしも、智識階級者で生前社會に相當の地位を占めて居たものが情死といふ人生の逆道を辿るに至つたのは、實に遺憾千萬な事である。戀愛至上主義の祟りかも知れない。何んにしても有島とアキ

子の惰死は、何處から見ても、反社會的行爲として少しも同情すべき點がない。戀愛の自由を唱へて斯様な情死を企つる者が多くなつては人間界即野獸界だ、イヤ我々人類界の一大破滅である。

物價調節と婦人の覺醒

内務省囑託 今井兼寛

消費節約、勤儉貯蓄といふ事は民力涵養の五大項目にもある通り吾等國民の寸時も念頭を放れてはならない一大義務であつて、特に今日の如く物價昂騰し、至る處に生活難の絶叫される場合、各自國を擧げて之が調節を圖らねばならぬ事は、今更私の喋々する迄もない事である。物價調節策としての大體の骨子は、既に政府が曩に發表された第十九項目に表示されて居るが、私がこゝに尚一言したい事は最も手近い家庭の節約といふ一事である。我國の家族制度は各國に比して最も複雜であつて、家庭を圓滿に和せしむべき主婦の責任は重大且煩多である。而して家庭内の事は總て一人で切り廻してゆくと云ふ慣習の上に置かれて居る所では、主婦の心がけ如何によつて、其の家の物質的消長の上に多大の影響があるのは言ふ迄もない事である。故に主婦がこの新時代に處すべき根本義さへ自覺して居たならば、物價調節の上にも非常の效果を擧げ得る道理で、之には何といつても婦人に充分の教養を與へる、即ち經濟思想を鼓吹する一つの教育機關の設置が必要である。また各家庭には一家團欒の基礎となるべき一つの趣味即ち娯樂機關を作り、成るべく外で芝居見物とか甘い料理を取るとかいふ冗費を節約するやう主婦が心がけるといふ事も必要な事である。其他日用品を買ふにしても、下女の手をさし置いて、主婦自らが安い店を探して、安くて良い品を買つて來るといふやうに、從來の虚榮から自覺し、多少の煩ひを厭はずに、婦人自身が立働くことになれば自然と物價の上にも響きが及び且その家庭には常に餘分の貯畜が見られる譯である。要するに物價調節と婦人の自覺は密接の關係を持つて居る事を繰返して世の婦人の一考を促す次第である。

それに就いて一言したいのは米國婦人の覺醒である。米國に於ける婦人は以前は屋内に於て洗濯やバタ製造に沒頭することに老いて恰も殉難者の如く、其の終りは悲慘なものであつたけれども、彼等が洗濯桶から押流す水が木の葉をくゞつて山水となり、勢ひをなして沙漠や原野に押出すといふ風にグン／＼進んで來た。神の與へた婦人の力、それを唯消費して顧みないのは可けない、何とかしてそれを自ら利用しようと考へてから米國に於ける婦人の力は漸次に高まつて來た。其の一例として米國に於ける婦人界が商業界に與へた影響は太したものであつた。十數年前まで婦人は卸仲買小賣商の犧牲となつてゐた、例へば卸屋が或る種類の罐詰の不良なのを誤魔化して賣り込んだとすると、主婦は知らず識らず之を買はされたのであるが、婦人會が出來てから、婦人連が相集まつて、同じ種類の罐詰でも其の優劣を試驗して優等なものを推賞し使用した爲め、いかがはしい商品が次第に排斥されて了つた。そこで商人は婦人會と連絡して商品の賣買方針を定めるやうになり、品質も勢ひ優良となり商人が眞面目に品質と精製と風味とを主眼とするに至つたのである曾てアイダホ州の一小市で消費者週間を定めると、其の運動は八州にわたる強いものになつたことがあつた程で、斯くて製造家は、婦人會が商品に對する研究の激しくなるに從つて、貧弱な製品を科學の燈前に出すことが出來ず、遂に精良な商品のみを市場に出すやうになり、商人も商品の製造方法をよく研究する樣になつた。

一昨年の旱魃の時であつた、乾草の價が暴騰し、一噸三十五弗乃至四十五弗で賣れた爲め、羊を飼ふと損をし、一方外國より輸入した羊毛は市場に充滿し、其の市價も原價以下で羊のシカゴ市場に於ける市價は實に悲慘なものであつたが、この際に於ける米國婦人は一大產業たる飼羊の亡ぶるのを座視するに忍びないと奮起し、一方では凄じい程に羊毛の需要を高め他方では州の議員を動かして輸入羊毛に課税して吳れろと談判したそれが州議會を通過しないと見るや、個人相互の契約で俱樂部婦人は皆一ポンド羊毛を買ふことゝしそれを隣人にすゝめた。此の運動が始まると、直ぐにアイダホ州婦人會總本部長のバルサスタル●グリーン夫人は其の總會に於て自分の買入れた毛絲の價格と羊毛とし

て數箇月前に自分等が賣つた値段に大差あることを指摘して、製造家の暴利を盛んにあばいた。斯くて此種の悪製造家を驅逐する一方飼羊業の亡廢を防いだのであつた米國婦人の生産及び消費に對する活動は確かりしたものである。日本の婦人も物價問題の猶ほ騷がしい今日大いに覺醒し發奮し努力せなければならぬと思ふ。

女中が一番割が好い

事務員も女工も及ばない

東京府の職業紹介所では全國の職紹介所に向つて二つの問題に就ての調査をして最近纏めた。即ち職業婦人の要求する職業は何かそしてどの位の賃金を要求するかと云ふ二つの大事な問題だ。その土地柄によつて求職婦人の志望もいろ〳〵に變るが、事務員希望の多かつた紹介所は横濱、澁谷、龜戸川崎、神戸、佐世保、水戸、濱松仙臺、松本、大聖寺、門司、和歌山、福岡、岡山等であつた。女中志願のまだある所は京都、横須賀尼ヶ崎、四日市、名古屋、豊橋、大垣、松山、今治等で、女工の多い所は八幡濱、倉敷、大阪中央職業相談所であつた。この求職婦人の全體の數を纏めて見ると事務員が全盛で、女中、女工志願の拂底は一部における都會的現象でないことが判ると共に、婦人の求職氣分が全國的にいかに甚だしく變化しつゝあることが分る。

更に此等の求職婦人が事務員なり女中なり女工としてどの位の賃金を要求してゐるかと云ふに、事務員では最低十圓最高五十圓と云ふのもあるが、年齢と履歴によつて分けると、一番端が十五圓から十八圓まで位を要求する所から始まつて、初給二十圓と三十圓が一番多かつた。三十五圓五十圓と云ふのもあるがこれは數が尠い。次に女中になると最低は七圓であるが、十圓、十二圓、十五圓、二十圓と云ふ程度が最も多い、最高は二十五圓である。女工は日給八十錢が最低で、一圓程度が最も多く一圓五十錢と云ふのが最高要求のやうである。かう擧げて來ると結局事務員と女工とは通勤で食事は自辨であるから女中の給料が一番割のいゝ事になる。随つて女中志願の婦人が最高賃金を要求して居ることになる譯である。

柳綠花紅

◆人間は神と動物との間に介在して居る生物だ故に神性と動物性とを有つて居る◆神性は理想となり信仰となり正義人道となり動物性は主として食慾と性慾に現はれる◆人間は食氣と色氣で持つて居るといふが人間生活を此の二ツに限れば動物と變りがない◆人はパンのみにて生きず何を食ひ何を衣んとて思ひ煩ふなかれとは一面の神性を觀て言つたもので此處が大切なところだ◆戀愛は決して至上なものではないソレは動物性の性慾即ち色氣を理想化したもので要するに愛の一部分である◆動物の雌雄關係は性慾が土臺であるが動物性の外に神性を備ねて居る人間は性慾を理想化した戀愛によつて男女の關係を繋ぐ◆戀愛は男と女を密切に結び付けて離れぬ樣にする膠の如きものだ此處から貞操が生まれ貞操によつて家庭の平和と圓滿とが望まれるのである◆性慾だけであつたら鳥や獸物のやうに男女の關係が無茶苦茶になり夫婦も親子も兄弟もない◆評判物になつた有島武郎と波多野アキ子との情死はこの大切な人間一面の神性を無視した行爲であるから何等の同情に値ひせぬ◆ト云ふと世の所謂何とか讃仰者は『彼等は深く相愛してゐた即ち戀愛に始終したのだ』と顏を赤めて論じ立てるかも知れないが其處が稽ねものだ◆成程二人は戀の深淵に落ち而も現世では到底添ひ遂げられぬと悟つて情死したに相違ない◆併しアキ子は有夫の女で有島は妻に先立たれて閨淋しさを感じてゐた男だソシて親があり子供が三人もあつた◆女は夫をふり捨て男は親と子供を捨て互ひに家庭を破壞し二人で勝手な道を歩こうとしてソレが出來ないで情死したのだ◆お負に男は四十餘歲と云ふ中老で女も相當に分別力の付くべき年配であつた而も男は社會問題に貢獻し思想家として創作家として名を知られ女も中等以上の教育を受けた人間だつた◆是等の點から觀て彼等の情死は世間に有觸れた若い男女の情死沙汰とは大いにその趣きを異にしたとこ

のが作らや別項に掲げてある拙作選人の口碑の通り此の二人の性格は神性としても或る點の淡い方だ假令二人が情死して死んだから新たいが仕方に神性を除外した是離合的行爲であつたやアキ子と夫の波多野春房との關係は圓滿でなかつた隨つてアキ子の心が波多野を離れて有島に移つたとしても妻も子もある有島が斯様な女と關係したのは悪い◆神性が確かりして居たら妻に先立たれて閨淋しさを感じて居たからとて親を思ひ子を思ひ家庭を思ふなら一面の動物性を抑制すべきが當然である◆二人の間に戀愛があつたにしろ貞操を破り家庭を破つてまで相抱擁したのは動物性の現はれの方が強くて神性の方が乏しい◆神性と動物性の兩面を有つた人間で神性の磨きを怠るものは何うしても動物性のために墮落する物質文明の現代社會には斯うした人間が多い◆生前の有島はごつちかと云へば神性の勝つた男で理想もまた高かつたのだがアキ子と關係した爲めに動物性に墮したのだ◆一言以て掩へば理想は高かつたが動物性を抑制する意思が弱かつたのだ隨つて良心の苛責に堪れないでアキ子と共に死の道を擇んだのであらう◆我々凡夫は事毎に動物性の方に克せられて神性の閃めきが薄い妻にばかり貞操を強いて待合あたりで盛んに動物性を發揮する亭主がべたくさ有るではない乎◆併しそれは單に動物性の發揮だけで相手の女が賣物と來て居るから問題にならないのだが有島のやうに有夫の女に手を附けると飛んだ事になる◆性慾を理想化した戀愛は夫婦を中心に圓滿な平和な家庭を造ることに在るソレが出來なければ疑ひもなく戀愛の失敗だ◆女は夫に背き男は親と子を捨て互ひに家庭を破壞して何處に戀愛の價値があるか情死は失敗した戀愛の最後だ◆性慾は動物性でそれに神性を加味すれば戀愛となり更に益々神性を發揮すれば兩性の愛が一體となつて家庭を清め社會及び國家を進め人類世界を淨化する◆然るに今日の我我人間は動物性の方が勝つてゐるので色々な椿事が起るのである。

富豪大倉の脱税

大倉喜八郎といへば日本の富豪番附でも大關の位置に据ゑらるゝ人だが此人が脱税をやつて第一回、第二回、第三回の行政裁判を受ける事になつた▲この脱税問題の裁判がまだ決定しない中に會計檢査院の注意で又も大きな脱税事實が發見されたソレは大正十年に大倉合名會社の一千萬圓を五千萬圓に增資したとき其筋の眼を眩まして三百萬圓からの脱税を敢てしたと云ふのである▲此の富豪は本溪湖に煤鐵有限公司を經營し大連その他に大倉組土木出張所を設け滿洲にも少からぬ緣故を持つて居るので九十餘歲の老齡にも拘はらず自身でちよい〳〵滿洲にも乘出して來ると云ふ元氣だつた▲船成金、株成金、其他の成金は不況時代に入つて將棋倒しとなり大阪の石定の如きは最も甚だしいボロを出したが三井や岩崎と肩を比べる程の富豪大倉が脱税でボロを出すとは呆れて物が言はれない▲彼が罐詰に石塊を入れて儲けたと云ふことは日露戰役以來人口に膾炙してゐる話で大分憎まれてゐたが今度の脱税事件と共に何とかいふ近來流行の團體は彼に向つて「汝須らく男爵を返上すべし」と迫つた▲彼は大隈內閣時代に滿洲の復辟計畫と山東の革命援助とに御用金を出しその金の光で年來希望してゐた男爵を授けられ富豪兼貴族となつて大いに脂下つたのである▲然るにその男爵を返上しろと迫られたのだから烏渡痛いわけだ若し返上しなければ暴力に訴へても制裁するは少々物騷な話だが罐詰に石塊を入れたり脱税したりする始末では脅かされても仕方がない▲神となつた乃木將軍が臺灣總督をしてゐた時に大いに儲けるべく大倉翁は臺灣に渡つて早速總督を訪問したら金持などに用はないと門前拂ひを頂戴した▲これも有名な話で流石の大倉翁も此時ばかりは顏を眞赤にしたと云ふことだが怒つて眞赤になつたのか耻ぢて眞赤になつたのかと云ふと或人は耻ぢて顏を眞赤にする樣な人なら頼母しいと語つた▲富豪の脱税は大倉ばかりぢやない他にもある筈だ妙な人聞きのいい機關を作つて脱税を圖つたりする富豪もあると云ふことだ▲豈啻に富豪のみならんや貴族のうちにも立派な宅地を山林と詐稱して一種の脱税をする者もある世の中だから時代の民衆化と共に貴族や富豪に對する憎惡心が高まつて來る▲富豪を憎む心は直ちに資本家階級の呪咀となりブルジョアに對するプロレタリアートの反感となり斯んな處から勞働運動も險惡化して來るのである▲安田善次郎は朝日平吾の刀の錆となつたが其の死後に三百萬圓を都市研究會に寄附したり他の社會事業方面へもちよい〳〵寄附をするので評判が好くなつた▲大倉翁も生前に何か一ツ罪滅しを遣つて見ては何うだ儲けることゝ自分を豪く見せることゝ自家一門の榮耀榮華を圖ることゝの外に何等の利他心もないとあつては極樂往生思ひも寄らぬと云ふものだ▲彼は微賤から成上つたもので彼が奮然鄉里を飛び出して今の東京則ち江戶に上つたのは彼の父が武士のために非常な辱しめを受けたのを憤つたのが動機だ▲江戶に上つて凡ゆる艱難を甞め陸軍の御用達を始めたのが運の開きで段々金を作り遂に日本屈指の富豪となつたのだが此間罐詰に石塊を入れたと同じ樣な細工を遣つたのは勿論であらう▲一時はぼてふりをしたと云ふからぼてふりから富豪になる迄には並々ならぬ苦心と尋常一樣でない工風を廻らしたに相違ない▲一平民の子は此くの如くにして富豪となり更に進んで貴族となつたのだから維新前彼の父が武士のために辱しめられた往事を憶ふて快哉を叫んだ事であらう▲併し脱税をしてボロを出すに至つては沙汰の限りだカーネギー翁の爪の垢でも煎じて呑むべしだ。



自由戀愛考（上）

瀬野牧聲

戀は世の中の何ものよりも至上だ。性慾や生殖の何でなるかも知らない青年が初戀に芽ばえたならば、そのまゝにそつとして置け。今までの見合結婚は畜生道だ。見合結婚でも愛情の生じないことはあるまいが戀愛から始まつてゐないのだから強淫和姦だ、人格的、精神的の結合に始まつてゐないからさ……　無暗矢鱈に自由戀愛を謳歌する書物を讀んで。

◇

佛者は十二の因緣より二十五有の沈淪に六道輪廻の應報ありと云ふも、吾も他も背つて、前に古人を見ず後に來者を見し例もなくて、上下滔々、無終無始の何處かに生死五十年を假住居し、名づけて人生などとはいふものゝ、自づから苦あり、樂あり、貶あり、褒あり、泣いて笑つて寢て起きて、これはまた是れ、そのあとは、吾れ覺えず識らず………

身長五尺、智能を有し、言語を能くする爲めに、萬物の靈長と自稱するも、思へばこの稱號、特權こそ怪しくもまた奇しくあれ。靈長、長ずるに隨ひ道祖神、出雲の神や淡島さまに願立てして、「聞えませぬ」とは笑止千萬の極みではあるまいか。

性善、性惡などと、敢て先哲の虫干をしなくとも、生れる要求さへ知らずして生れし吾等、水の表裡に聞くよりも猶は『無々』に邇い幻影が、或は熱海の波うちぎはに、或は鹽原の出湯に、更らに遠く今宮の杜に

感應ない大自然を背景として、身も心も焦き盡す本能の狂ひ咲きは、まことに美しく記録されてゐるけれども、それだけならば自稱靈長族ばかりでなく、爛熳たる桁の花より花へ戯れ渡る雌雄の鳥雀も、凋落の風も冷やかな秋の野末を、夫を呼び雌を呼び求めて息絶ゆ／＼にすだくむし蝗蝱に至るまで、それは幾千載の昔も如實の今も、羅馬の廢墟にも南洋の密林にも戸塚の叢にも聞かれることなのだ。

その戀、その性慾。それが、人間にばかり甚麼して最上至善なのか。

人間は戀を知るに至つて淨められ高められるものだと云ふ人達に、戀愛が至善至極だと云はれるのは不思議でもないが、我儘勝手な感情の滿足、性慾の意馬心猿、兎角、世の秩序約束を紊すことの騷動は色と慾とだその戀愛が自由に解放されてゐる姿、そのものが至極の生命で至高だなんと牽强附會の云ひぶんだ。藝術は崇高だ、さう云ふ意味からラブ・イズ・ベストと云ふのならば、私は決して斥けやうとはしないが……人間即戀愛、それが至高至純だと時節がら人を喰つた論者の多く輩出するに對し、論者が眞面目であればあるだけ世人は引きつけられる。泥棒の努力だつて不眞目ではないのであるから

◇

コリシャンは壞るゝとも永久に亡びずと誇つた王城の死滅はどうだ。『永久の都市』は羅馬ではなくて戀である。そのころ羅馬の都に住んでゐた人達は、實は人ではなくて、戀そのものであつたかも知れぬ。

見よ、樹々は斷ねず空天を指して伸びんとするも背つて遂せず。川は永久に海に入るも溢れた物語りもない萬象は恐く破壞と建設のシンプルなモニズムを繰り返す無情の中に、永遠の生命あり、千載を隔てゝ尙ほ亡びないものは何であらう。所詮、死に面しては百年をも待たぬ人々が地上の權威、忽ち殘燈明滅、一片の白骨となるを悟らずして、空疎より空疎への幻影を逐ふて狂走するマッスよ。流動して無幻泡影な中に唯ひと

り戀のみ恒久にして無限の生命はある。

僞道徳を固守する馬鹿ものよ。トルストイを追放した地上の權力者ザーが、トルストイの思想に因つて甦れた自然の復讐を何と見る。『世襲財産に泥醉する不良老年、子弟の戀愛を解放せぬ頑迷輩、今にして悔ひ改めよ、父なる神の御前に!』、かくて戀せよ、若き子たちよ、迷へる者よ立ち歸れ、戀てふ生命の復活へ……なんさけしまくられて

『愛と貴方はお倉の米よ、いつか世に出てマヽとなるホチ……』、さかなんとか潤みがちな瞳の持ち主は金魚のやうな口唇を揃へて唄ひ始める。

『まだ嫩葉のころより相識れる仲、いかなる障礙に遭はんも一心二體三世まで』

『あきら飽かれもせぬ面白おかしの嬉しい二人の生涯。自由戀愛から純眞理想の夫婦となつてこれほど幸福なことはあるまい。知らぬ他人の水注す奴に、見せてやりたい、戀する二人が絶對の世界を』

戀を知らない者には此の邊の消息は迚も解得できるものではない。

親にも見せない典雅な表情を持つた相思の瞳には、千萬無量の眞實さと、氣高さと、そして美しい人間味がこもつてゐる。小夜更けて親の寢息を窺ひつゝも、いとし殿子の忍び來る宵を待ち佗びる乙女は、やゝありて袖戸にコトコトと音のするに、高鳴る胸をば押し靜め、そつと起き出で、息を凝らして僅かに開けやり植込、木立をとみかこみ。

『空吹く風に騙されて、月に見られて恥かしや』と云ふ風情。げに戀なるかな、美しき戀。戀には在りし昔も今の世も何の變りがあるものか。

◇

だが一つ茲で、考へ直して見ンならんことは、羅馬の建設されない以前から人間は地上に存在してゐたことで、永遠に生命あるものは戀ばかりだと云ふけれども、今の謂ゆる戀がなくとも、人間に潑溂たる生命のあつた例は、洋の東西を問はずざらにある。

舊い西洋のロマンテイシズムを幻滅時代とでも名付けて、ストリンベルヒの極端な女性憎惡や、バアナアド・ショウの痛罵などは、人生卽ち戀愛觀から云ふならばあり得べからざる不合理である筈だが、女子と小人は養ひ難しと毒鼓した孔子もあり、てんで道具扱ひにしかせられなかつた我が國の戰國から封建時代への推移でもさうで、人間がゐるから戀は存在するので、戀があるから人生があるのでないことは明白だらう……戀は人間の全部ではなくて生活内容の一部分だ。

私は戀愛にかこつけて、女性を指彈し、攻擊しやうとするのではない。

すなはち戀がどこまで人生を支配して、どこまでが美しく、どこまでが醜であるか、破壞であるか、その邊の消息を漠とした頭で考へさせて貰ひたい爲め……漠とした頭は、一番世の中の數において多い。プロレタリヤート、デモクラチック、ラブ、その心臟と一所に脈うつ底の意味をもつて。

人間の思想は慥かに人間を支配する。弱音を吐くやうだが、吾人は畢竟するに時代の境遇兒で、時代より超越することはむづかしい。時代を一歩でも飛び出やうものなら、それこそ寧ろ不幸に近い。而も一面に人間はその思想上の確實拘住性より來る變化の如實を求め未知の世界へ突進するの愉快さを追ふものなのださうして廻轉する轍の終局は死だ。

蛾蝶の物を運ぶに似て、血の滲み出るやうな切ない想ひを情夫の膝の上に泣いて訴へる人妻の戀。生娘ならなほさらのこと。場合に依つたら一ト肌ぬいでやつても可い。

が死ぬる四五年まへから節々が疼んで、心がいやに冷たくなつて、色も戀も褪め果て、同様に相手の婆々さんも欠伸ばかり續けて味氣ない造作。

若い時から親の意見も浮の空、ラブ・イズ・ベストなんて涼しさうな聲で……精神的には咽喉の焼けつく苦しい想ひで唸り歩き、葬式代はおろか、棺代の貯蓄もない白髮迷々、虫ぼろ、瓢一斗の老耄となつては、戀愛の餘喘もさることながら、裏店から擔ぎ出して

『あゝ美しくも幸ありけるこの老翁よ、永久に生命あり、千載を隔てゝ尚ほ亡びないものは此の人の生命よ至上なり至高なり』なんと歎美できる圖だらうか。孫の手前も恥かしい。

片割れとして生き殘つたお婆さんにも、それでは甚だしい失禮でもあり、また氣の毒でもある。第一皮肉千萬であつて目もあてられぬ。

◇

謂ゆる世人の戀愛説は自由に解放せよとは云ふものゝ、虫螻と同じ意味の自由ではなくて、千差萬態のなかにも、より人間化された文化生活の根底を辿つてゐる努力を認めないわけにはゆくまい。

玆に至つて問題となるのは、自由戀愛の歸結として自由結婚と、第三者を介して結合される見合結婚との比較考査の必要なことである。

先づ兩者の共通點をざつと擧げてみるならば、量において、また色彩において、濃厚強弱の相違は固より免れないかも知れぬが…………

一、男女が同性の友をあき足らなく思ひ、異性に向つて慕はしい情緒を覺ゐるやうになる時は、誰彼と云つて定まつた對象のないのが普通の場合だ。發育の成熟した生殖腺から浸み出る内分泌物が青春の血潮に流

れ込んで體中(からだぢう)を循環するとき、心にも身にも、男の男らしさ、女の女らしさが萌して、うら若い腦神經の髓細胞は盲目的性慾に刺戟されて來る、そして熾烈な暗中摸索を續ける。

二、年頃になつたからと云ふので警戒する親達は、一面に格好(かつかう)の相手を搜(さが)してやりたいものだがさ………當人に相談を持ちかけると、當人たちは嬉しいやら恥かしいやらで、內心には一人前として認められたことが無性にプライドとなる。その時分に、彼等自(みづ)からは、いつの間にか完全に發育してゐる自分の生殖器を半ば殆ど不思議な氣持で承認するであらう。

三、さう云ふ時代の異性に對する選擇能力、能力と云ふよりも意慾や理智は、極めて幼稚で、外觀的の信仰………惚れる………それは感情一片の慌だしいそして物足りない物淋しい心理狀態にある。

四、見合結婚も、自由結婚も、最初はアウトラインにスタートする。

五、兩者共に高砂(たかさご)を謳はれる夜は、全く承知納得の上で禮服を着るものなのだが、氣に入らなくなれば何時でも喧嘩口論の果(はて)に離婚する。それまでは共に同樣の心的經過を繰り返すものなんだ。

六、兩者共に解析幾何學的(コーザネートシステーム)解說法の性質內容はなくて惰性體系(イナーシア)を有してゐる。

恁うした男女が夫婦となつて終るまでには、利益的分配制度(プロフエツト・シエリング)のやうなものはなくて、部分的勞働(コーパアトナシアシツプ)と共同働作(コンペレーション)との現實に、戀から愛への燃燒を意識しそして惜しむがゆへに、花もありまた實もある生涯を同じ水平線上に押し流されて行くことが出來るのであつて、煎じ詰めれば、孰れを優良(まさり)とし孰れを劣惡(おとり)とし云ふべきものではないのが本來の面目である。

◇

次に自由結婚と見合結婚との相異點はと云ふに、文字の說明する如く、前者は一不動さまの緣日でチラと

見初めたのが病みつきで……と云ふほどの簡單さばかりではなくとも、當人の純然たる自由意志に依つて選擇取捨するものなのであるから、恁うした傾向により以上の特色を有つてゐるべきで、親や世間は與り知らない場合が多い。これらの例を二三擧げて見るなれば、社會の生活狀態が複雜になればなるほど、玉石混淆雜居の止むなきに至り、そして反面には、親とも兄弟とも遠く隔つて一生を終る。土着の故鄕を飛び出し妻の里は長崎、子供の生れた所は神戸、從つて都會生活者の伸夫や遊び人を初め、親の膝下を離れて遊學する男女學生間においては、自由戀愛よりも自由結婚の步合が多い。

これは全く前述の如く都會集團生活の複雜性より起るもので、永い間を同じ工場に働いてゐるうち、次第に氣心も一致して夫婦になつたのだとか、冗談から駒が出たのだとか、不圖した肉體關係が動機となつたりするのが普通で、高等なのになると、主義、趣味に共鳴一致したなどと、學者向きの說明や註が挿んであるのもあるけれども、多くの場合、幾度かの戀愛に失敗し、その道にかけての經驗者であつて、彼等には常操がない、財產がない、全く御都合主義の人が多い。彼等同志は一生懸命だから、世間への約束も、友人への義理も、何でも云ひぬける。そしていざ世帶を一所にすると云ふときには、その夜だけ友人が近所の小母さんかを頼んで來て二人の仲を認めて貰ひ、『僕達の媒酌人は誰々だ』と、全く自由結婚には必要のない道具だてして問はず語りをしてゐるのは滑稽だ。

これが比較的デモクラシーの形式を帶びてゐるに反し、見合結婚は或はアリストチックだと云ふことが出來るかも知れぬ。實際においても見合結婚は舊式だ、野蠻だ、煩瑣だ、畜生結婚だと罵倒されてゐるほどだから物質的に、人權的に、世間的に餘裕のあるものでなくては行はれないやうに聞ゆる。田舍に行はれるのはアリストチック・エンゲージかも知れぬ。都會にても名譽、地位の孰れかを擁してゐる階級に多い。日本に

於ては因襲卽祖先崇拜の傾きがあつて、隨分と詮議だてをするから、並大抵の勞作ではないやうに思はれる餠やは餠やだ。自由戀愛の徒からはバンダーとして憎まれる媒酌屋があるから、手數料を要求するばかりでなく、親切も盡す。玆で必要なことは高砂子社を絕對に社會が監視する必要のあることだ。噓や方便を云つたなら極刑に處すべきものだ。脩道の高士で學識共に備へたものでなくては可けない。隨つて離婚沙汰などの起つた時でも、娘一人の責任ではなく、また好くなつたとて夫婦仲だけではない。當人同志の良緣は遠い緣者まで波及して一族の和氣が全體への親密とならねばならぬ。斷つて置きたいことは、たとへ媒介者が如何なる權威者であらうとも、娘が死ぬるほど嫌だと云ふものを無理から擲抛して輿入れさせるやうなことは千萬のうち一つを發見するにも困難だと云ふことだ。そして森の葉陰や海岸の浪打際に二人の胸の中を度々囁いたことのないだけに、夫婦になつてから

『とう〳〵本望とげたわねエ』なんと擽つたい氣持を抱き合ふと云つたやうなものは、一二夜にしては得られないであらうけれども、下世話に云ふ如く、娘は先方の姑や娚を便りに輿入れしたものではない、婿も娘の父母が慕はしさに娘を貰つたのではない。

◇

たとへ戀愛のヒストリク・プロセスはどうあらうとも、靈肉同一の一元的實在が、一部の新人に理想や學說となり、珍らしいもの扱ひにされてゐるこそ笑止千萬なことで、而もそれが自由戀愛に依らなければ一元的のものが得られないかのやうな愚論を平氣に述べてゐるが、男も女も單獨にしては不完全であることを知らぬほどの愚者は今の世に影を絕つてゐる筈だ……だが自由戀愛の能書を讀むなれば

決して他の爲めでもない、因習の爲めでもなく、家名の爲めでもなく、財產の爲めでもない。自己みづか

らの爲めに、自己みづから愛する人の前に、自己の全部を投げ出す。此の生活よりもより多く自由な生活が又とあらうか。これよりもより大いなる滿足が又とあらうか。自己そのものにさへ囚はれてゐない所に、最も大なる自由があり解放があるので、それが戀愛だ、そして眞聖だと。

何と云ふ戰慄すべき惡魔の囁きであらう。然うして全世界より人間生活を破壞して行かんとする自由戀愛を主張したい爲めに自由結婚を謳歌する誤つた見方は……

電氣學に就いては熟練してゐる人達にでも往々にして大きな怪我がある。それは純然たるコーヂネート・システムを踏襲したよりも……

世人を省みず、因襲も家名も財產も打ちすてゝ、自己みづから愛する人の前に自己の全部を投げ出す底の人生。それは恐らく劇の舞臺にのみ許されることで、日常生活には天心爛熳な子供でさへも、ツイ庭先(にはさき)の遊戲にすら自分を沒入する遊戲そのものにばかり嬉戲することを許されないで、泣きもし、怒りもし、せんかたなく遊戲の群(むれ)を離れて、悲しい心細さを母親の胸に訴へ咽ぶことが度々ではないか。

そこで日本に於ける見合結婚と戀愛結婚との長短是非はと云ふに、見合結婚が一から十まで當人同志を犧牲にした野蠻行爲とのみ限つてゐないことは、是非とも、當人同志は仲好く過して貰はなくてはならないと云ふことを最大な要件としてある。

一方戀愛結婚とても、當座の戀愛を重く視て、二人は甘つたるい心持ちの眞最中に二人の一生を想像する隨つて戀愛の花が散つて地味な家庭におさまつたのち、不過を傳なむものがないとも限るまい。出發點に戀愛の强弱は爭はれないとしても。

仲好く暮らす夫婦たちには、當人同志が發見し合つたのでも、他人を介して一緒になつたのでも、それは

一向お構ひなく、要するに何でも好い筈だ。

妻君はよく主人同伴で臺所道具を買ふため夜店や市場に出て行く。箸箱一つにしても買つて歸つた後に不足が出るものだ。人から贈られた品物でも大へん氣に入ることもあるし、隣の内儀さんに頼んで買つて來て貰つた湯呑でも『これは好い』と夫婦で褒めることもある。

孰れにしても、夫婦になつた曉、一方は夫婦關係を當人同志が處理して決して他人の手數を煩はさないとも云へまい。一方は絕へず他人の厄介になりごうしてゐるものだと限つたこともない。

要點は自然が敎へた靈肉一致のそれであれば文句はない。

◇

『若きものよ、未婚者よ、なあに若くなくたつて大丈夫だ。白蓮黨でも何でも好い。人間の嗜好慾望は何時までも其處に停止してゐるものではない。先づ惚れる、自由勝手に、ハートとハートの搏動が巴になつて張り裂けるまで、そして氣に入つたなら誰が何と云つても結婚する。そのうち不合理な箇所を生じたならば燁子さんのやうに……あの調子で別れつちまへ……だがなるべくさうしない豫防として、十年でも二十年でも理想の相手を捜して唸り步け。それがお互が此の世に生れて來た全部の生命だ。仕事や食事なんざあ不良老年や頑迷蛋が心配して吳れるから。』

さうなると完全無缺の夫婦ができ、デモクラシーのやうで、若い人達はみんな快哉を叫んで、先づその料簡を目的で邁往直進するだらう。

甲州の山奥で葛の根ばかり掘つてた處で始まらない。何にも知らないで、親達の手助けばかりしてゐた靑年も目醒めるであらう。巨人の眠りより醒めたるが如く、その步みは早い。けれども步めば步むほど十中八

九は絶望といふ高札が建てられてあることを發見するのが關の山だ。遂には戀愛の武藏坊も自棄(やけ)を起し、辻(つじ)斬強盜、手當り次第の千人斬を始める。ダイオゲネスの人世觀に悠うした意味の妄想があつた。強淫、強姦、和姦、掠奪と戀愛の狂爭で、世は遺憾なく色餓鬼の修羅道と化し、喇叭叫喚の喧囂は餓鬼自身の燃燒となるであらう。

神さまのやうな戀人(こひびと)同志は、相手の背景に何等の條件を附せず、當人同志の僞らない心と心に絕對の價値と權威があるのだけれど、恐らくそれは犬でも猫でもなく、人間である限り、一瞥たゞちに相手の人格全部を洞察し、同時に自己と相手との共通點を發見し、神聖にして誤謬がないなんと蝦蟇(がま)仙人みたいな廣言は吐けまい。況んや心理學の一頁(ページ)も讀んだことのないニキビ滿面輩においておやだ。

先づアウトラインの信仰、ファーストインプレッション。好男子か、美人か、それとも氣立ての優しい人か、金持ちか、學識の高い人か。

『好いたらしい方。怜悧らしい瞳の持主よ』。戀愛(ヒロゲル)の心境は『自己放棄に於ける自己主張(セルフ、アッサーション、インセルフ、サレンダー)』で、パーソナルビューティのエンチャントソントなんだ。

飛行機が持て囃される時分に、飛行家そのものゝ妻たらんと希ふた女性の多かつたこと、役者の面と妙技に魅せられて儚(はか)ない一夜を若返る(わかがへ)未亡人は問題でないとしても、若い畫家や小說家には若い娘が夢中になる、脂肪(あぶら)ぎつた株屋や相場師には藝者や女郎が浮名を流がす。一體、その人に惚れるのか、作品や又は金錢に迷ふのか……飛行機にも、繪筆にも、相場にも理解はない、だが、世間的に評價される値は有數だ。人はどうでもその世間的聲價を慕ふのだ。それなれば疑ひもなく最も低級な寄生者(パラサイト)だ。單なるドラマチックスピリソトの持主だと云ふに過ぎない。

『まつたく肉的接觸の經驗などを有たない若い男女の初戀には、性慾とか生殖とか云ふ問題は殆んど意識の上にのぼつてゐない。さう云ふ時に彼等は、ほんとうの人生を味ふもので、先づ最初に現はれるものは自己犧牲の精神であらう。一切の道徳の根柢に横はる自己犧牲と云ふことは、燃ゆるやうな戀をする男女によつて最も痛烈に體驗せられるのが常である』と。

世間體の好い自己犧牲の卸賣りなどを始めやうとするのであるが、それは恰も、腕白盛りの子供が母親にねだつて空氣銃を買つて呉れたなら近所となりの仲間の子供をいぢめることを止めやう、と約束するのと殆んど何等選ぶところはない。

一切の道徳が、人間の精神現象の根本を性的渇望にありと主張するに至り、人間は呱々の聲を擧げると共に既に性慾を有してゐるもので、赤ン坊が母乳に吸ひ付く時から性慾は發動してゐるのだ、と云ふ東西生理學者の證明に眞を置いて………

幾人の男の爲めにも赤ン坊を生んで遣ることの出來るほど心身ともに發育し『そばや、どんぶり落せば割れる。娘、島田は寢て割れる』………。こうした圖には、萬綠叢中紅一點と云ふ形容詞が最も際立つてよく引つ立つ………

ところが精神分析學派の學説を藉つて例證を試みる自由戀愛黨は、初戀は單に色を漁り性慾の滿足を求める輩や、自分の子孫を儲けて私有財産を讓り渡さうなんと云ふ料簡の不良老年輩や、或は青年時代の盛んな性慾の滿足を遂げるべく女學生や給事女の尻を次から次へ追ひ廻してゐる不良少年の夢想だも及ばぬ心境であると云つてゐる。何から何まで自家撞着の論法で全く成つてゐない。また『人は分際を知るに至つて初め

て浄められ高められる」と附言してある。

不良少年、善良少年、初戀の啓蒙にそんな區別があるのか。泥棒の子だつて、船頭の子だつて、自由戀愛の見方よりすれば、そこに雜念のある道理もなく、一生懸命なのではないか。そして初めの戀が失敗に終つて、第二回に芽生えた戀からが品定めの難に遭ひ、批判づけられるものではないのか。だがそれさへも自由戀愛黨には兎角云ふ權利はない。十六七の頃から自分等の息子や娘が色氣づいたから、ソッとして置け、其處に自己犠牲の花が咲く、と云つてゐるうちに大きな太鼓腹になつて了ふだらう。

そしてまた、生慾も生殖も何も知らない若僧……實に無邪氣で結構だ、佛樣のやうだ、たゞ初戀の相手だけ見出したまさか奈良の大佛でもあるまい。

會社犯罪史

大阪の財界からバチルスを驅除すべく不正分子のボロ會社一掃に努力してゐる大阪府警察部では大正九年田口刑事課長着任來不正會社の檢擧に力を入れ藤沼警察部長着任後その色彩は一層濃厚となり本年四月刑事課の職制を改め從來智能犯係に包含されてゐたのを引離して會社犯係を獨立させ齋藤警部を主任として十餘名の專任司法係が活動し各警察署と連絡をとつて檢擧に當つてゐるが不正會社檢擧着手以來今日までに檢擧されたものは約百會社で半數は刑事課の手にかゝりその被告人は約一千人といふ夥しい數に及んでゐるその中には全國から六百萬圓詐取した石井正忠事件をはじめ滿洲製糖、生駒土地および一千五百萬圓の會社を一夜の中に造り上げて一厘の拂込みもせずその株券で金策した例の石井定七の關係會社事件など世人の耳目を惹いたものも少くない財界好況時代に生れた會社の中には勿論內容の堅實なものもあるがその大部分はこれによつて金儲けせんとする會社屋の手で出來上つた幽靈會社で中には堂々たる實業家や名士が看板に使はれて發起人や重役に名を連ねその筋の檢擧に會ふて取調べを受ける醜態もザラにある位で尙府刑事課の手許で內偵を終り追々と檢擧に手をつける段取に進んでゐる不正會社は夥しき數に上つてゐるが取敢ず今日までに檢擧した不正會社を材料として會社犯罪史を作製しその內容、手段、系統等を精密に記載し一般會社犯罪檢擧の資料たらしめることとなり會社犯係の手で調査中であるが愈々出來上れば各署に配布するほか內務司法兩省關係局および各府縣にも送附する筈であると之を滿洲でやつたら割合に犯罪數の多いことだらう。

研究會の旨趣目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主とする間接機關でありますが研究と共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會を催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評と相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員とし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名並に幹事若干名で外に顧問・相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要と認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日までに既に六回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以てこれに充て會費は贊助員每月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

◎滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、泰東日報、週刊「極東」、日滿通信、滿蒙の文化、讀書會雜誌、新天地、海友、滿蒙實業彙報、調查時報、滿洲建築協會雜誌、滿洲公論、大陸、日華之貿易、滿洲經濟時報、關東新聞、赤陽、滿洲教報、聖德會々報、大連コドモ新聞（以上大連）◎大陸日日新聞、奉天每日新聞、滿蒙經濟時報、新滿洲（以上奉天）◎商業會議所月報（安東）◎商業會議所月報（長春）◎貝加爾新聞（滿洲里）◎支那研究彙錄（北京）◎大乘（上海）◎山東公論、濟南日報（以上濟南）◎青島新報（青島）◎京城日報、朝鮮新聞、朝鮮銀行月報、朝鮮及滿洲、青年（諺文）、新生活（同）（以上京城）◎釜山日報（釜山）◎平南每日新聞、平壤商業會議所月報（以上平壤）◎臺灣時報、臺灣月報（以上臺灣）◎臨時產業調查局資料、滿鐵東亞經濟調查局經濟資料、東洋、支那、大鵬、大日本、經濟時論、東京商業會議所所報、日本佛教新聞、憲政、日華之實業、愛國婦人戰友、我が宗（以上東京）◎紡績界（大阪）同志社時報（京都）◎橫濱商業會議所月報（橫濱）◎東亞經濟研究（山口）◎福岡日日新聞（福岡）

每月一回發行

定價表

普通號六拾錢、特別號七拾錢

冊數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

⊙三回以上は割引可仕候⊙年極めは特別に御相談可致候

⊙〆切りは前月二十日限り

大正十二年八月一日發行

發行人 山田武吉
編輯人 大內四郎
印刷人 太田信三
印刷所 小林又七支店
大連市大山通七十四號地

發行所（電話五四二六番）
滿洲社會事業研究會
大連市霧島町ヌ區十六號地
振替口座大連一二三九番

大連汽船株式會社

東洋汽船株式會社大連代理店

本社……大連市山縣通（電話代表番號 四二八五 四一八六）

支店……
- 上海黄浦灘路一號
- 青島葉櫻町十一番地
- 天津舊德界
- 安東縣財神廟街

出張所……神戸仲町十五ビルデイング内

代理店……旅順・龍口・芝罘・營口・香港・大阪・横濱

● 大連、青島、上海線　毎月六回

● 大連、天津線　毎月八回

● 大連、安東線　毎月六回

● 大連、龍口線　毎月六回

● 青島、上海線　毎月六回

● 營口、大連、阪神線　貳ヶ月三回

● 不定期航路

◎南滿洲鐵道、膠濟鐵道トノ連絡輸送竝ニ北支那諸港間ノ荷客取扱申候

◎天津航路ハ大連ニ於テ大阪商船會社大阪大連間定期船ニ接續可致候

◎天津、安東兩地ニハ完全ナル倉庫ヲ新築シ一般倉庫業相營ミ居リ候

◎鴨緑江結氷中大連安東線ハ休航、白河結氷ノ際ハ天津行ヲ皇秦島行ニ變更

大正十一年八月十五日(第三種郵便物認可)
大正十二年七月一日發行(每月一回一日發行)